

ANNUAL REPORT

2024年度 年次報告書

2025





目次

はじめに



| | |
|----------------------|---|
| 大阪広域水道企業団の概要 | 3 |
| アニュアルレポートとは | 4 |
| アニュアルレポート(各施策の取組)の見方 | 5 |

各施策の取組



| | |
|------------------------------|----|
| 施策1 安全で良質な水道水の提供 | 7 |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新 | 8 |
| 施策3 あらゆる危機事象に対する体制の強化(ソフト対策) | 19 |
| 施策4 府域一水道の推進 | 20 |
| 施策5 サービスの向上 | 22 |
| 施策6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進 | 23 |
| 施策7 環境負荷の低減 | 31 |
| 施策8 国際貢献 | 32 |

各事業の財政収支、主な経営指標の状況等



| | |
|----------|----|
| 水道用水供給事業 | 34 |
| 市町村域水道事業 | 36 |
| 工業用水道事業 | 62 |

ロードマップの進捗状況



64

はじめに / 大阪広域水道企業団の概要

大阪広域水道企業団(以下「企業団」という。)は、大阪府営水道を引き継ぐ団体として、2010年度に大阪府内の42市町村が共同で設立した一部事務組合(特別地方公共団体)です。

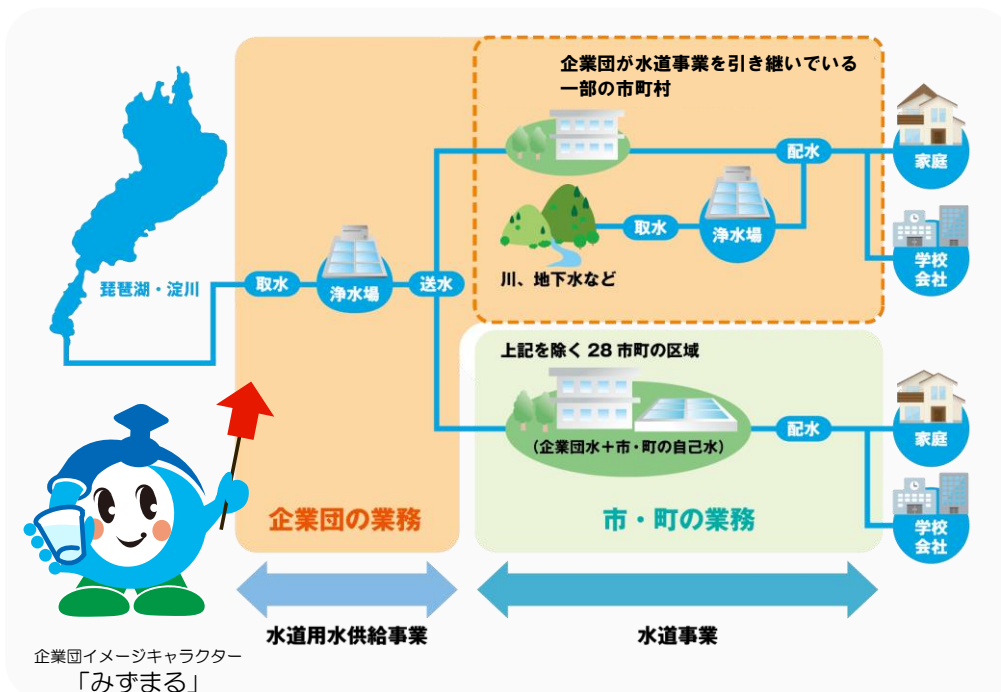
私たちが行っている事業は「水道用水供給事業(用供)」、「市町村域水道事業(水道)」、「工業用水道事業(工水)」の3つに分かれています。

水道用水供給事業と市町村域水道事業

「水道用水供給事業」と「水道事業」は、皆さんが普段使用している水道水を製造し、送り届ける事業です。

企業団は、淀川の水を浄水場で水道用水に処理した後、大阪府内の市町村(大阪市を除く。)に卸売りしています(水道用水供給事業)。そして、市町村が、企業団から購入した水道用水等を各家庭や学校、会社等に送り届けています(水道事業)。

なお、企業団では「広域化」を推進しており、2017年4月以降、一部の市町村の水道事業を統合し、現在は19市町村の「水道事業」を企業団が実施するようになりました。



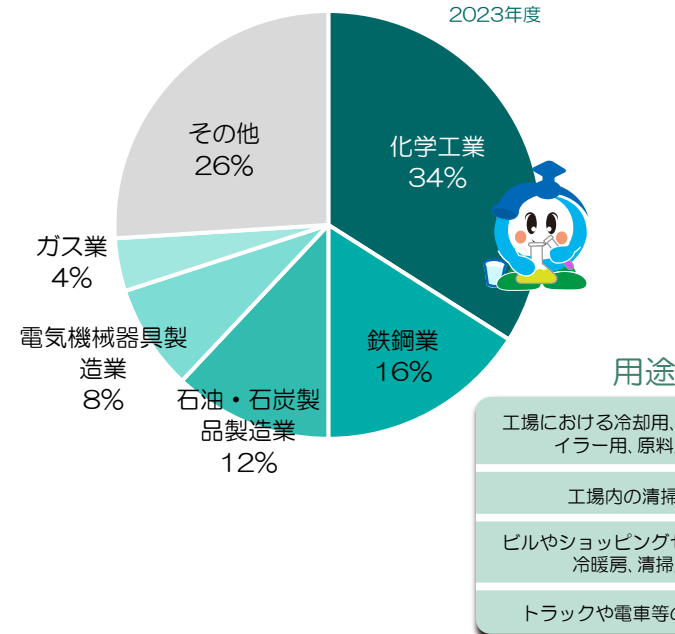
工業用水道事業

「工業用水道事業」は、その名のとおり工業(製造業・電気供給業・ガス供給業等)における冷却用、洗浄用、ボイラー用等といった、企業の産業活動に欠かせない水を製造し、販売する事業です。

工業用水は家庭で使われる水道水(飲料水)とは異なり、製造工程が少なく、安価であるため、大量の水が必要となる工場等では、工業用水を利用した方が経済的です。

工業用水道産業別実使用水量割合

2023年度



はじめに / アニュアルレポートとは

「大阪広域水道企業団将来ビジョン」(以下「将来ビジョン」という。)と「大阪広域水道企業団経営戦略2020-2029」(以下「経営戦略」という。)に基づき企業団がめざす方向性を示しながら、1年間の事業活動や経営状況、環境保全のための取組などを報告するため、本レポートを作成しています。

作成に当たっては、学識経験者等の外部委員から構成される「経営・事業等評価委員会」の審議に諮るとともに、構成団体への説明を行いながら、PDCAサイクルによる計画の進行管理と取組の改善を図り、社会情勢の変化に的確に対応していきます。

計画

目標を設定し、達成するための方法や手段を示します。企業団の主要な計画は次の2つです。

将来ビジョン(2023年5月策定)

企業団がめざすべき将来像とその実現に向けた施策の方向性、長期の施設整備計画と財政収支計画を示すもの



経営戦略(2023年5月改定)

2029年度までの目標、施策に係る取組方針、具体的な取組内容とそのロードマップ、施設整備計画と財政収支計画を示すもの



目標(KGI・KPI)の設定

将来ビジョンの最終目標である、めざすべき将来像の実現度を測るためのKGI(Key Goal Indicator：重要目標達成指標)として、「利用者の事業に対する満足度の向上」を設定しています。

| KGI | 基準年度実績 (2022年度) | 目標 (2029年度) | 目標 (2052年度) |
|-----------------|--------------------|----------------|----------------|
| 事業に対する 総合満足度 | 55% | 70% | 80% |

また、KGIを達成するためのKPI(Key Performance Indicator：重要業績評価指標)は、施策ごとに設定しています(「各施策の取組」参照)。



実行

経営戦略に基づき取組を推進します。

評価

実行の結果や計画で設定した目標に対する達成度や進捗を評価します。

評価に当たっては、KPIの推移を分析し定量的な評価をすることにより、次段階の改善に向けた客観的な分析を行うことができます。



アニュアルレポートは、ここに位置付けられます。

改善

評価の結果、課題が見つかったものについては改善策を講じます。

はじめに / アニュアルレポート(各施策の取組)の見方

1 施策

経営戦略で定める8つの施策を記載しています。

2 取組方針

各施策で定める取組方針を記載しています。

3 主な取組

取組方針に基づき2024年度実施した取組の中から主なものを紹介しています。

4 Pick Up

主な取組に加え、紹介したい取組をPickUp記事として記載しています。

5 解説コーナー

取組の基本的な考え方や用語などについて解説しています。

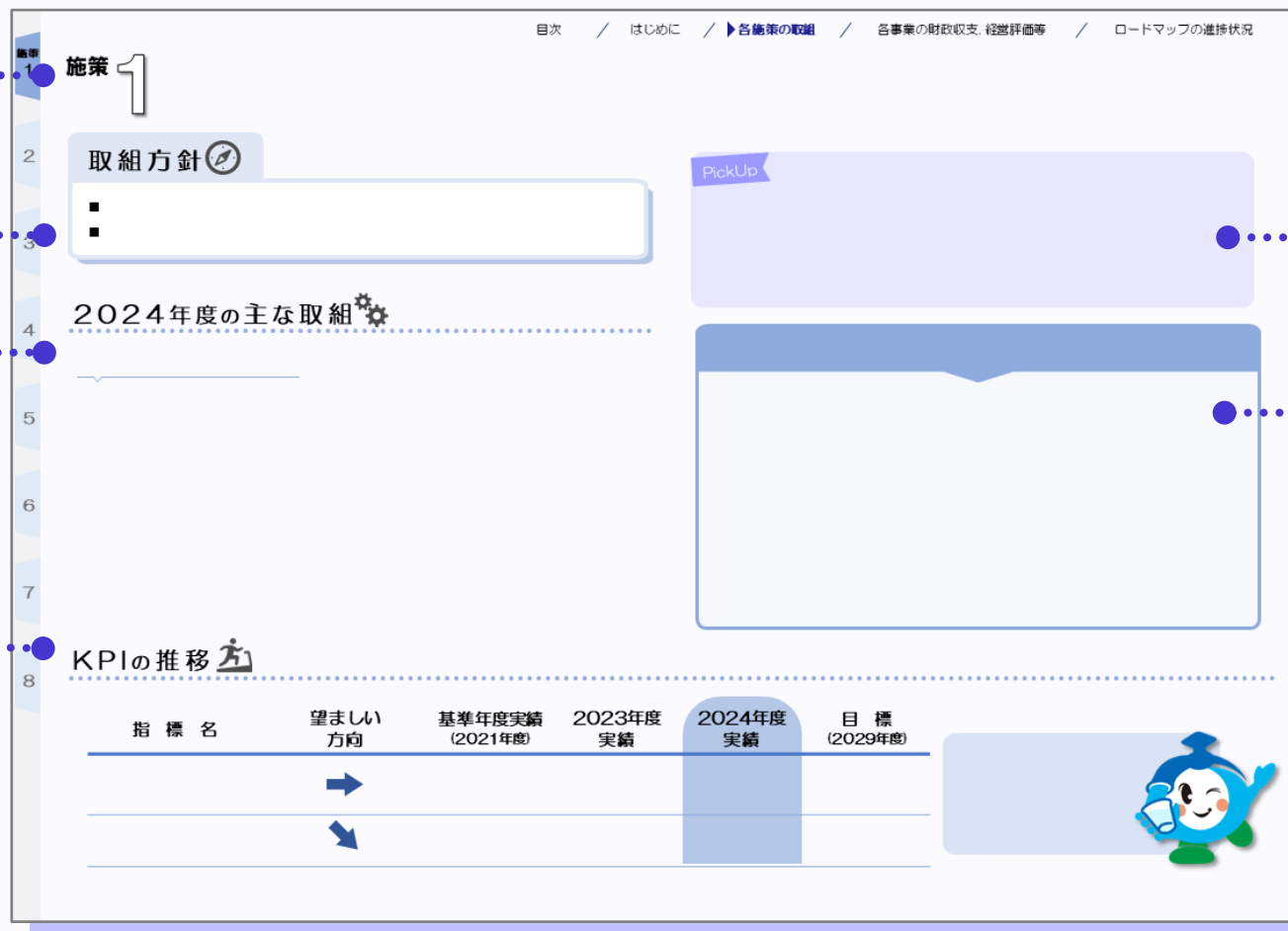
6

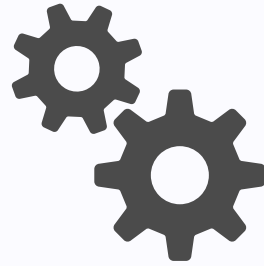
KPIの設定

企業団では、各施策の達成度や進捗具合を測るためにKPI(Key Performance Indicator：重要業績評価指標)を設定し、経営戦略の最終年度である2029年度における目標を達成するため取組を推進しています。

KPIの推移

2024年度時点のKPIの実績と、前年度、基準年度を比較し目標に向けて、進むべき方向に向かっているかを確認します。進捗具合や今後の見通しについては評価コメントに記載しています。





各施策の取組



施策1 安全で良質な水道水の提供

取組方針

- 水安全計画の適切な運用と充実により総合的な水質管理を徹底します。
- 各浄水場におけるリスクや課題に対応した施設整備や浄水処理運用を行います。
- 給水栓(蛇口)までより安全で良質な水道水をお届けするための取組を進めます。

2024年度の主な取組

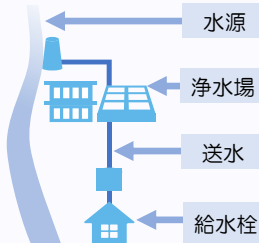
水安全計画に基づく水質管理

水安全計画を適切に運用し、総合的な水質管理を継続的に行っています。

水安全計画とは？

水源から給水栓までの各段階で、「何がリスクとなるのか」を明確にし、リスクの発生を未然に防ぐための管理基準、対応方法などをとりまとめて水道システム全体で管理を行うもので、水道水の安全性を向上させるための計画です。

また、水道水の安全性を確認する水質検査については、試験所品質マニュアルを整備し、適切な手順で実施しています。



リスクに対応した施設整備

浄水処理工程における微粉炭や微小生物などの漏出リスク対策として、村野浄水場階層系浄水施設の最終工程にろ過施設を整備する工事を進めています。



より安全で良質な水道水を届けるための取組

より安全で良質な水道水をお届けするため、富田林ポンプ場に消毒用の塩素(次亜塩素酸ナトリウム)を追加注入する設備を整備しました。これにより、きめ細かな残留塩素濃度管理が可能となりました。

PickUp

有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)の監視体制

2026年4月から新たに水質基準項目となる有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)について、企業団では、水質検査計画に基づき定期的な監視を実施しています。

(例：水道用水供給事業では浄水場や送水過程で年4回検査)

なお、企業団が供給する水道水中のPFOS及びPFOAは、国の暫定目標値を十分に下回っていることを確認しています。

これらの検査結果については、企業団のウェブページで公表しています。



KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|---------------------|-------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|
| 水道水の 水質基準適合率 | ➡ | 用供 100% 水道 100% | 用供 100% 水道 100% | 用供 100% 水道 98.1% | 用供 100% 水道 100% |
| 給水栓における 平均残留塩素濃度 | ➡ ただし0.1 mg/L以上(水道法) | 水道 0.51 mg/L | 水道 0.47 mg/L | 水道 0.47 mg/L | 水道 0.5 mg/L以下 |
| 鉛製給水管率 | ➡ | 水道 3.6% | 水道 3.5% | 水道 3.2% | 水道 2.9% |

2024年度は、孝子浄水場(岬水道事業)の水源で発生したかび臭物質(ジェオスミン※)の影響で、一時的に水質基準値を超過したため、水道用水供給事業からの受水により対応しました。引き続き、目標の達成に向けて、継続して取り組みます。



※ ジェオスミンには毒性はなく、「におい」の指標として水質基準項目になっています。

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

取組方針

- 水需要が減少し、高度経済成長期に集中的に整備した多くの水道施設が更新時期を迎える中、アセットマネジメント※1の実践により設定した施設の更新基準年数に基づき、水需要に合わせたダウンサイジングを行いながら、施設の更新・耐震化を段階的かつ着実に実施します。
- 水道用水供給事業においては、震災等の災害に対する安全性の強化を図るため、単一管路の2重化・ループ化等によるバックアップ機能の強化と「震災対応管路※2」のうち、第4次・第5次拡張事業で整備した管路を優先的に更新・耐震化します。
- 市町村域水道事業においては、効率性の観点から市町村の区域にとられない施設の共同化や統廃合などの最適配置を行います。また、基幹管路※3と「重要給水施設※4への供給ルート上の管路」の更新・耐震化を優先的に進めます。
- 工業用水道事業においては、管路更新時の代替能力と耐震性を確保するために必要なバイパス配水管をはじめ基幹管路※5の整備を行います。

※1 23ページ参照

※2 下記参照

※3 導水管、送水管、配水本管(給水管の分岐のないもの)の総称

※4 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設で地域ごとに設定します。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設」を「重要施設」に、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています(10ページ参照)。

※5 バイパス配水管、ループ管、連絡管と各分岐へ配水するための既設配水本管

震災対応管路ってどういうもの？



「あんしん水道ライン(次ページ参照)」上の送水管路のうち、震災時においても各市町村にある少なくとも1箇所の受水分岐に送水するための管路を「震災対応管路」として設定しています。

計画期間中は、震災対応管路の更新・耐震化と同管路上の浄水池・ポンプ場の耐震化を優先的に進めます。



2024年度の主な取組

| | |
|----------|----------|
| 水道用水供給事業 | 9ページ |
| 市町村域水道事業 | 10～17ページ |
| 工業用水道事業 | 18ページ |

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|------------------------|---------------------|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| 水道用水供給事業 | 将来の水需要に対する浄水施設の耐震化率 | 62% | 62% | 62%※6 | 62%※6 |
| | 震災対応管路の耐震管率 | 40% | 44% | 44% | 49% |
| 市町村域水道事業 (13水道事業連結) | 基幹管路の耐震管率 | 24% | 26% | 26% | 37% |
| | 重要施設配水管路の耐震管率※7 | — | 30% | 31% | 39% |
| 工業用水道事業 | 将来の水需要に対する浄水施設の耐震化率 | 69% | 69% | 69%※6 | 69%※6 |
| | 基幹管路の耐震管率 | 15% | 16% | 18% | 20% |

※6 目標年度(2029年度)を超えて工事が完成するため、耐震化率は現状のまま推移します。工事の進捗については10～17ページをご覧ください。

※7 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました(10ページ参照)。

目標の達成に向けて、継続して取り組みます。

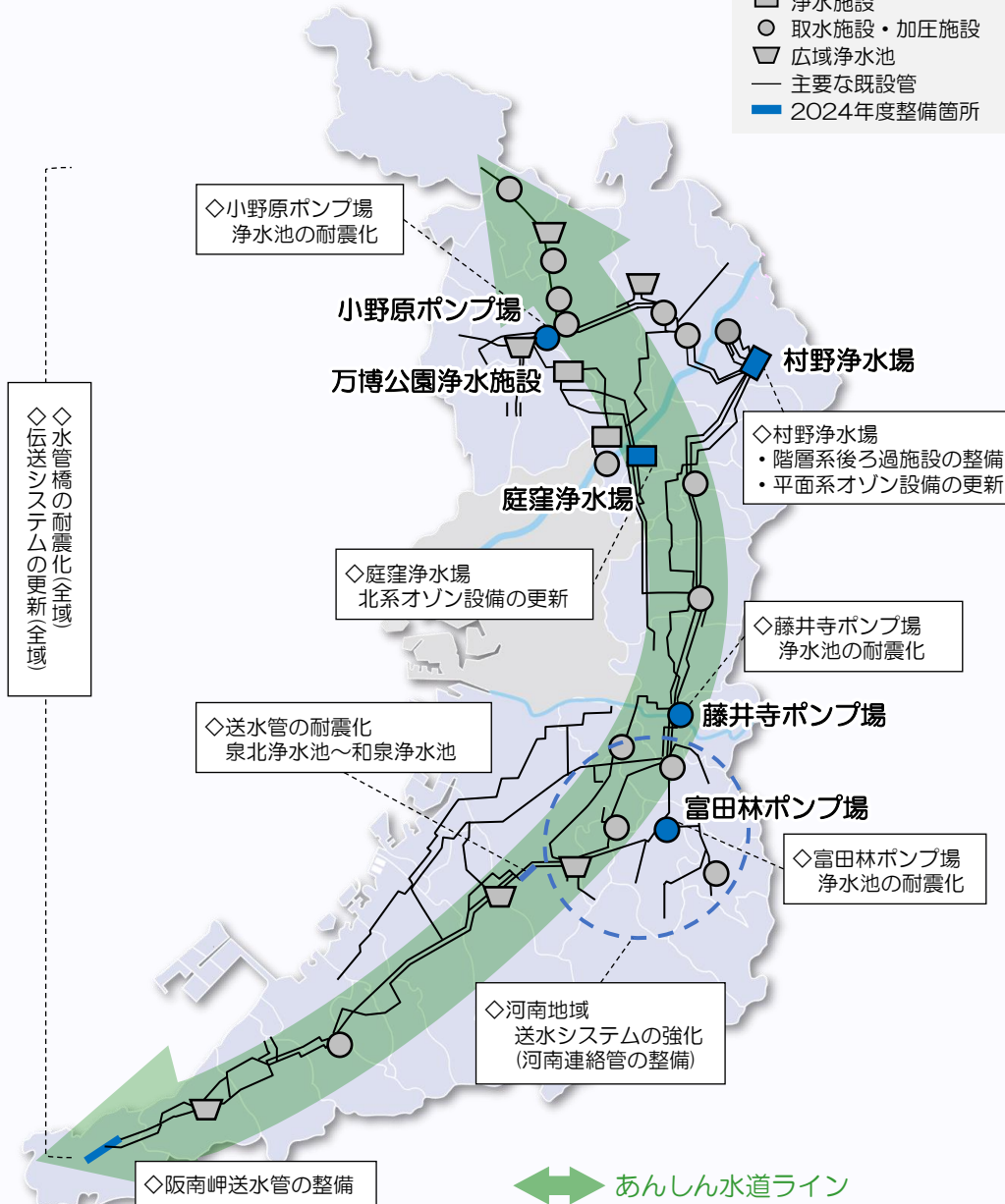


2024年度の主な取組

■ 水道用水供給事業

【凡例】

- 浄水施設
- 取水施設・加圧施設
- ▽ 広域浄水池
- 主要な既設管
- 2024年度整備箇所



施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

2024年度の執行額は162億円で、各ブロックの主な事業は次のとおりです。

取水・浄水施設の更新・耐震化等

■ 村野浄水場

階層系後ろ過施設整備工事

村野浄水場の階層系浄水施設では、新たな水処理課題に対応するため、後ろ過施設の整備を進めています。2024年度はろ過機の搬入等を行いました。



2024年度
執行額 2,652百万円

送水施設の強化

■ 富田林ポンプ場

次亜塩素酸ナトリウム注入設備設置工事

富田林ポンプ場では水道用水の更なる安全性を確保するため、次亜塩素酸ナトリウム注入設備の整備を進め、2024年度に工事が完了しました。



2024年度
執行額 134百万円

送水管の更新・耐震化

■ 送水管布設工事

(阪南岬送水管・阪南市ほか) 2工区

管路の2重化のため、阪南岬送水管の整備を進めてきており、2024年度に工事が完了しました。

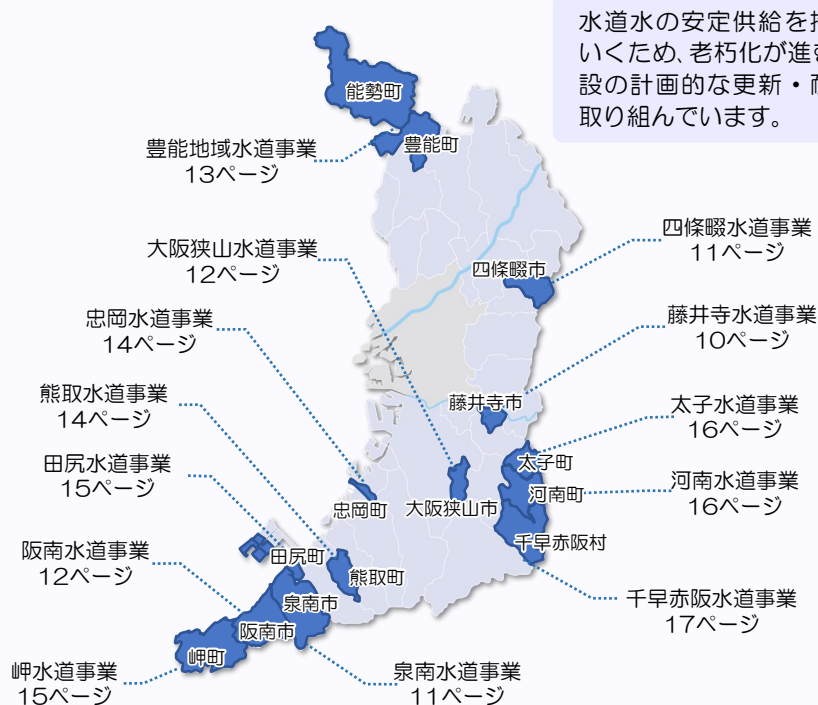
これにより泉南地域へ安定的に送水することが可能となりました。



2024年度
執行額 301百万円

2024年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(13水道事業)



重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

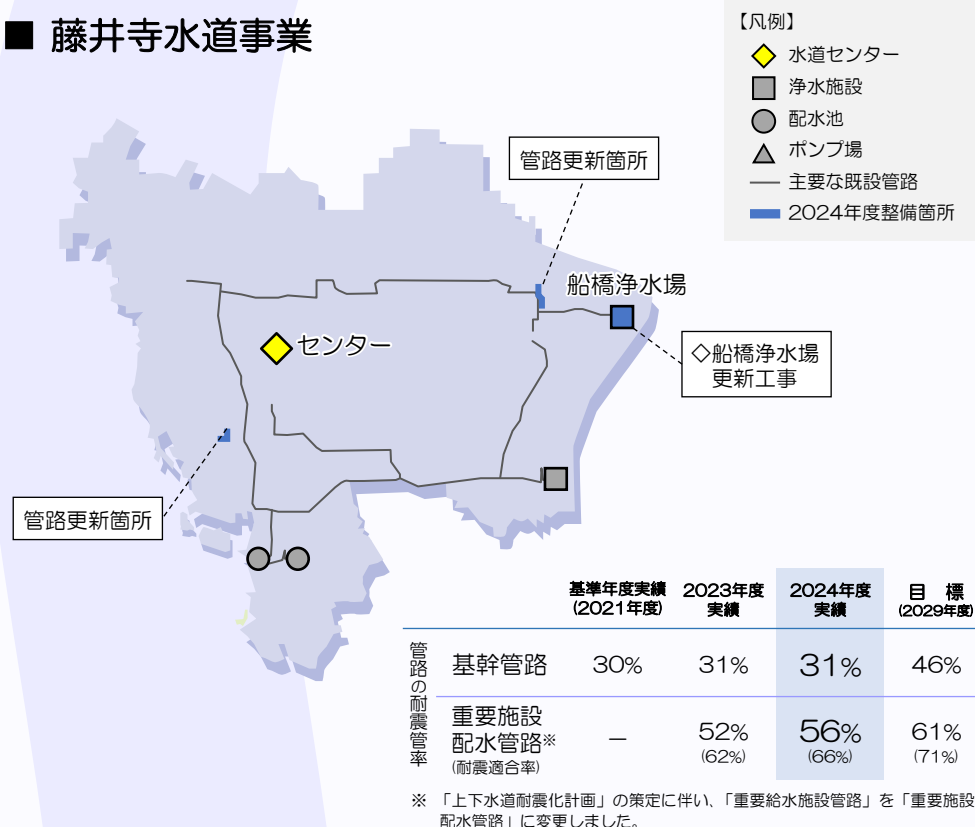
この計画策定に当たり、企業団と統合元団体に協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)

本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。



■ 藤井寺水道事業



2024年度の執行額は6.1億円で、主な事業は次のとおりです。



基幹浄水場の更新

■ 船橋浄水場更新工事

藤井寺市域で使われる水道水の約3割を担う浄水場を2024年度から2028年度にかけて全面的に更新しています。

2024年度
執行額 137百万円

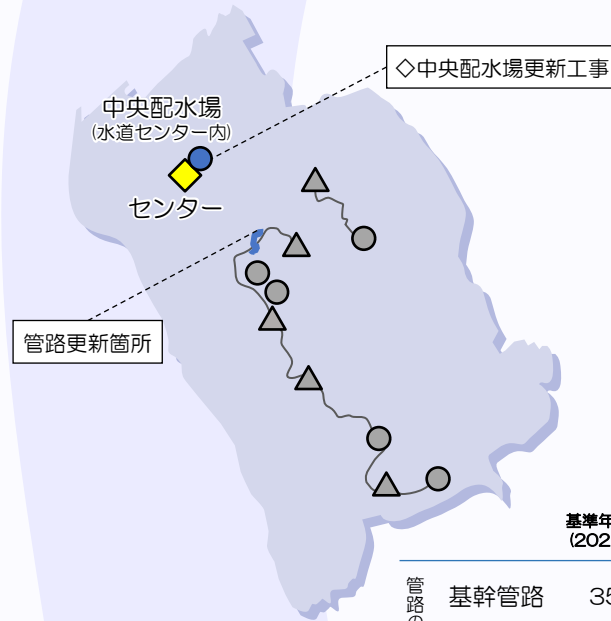
その他の取組

- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は重要施設配水管路である春日丘地区の更新を実施しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

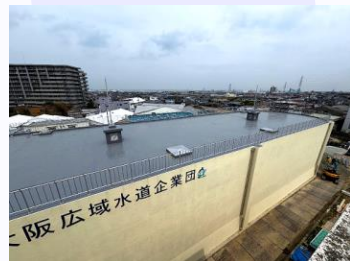
■ 泉南水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 35% | 35% | 36% | 43% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 59% (59%) | 59% (59%) | 61% (61%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は13億円で、主な事業は次のとおりです。



基幹配水場の更新

■ 中央配水場更新工事

2水道事業(泉南、田尻)の共同配水池を整備するとともに、老朽化した管理棟の更新を2021年度から2026年度にかけて実施しています。

2024年度
執行額 444百万円

その他の取組

- 中央配水場更新工事に併せて、4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備を共同で整備しています。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は信達六尾地区の送水管路の更新を実施しました。

■ 四條畷水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 84% | 85% | 85% | 84% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 33% (33%) | 33% (33%) | 44% (44%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は4.6億円で、主な事業は次のとおりです。



設備の更新

■ 中野管理本館ほか 受電設備更新工事

更新時期を迎えた受電設備の更新を実施しています。

2024年度
執行額 173百万円

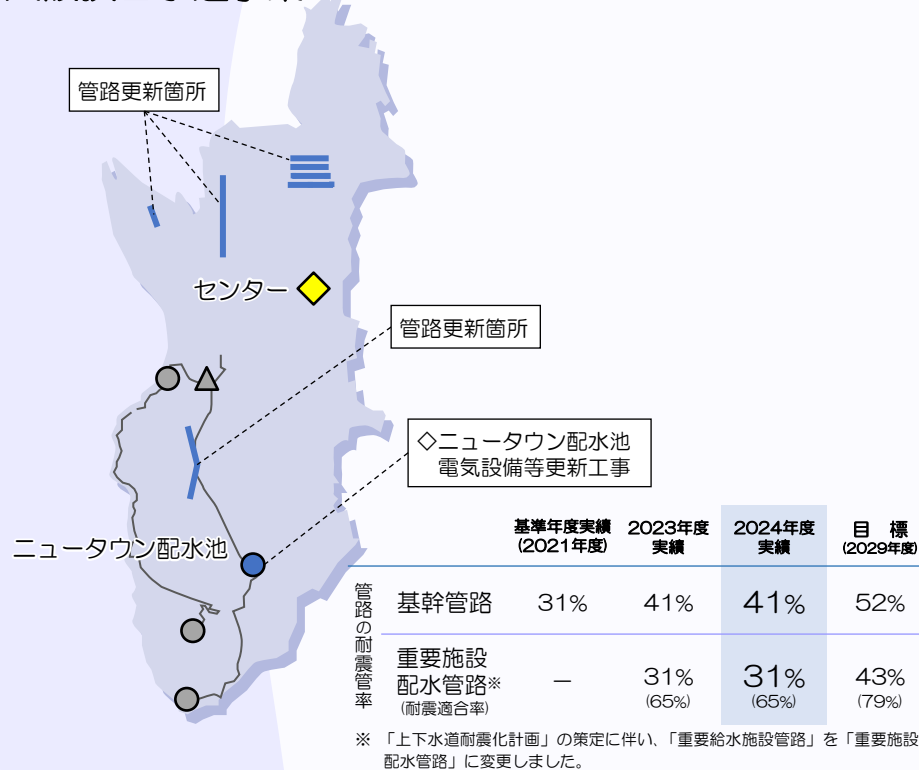
その他の取組

- 中央ポンプ場の無停電電源装置更新工事を実施しました。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は重要施設配水管路である西中野地区などの更新を実施しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 大阪狭山水道事業



2024年度の執行額は4.4億円で、主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(池尻中三丁目地区) R6-1

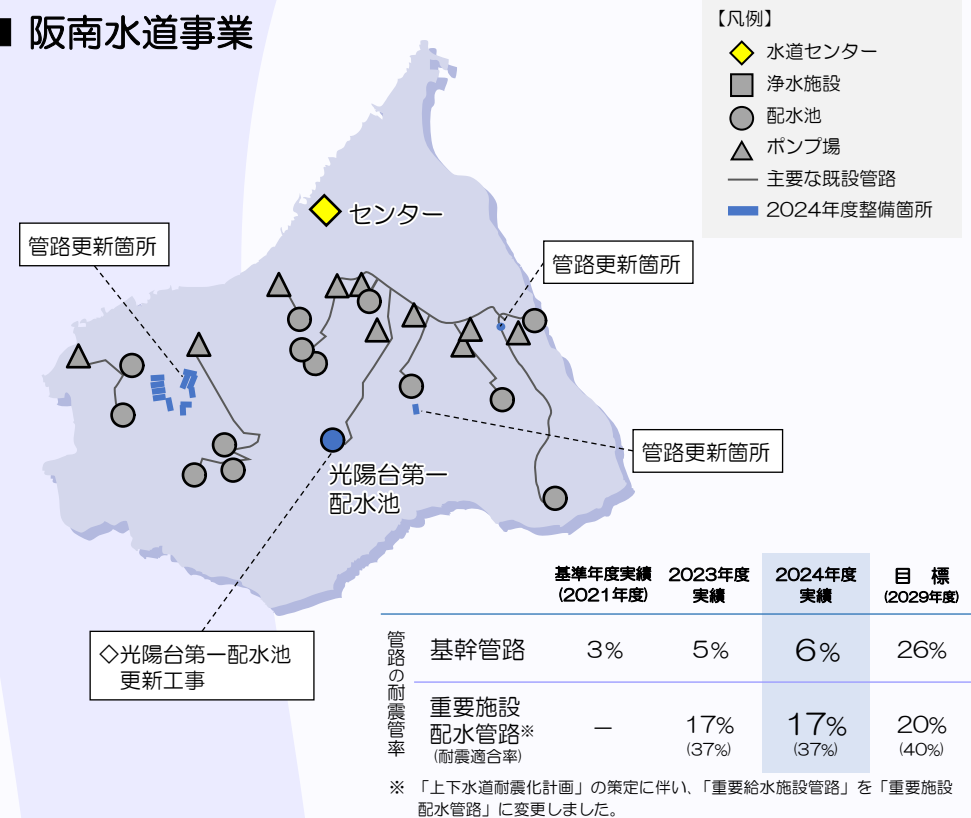
更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しています。

2024年度
執行額 82百万円

その他の取組

- ニュータウン配水池の電気設備等更新工事を実施しました。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は重要施設配水管路である池尻北地区などの更新を実施しました。

■ 阪南水道事業



2024年度の執行額は4.8億円で、主な事業は次のとおりです。



基幹配水池の更新

■ 光陽台第一配水池更新工事

更新時期を迎えた配水池の更新・耐震化を実施しました。更新に合わせて、配水池の規模やポンプ設備の能力の適正化(ダウンサイジング)にも取り組んでいます。

2024年度
執行額 115百万円

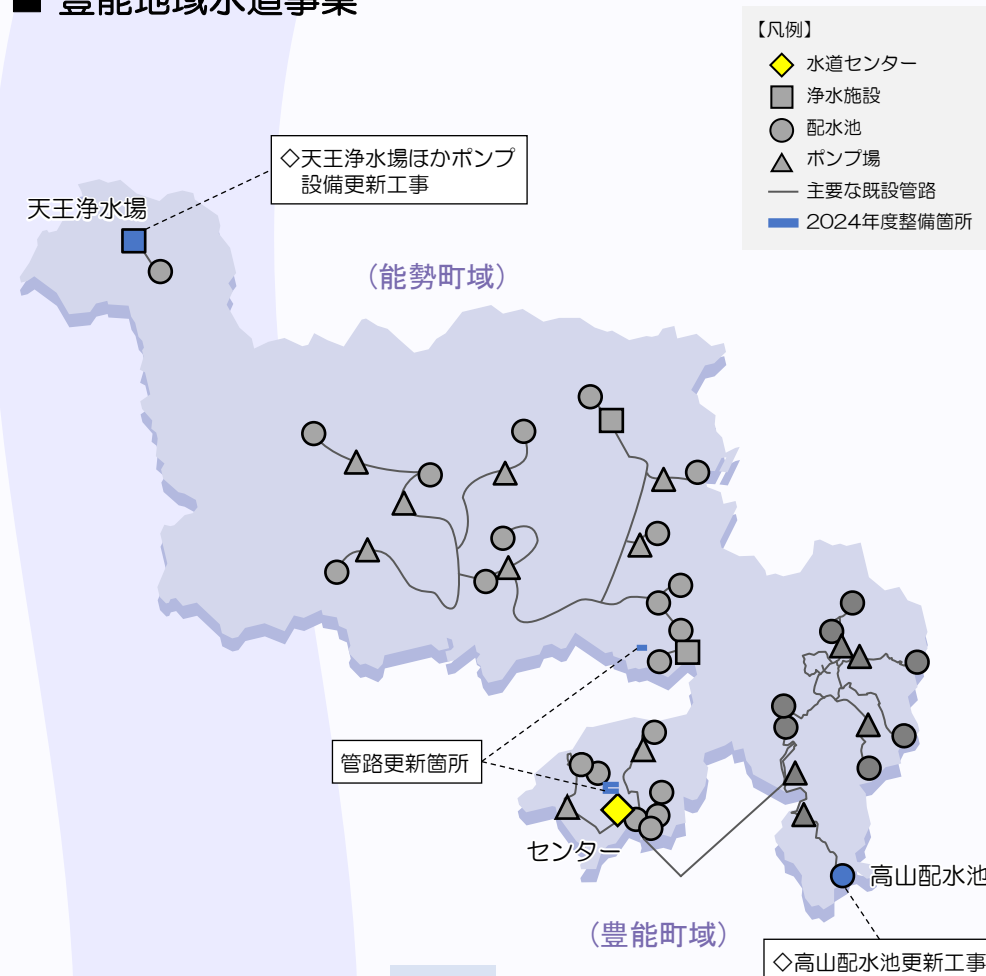
その他の取組

- 4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備を共同で整備しています。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は漏水リスクが高い管路である箱作地区などの更新を実施しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 豊能地域水道事業



PickUp

豊能地域水道事業の運営開始!!

既に企業団が事業を実施している豊能町域の水道事業に加え、2024年4月から能勢町の水道事業を引き継ぎ、「豊能地域水道事業」として運営を開始しました。

これからも変わらず、皆さまに安全・安心な水道水をお届けします。



2024年度の執行額は5.3億円で、主な事業は次のとおりです。

配水池の更新

■ (豊能町域) 高山配水池更新工事

更新時期を迎えた配水池の更新・耐震化を実施しました。更新に合わせて、配水池の規模やポンプ設備の能力の適正化(ダウンサイジング)にも取り組んでいます。



2024年度
執行額 83百万円

設備の更新

■ (能勢町域) 天王浄水場ほかポンプ設備更新工事

更新時期を迎えた設備の更新を実施しました。



2024年度
執行額 33百万円

その他の取組

- 集中監視制御設備の更新・集約化に向けた詳細設計を実施しています。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は漏水リスクが高い管路である豊能町とさわか台地区などの更新を実施しました。

| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | — | — | 29% | —※1 |
| 重要施設 配水管路※2 (耐震適合率) | — | 13% (73%) | 13% (73%) | 15% (74%) |

※1 2024年度に事業統合し、目標値は検討中(2025年度末に公表予定)

※2 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 忠岡水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|--------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管路の耐震管率 | | | | |
| 基幹管路 | 47% | 47% | 47% | 100% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 54% (54%) | 54% (54%) | 85% (85%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は1.1億円で、主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(北4号線)

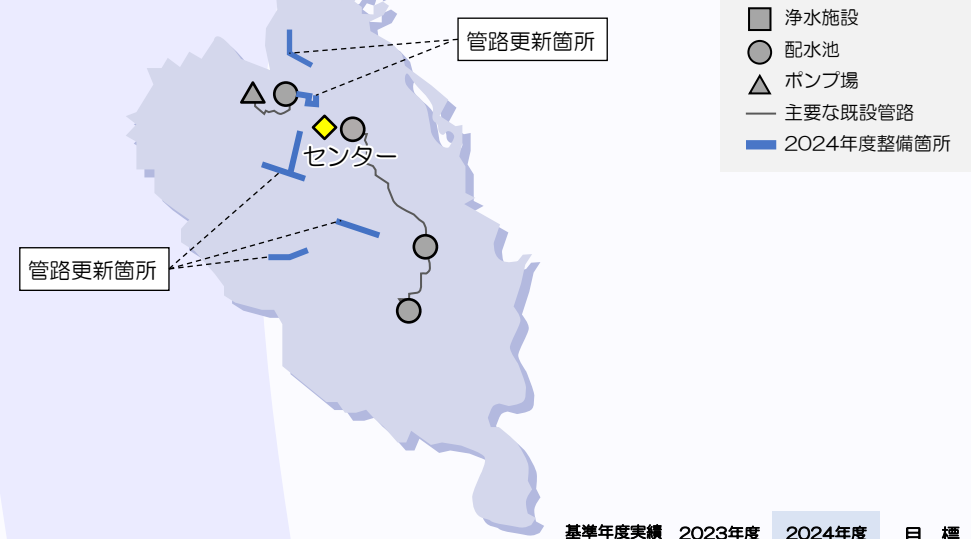
更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しています。2024年度は重要施設配水管路である北1丁目地区の更新を実施しました。

2024年度
執行額 19百万円

その他の取組

- 更新・維持管理費用低減の実現のため、監視制御設備の集約に向けて準備を進めています。

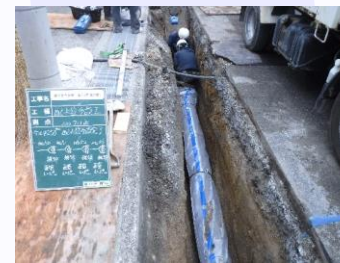
■ 熊取水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|--------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管路の耐震管率 | | | | |
| 基幹管路 | 43% | 49% | 49% | 48% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 64% (82%) | 71% (89%) | 82% (100%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は5.6億円で、主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(五門東地区)

更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しています。2024年度は重要施設配水管路である五門東地区などの更新を実施しました。

2024年度
執行額 184百万円

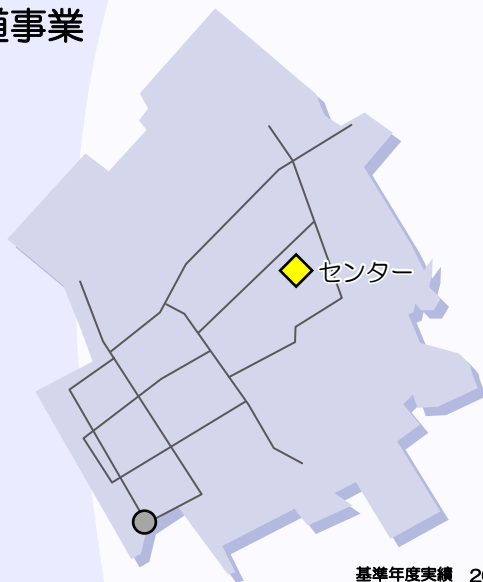
その他の取組

- 下水道工事等に伴う配水管移設工事を実施しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 田尻水道事業



◇中央配水場更新工事

泉南水道センター中央配水場
(正確な位置を表していません。)

| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 8% | 8% | 8% | 8% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 25% (64%) | 25% (64%) | 44% (84%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は2.5億円で、主な事業は次のとおりです。

施設の最適配置

■ 中央配水場更新工事(負担金)

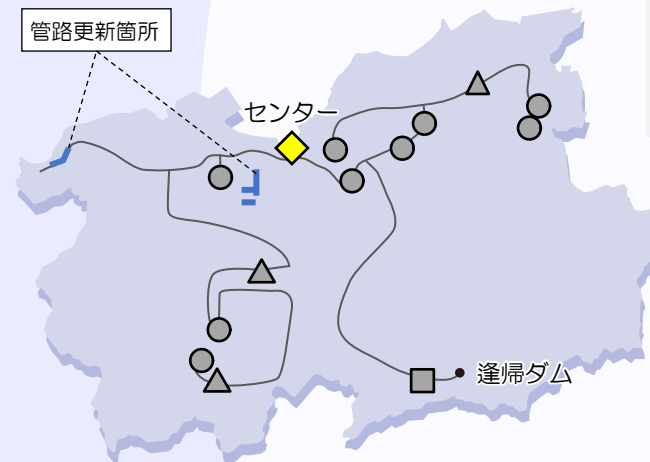
2水道事業(泉南、田尻)の共同配水池整備を2021年度から2026年度にかけて実施しています。

2024年度
執行額 184百万円

その他の取組

- 中央配水場更新工事に併せて、4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備を共同で整備しています。
- 漏水箇所の早期発見により安全で安定した水運用を行うため、漏水調査業務を実施しました。

■ 岬水道事業



【凡例】

- ◆ 水道センター
- 浄水施設
- 配水池
- ▲ ポンプ場
- 主要な既設管路
- 2024年度整備箇所

| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 11% | 11% | 11% | 26% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 2% (2%) | 2% (2%) | 43% (43%) |

※「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は1.8億円で、主な事業は次のとおりです。

管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(小島ルート)4工区

更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しています。2024年度は漏水リスクが高い管路である小島地区などの更新を実施しました。

2024年度
執行額 82百万円

その他の取組

- 4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備の整備を共同で整備しています。

2024年度の主な取組

■ 太子水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 34% | 39% | 40% | 39% |
| 重要施設 配水管路※1、2 (耐震適合率) | — | 0% (23%) | 0% (23%) | 0% (23%) |

※1 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

※2 耐震管以外でも「布設された地盤の状況などから耐震性があると評価できる管(耐震適合性のある管)」があり、これらが更新基準年数を経過していないため、計画期間中の更新を見込んでいません。

2024年度の執行額は2.0億円で、主な事業は次のとおりです。



基幹浄水場の更新

■ 板屋橋浄水場2号井戸掘替工事

太子町域の約4割を担う自己水の浄水場において、取水量の減少が見られる2号井戸の掘替を実施しました。

2024年度
執行額 58百万円

その他の取組

- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は漏水リスクが高い管路である磯長地区の更新を実施しました。

■ 河南水道事業



| | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 管 路 の 耐 震 管 率 | | | | |
| 基幹管路 | 36% | 36% | 39% | 39% |
| 重要施設 配水管路※ (耐震適合率) | — | 25% (47%) | 25% (47%) | 29% (50%) |

※ 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は2.2億円で、主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(大宝四丁目地内ほか)

更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しています。2024年度は重要施設配水管路である大宝四丁目地区などの更新を実施しました。

2024年度
執行額 71百万円

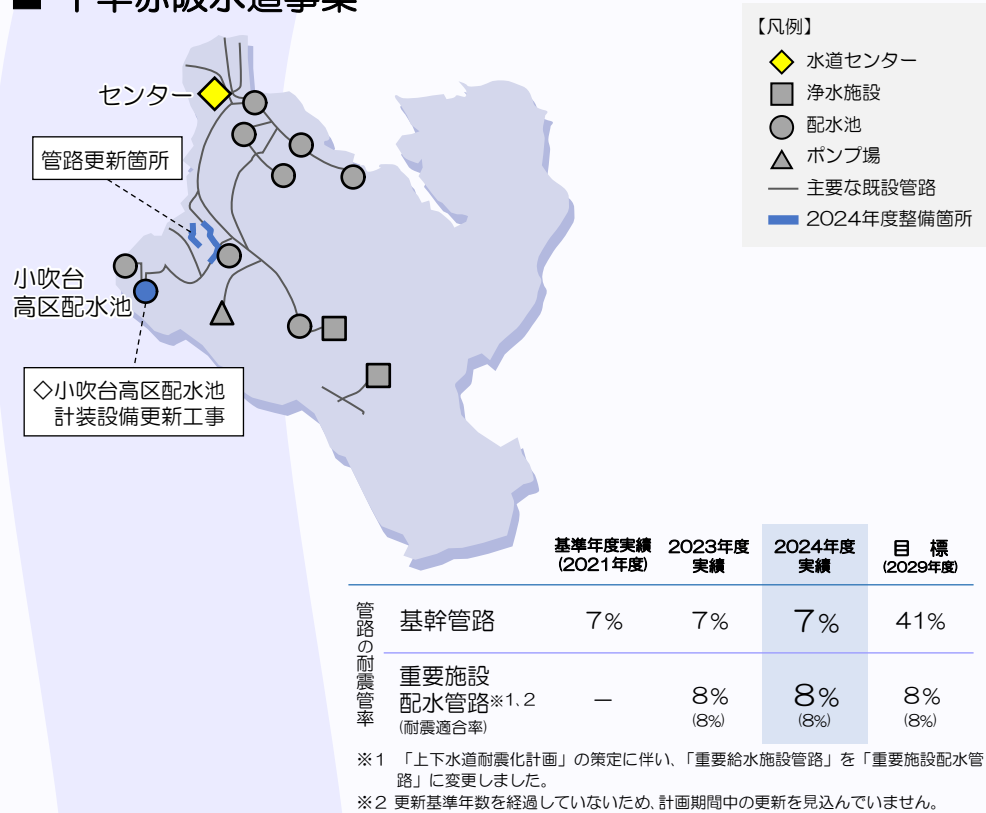
その他の取組

- 配水池の共同利用に伴う芹生谷地区での配水管路の詳細設計を実施しました。

2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 千早赤阪水道事業



2024年度の執行額は1.9億円で、主な事業は次のとおりです。



送・配水のネットワークの強化

■ 送水管及びポンプ場設計整備事業(河南連絡管・富田林市ほか)

受水場及び送水管の新設により水道用水供給事業からの受水を2系統化することに併せて、受水場間の村内連絡管の整備を実施しています。

2024年度
執行額 177百万円

その他の取組

- 老朽化した設備機器の補修・修繕を行い、設備の長寿命化を図っています。

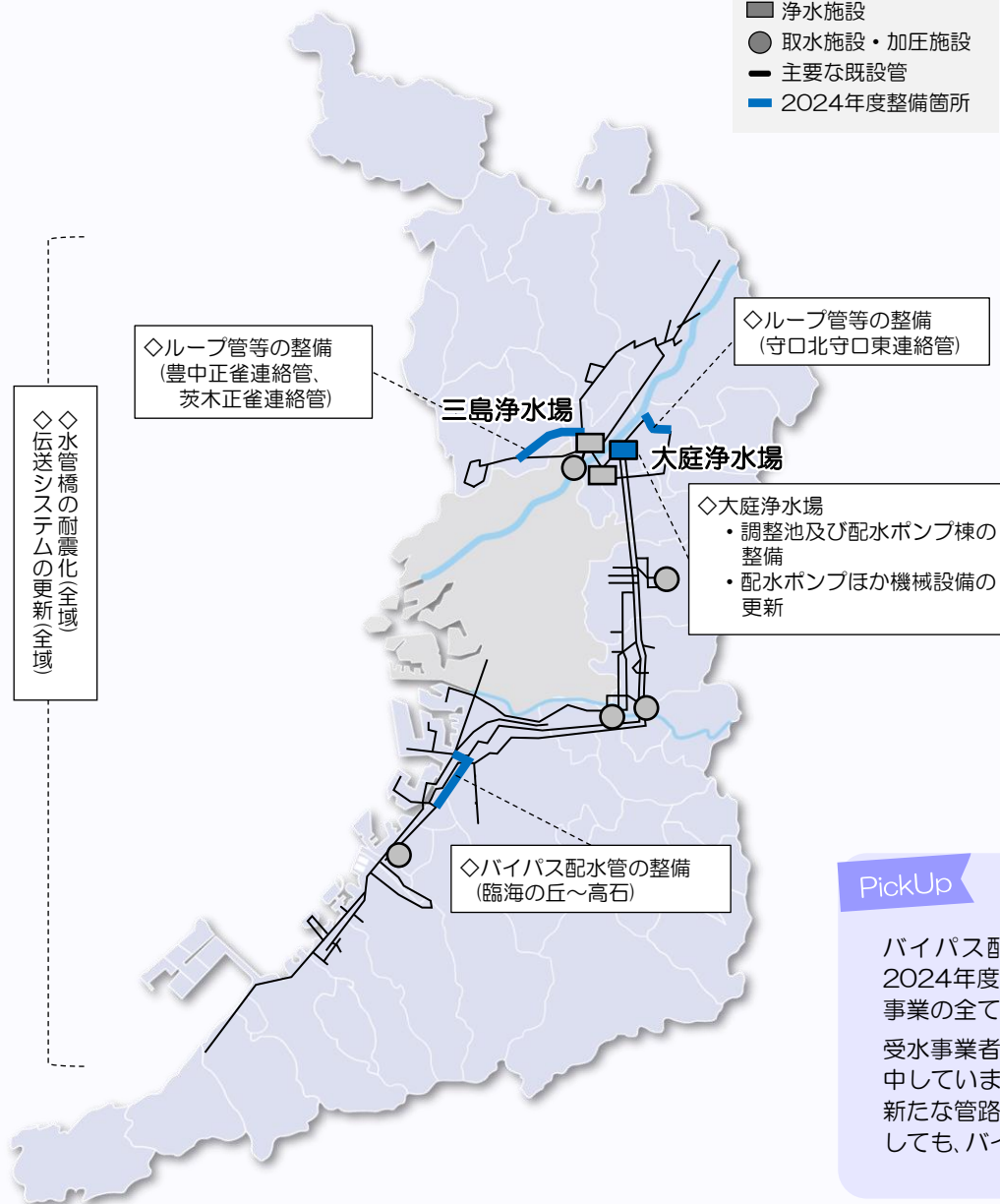
2024年度の主な取組

施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新

■ 工業用水道事業

【凡例】

- 浄水施設
- 取水施設・加圧施設
- 主要な既設管
- 2024年度整備箇所



2024年度の執行額は56億円で、完了した事業は次のとおりです。

取水・浄水施設の更新・耐震化等

■ 大庭浄水場

調整池及び配水ポンプ棟更新工事

大庭浄水場では、老朽化した施設の更新及び耐震化を目的として調整池及び配水ポンプ棟の整備を行っており、2024年度は場内の配管布設と周景工事を行い、工事が完了しました。

2024年度
執行額 820百万円



配水管路の更新・耐震化

■ 配水管布設工事(バイパス・堺市ほか) 2工区
管路更新時の代替能力及び耐震性を確保するため、臨海の丘～高石の整備を行っており、2024年度は立坑内部構築及び場内整備を行い、工事が完了しました。

これにより南大阪地域へ安定的に配水することが可能になりました。

2024年度
執行額 349百万円

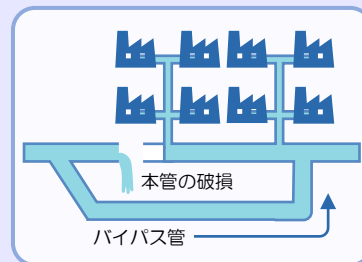


PickUp

バイパス配水管の整備事業について

バイパス配水管の整備事業のうち、臨海の丘～高石間の約5kmが2024年度に通水しました。これにより、2006年から着手した本整備事業の全てが完了となりました(全長約20km、総事業費約204億円)。

受水事業者の多くが、本事業の対象エリアである大阪府の沿岸地域に集中しています。現在使用している管(本管)に加えて、バイパス管として新たな管路を並行して運用することにより、事故等で本管の給水が停止しても、バイパス管により通水を継続し、断水を防ぐことができます。



施策 3 あらゆる危機事象に対する体制の強化（ソフト対策）

取組方針

- 危機管理マニュアルや事業継続計画（BCP）を定期的に見直し、実効性を高めるとともに、様々な危機事象を想定した訓練を実施し、持続的なPDCAサイクルによる組織対応力の強化に取り組みます。
- 復旧目標の達成に向けて、各種協定を充実させるとともに、受援時の体制強化をめざします。
- 災害等により断水が発生した場合を想定し、応急給水体制の強化に取り組みます。

2024年度の主な取組

訓練の実施

災害、事故時等に迅速かつ適切な応急対応を行うため、大規模地震を想定した企業団単独の訓練に加え、日本水道協会や他県の水道用水供給事業体との合同訓練を実施しました。

マニュアルの整備

被災時の円滑な応急給水及び応急復旧を目的に、応援者の受入れを想定した「災害時応援者用マニュアル(用供・工水版)」を作成し、企業団ウェブページで公開しました。

また、能登半島地震の対応を振り返り「応援給水活動実施手引書」の改定を行いました。

企業団単独の訓練

- 4月 安否報告訓練
- 5月 配備体制訓練
- 6月 危機管理訓練
- 9月 応急給水訓練及び受援訓練



危機管理訓練



応急給水及び受援訓練

他団体との訓練

- 10月 地震等緊急時対策合同訓練
(大阪府、日本水道協会大阪府支部、大阪府内水道事業体)
- 11月 遠隔地用水供給事業体合同訓練
(埼玉県企業局、神奈川県内広域水道企業団、阪神水道企業団)



地震等緊急時対策合同防災訓練

PickUp

河南水道センターでの取組

河南水道センター（現 南河内地域水道センター）では、統合元団体と連携を図りながら、応急給水訓練を行っています。大きな災害などが発生し、水道が使えなくなったときは、避難場所、医療機関、社会福祉施設など、緊急性の高いところから応急給水活動を行います。



河南町総合防災訓練での応急給水訓練

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|-------------------------|--------|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| 危機事象発生時に 指揮できる職員の割合※ | ▲ | 21% | 27% | 34% | 40% |

※ 危機事象発生時に当該危機事象への対応方針を決定して適切な対応を指示できる職員の割合（危機管理訓練における対策本部の班長経験者の割合）

目標の達成に向けて、**望ましい方向に**前進中です。



施策4 府域一水道の推進 広域化の推進

取組方針

- 府域水道事業の運営基盤を強化するため、更なる広域化を推進します。

2024年度の主な取組

豊能地域水道事業の開始

既に企業団が事業を実施している豊能町域の水道事業に加え、新たに2024年4月から能勢町域の水道事業を引き継ぎ、「豊能地域水道事業」として運営を開始しました。

この事業開始を記念して、豊能地域水道センターの開所式を行いました。

2025年度の統合に向けた検討協議

2024年11月に岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市の5団体と「水道事業の統合に関する基本協定※1」を結び、その締結式を行いました。

※1 企業団との水道事業の統合について、各団体と合意をするものです。この協定に基づき、2025年4月の事業開始に向けて具体的な調整を進めました。



2027年度の統合に向けた検討協議

2025年1月に泉大津市・箕面市・羽曳野市・門真市(4団体)と「水道事業の統合に向けた検討、協議に関する覚書」を締結し、現在、2027年4月の統合に向けた検討協議を行っています。

PickUp

各式典の開催のまよう



2024.4.1
豊能地域水道センター
開所式



2024.11.28
岸和田市・八尾市・富田林市・
柏原市・高石市との水道事業の
統合に関する基本協定締結式

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|------------|--------|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| 水道事業の統合団体数 | ▲ | 14市町村※2 | 14市町村 | 14市町村 | 府内市町村の過半数と統合 |

※2 2025年4月に事業開始した能勢町を含みます(2018年に基本協定締結)。

目標の達成に向けて、
継続して取り組み
ます。



施策4 府域一水道の推進

府域一水道を見据えた市町村域水道事業の基盤強化

取組方針

- 業務の標準化、システム等の統一や水道センターの統合などにより、市町村域水道事業の一体的、効率的で効果的な事業運営を進めます。
- サービスの標準化と向上を図るとともに、今後の事業(会計)統合も見据え、料金のあり方について検討します。

2024年度の主な取組

業務標準化及び統合水道料金システムの導入

市町村域水道事業の水道料金徴収等業務について、より適正かつ効率的に業務を実施するため、検針や料金の徴収周期、支払期限などの運用の統一を図る標準化を進めています。また、標準化の内容に基づき構築した「統合水道料金システム」を2024年10月から8水道事業で導入し、さらに利用者サービスの向上を図るため、「お客さまサポート」を開始しました。

豊能町域と能勢町域の水道料金統一と統合水道センターの設置

既に企業団が事業を実施している豊能町域の水道事業に加え、新たに2024年4月から能勢町域の水道事業を引き継ぎ、両町域の事業を統合し、「豊能地域水道事業」として運営を開始しました。これに合わせて、水道料金を統一すると同時に、両町域を担当する拠点として「豊能地域水道センター」を開所しました。

KPIの推移

| 指 標 名 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------------------|
| 市町村域水道事業の 認可事業数 | 13事業 | 13事業 (13市町村) | 13事業 (14市町村) | 可能なところから 事業統合を実施 |
| 水道センターの設置数 | 市町村単位 | 13センター (13市町村) | 13センター (14市町村) | 地域単位等で協議の整った 水道センターから順次統合 |

※ 括弧内は企業団と水道事業を統合した市町村数

お客さまサポートとは？

お客さまサポートとは、窓口に行かなくてもインターネットから24時間いつでも水道の使用開始・中止等の申込みやクレジットカード継続払いの申込みができるサービスです。

※ 統合水道料金システムを導入している水道事業の利用者がご使用できます。

※ なお、同システムを導入する水道事業は順次拡大していく予定です。

オンラインで
手続きかんたん♪

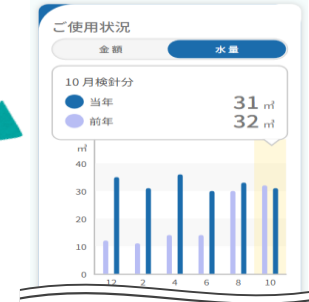


～お客さまサポートでできること～

- ◇使用開始・中止申込み
- ◇名義変更手続き
- ◇過去の使用水量の確認
- ◇過去の料金の確認
- ◇クレジットカード継続払いの申込み

※ お客さまサポートの利用には利用者登録が必要です。

お客さまサポート画面イメージ



2024年度は初の事業統合を実現!!
目標の達成に向けて、**望ましい方向に**
前進中です。



施策5 サービスの向上

取組方針

- デジタル技術を活用し、利用者が利便性を実感できるサービスの提供に取り組みます。
- 水道の使用において不便や不安がないよう、利用者へのサービスの標準化を進める中で、利用者目線での改善や充実に取り組みます。
- 利用者の水道事業に対する理解と信頼を得るため、情報発信の充実、双方向のコミュニケーションの推進、広報・広聴活動を通じた施策やサービスの向上を図ります。

2024年度の主な取組

AR浄水場見学を始動

村野浄水場では、施設見学での説明の補足としてAR(拡張現実)とVR(仮想現実)を導入しました。

このシステムは企業団のウェブページ上で稼働しているため、今後オンライン教材としても活用が可能です。

ARを体験してみよう！



STEP1

お手持ちのスマホで右の2次元コードを読み取ってください。
(専用カメラが起動)



STEP2

専用カメラを右のARマーカにかざしてください。
浄水処理工程で使用しているフロキュレーターが現れます。

ARマーカ



KPIの推移

| 指 標 名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目 標 (2029年度) |
|---------------------------------|--------|--------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 水道センター窓口利用率※ | ↓ | 14% | 15% | 15% | 11% |
| 利用者からの苦情対応割合 (給水件数1,000件当たり) | ↓ | 0.6件 | 1.6件 | 0.6件 | 0.6件 |

※ 利用者が窓口に出向くことなく、各種申請手続を完了できる体制を構築(工事等関係者の利用は除きます。)

府内42市町村で一斉にPRを実施

水道の現状や課題について、住民の皆さまに広く知っていただくため、企業団が全構成市町村に呼びかけ、水道週間(毎年6月1日～6月7日)に合わせて府内42会場(42市町村)で一斉にPRイベントを実施しました。

初めての取組となる2024年は、同年に発生した能登半島地震を踏まえ、「水の備蓄の大切さ」をテーマに、災害用備蓄水や備蓄啓発のリーフレットを配布しました。



一斉PRイベント

各水道センターでの取組

2024年度も、各水道センターにおいて、地域イベントへの参加や出前授業など様々な取組を実施し、利用者との相互コミュニケーションを重視した広報活動を行いました。その一部を写真で紹介します。



藤井寺水道センター
水の日講座



阪南水道センター
はんなんSDGs万博



豊能地域水道センター
秋フェスタin豊能

目標達成に向けて、サービスのオンライン化による利便性向上に努めます。

また、苦情対応の内容や状況を共有しサービスの向上に繋がります。



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

持続可能な事業運営の追求

取組方針

- 企業団をめぐる状況の変化に的確に対応するため、大規模水道事業体にふさわしい事業運営ができる経営基盤を確立します。
- 継続的なアセットマネジメントの実践のもと重要度・優先度を踏まえた事業(投資)の平準化を行います。
- 事業量と事業費の増加や物価上昇に対応するため、業務の実施方法の見直しによる合理化を進めます。

2024年度の主な取組

市町村域水道事業の拡大に合わせた対応

新たな水道事業の統合を見据え、市町村域水道事業をより安定的に運営できるよう、本事業を専門に担当する部署の設置を決定しました。

工業用水道事業の経営改革の検討

工業用水道施設の効率的な更新・維持管理について、経済産業省の伴走型支援を活用し、検討しました。

継続的なアセットマネジメントの実践

アセットマネジメントを実践するとともに、施設の更新基準年数の見直しや施設の効果的なメンテナンス方法について検討しました。

アセットマネジメントとは？

水道施設を効率的に更新・維持管理する考え方です。企業団では、施設の点検・補修を行い、長寿命化を図ることで、ライフサイクルコストの低減に取り組んでいます。



業務の合理化に係る取組の実施

業務の合理化を図るために、設備工事を対象とした概略発注方式による発注を試行的に実施しました。

水道施設はどのように管理しているの？

水道水を各家庭に届けるためには、浄水場、配水池、水道管路、ポンプ設備など、様々な水道施設が必要です。水道施設は24時間365日動いていて、適切に維持管理しないと、施設が予期せず停止してしまい、水道水をお届けすることができなくなってしまいます。

そのために、アセットマネジメントを実践しながら、効率的に更新・維持管理を行っています。



コンクリート構造物の点検

各地域にある配水池の多くはコンクリートでできています。目視確認により、劣化していないか、水が漏れていないか等、定期的に点検しています。



電気・機械設備の点検・補修

浄水場やポンプ場では、多くの電気・機械設備を使って水を送り続けています。故障がないか、日常的に点検を行うとともに、劣化した設備があれば、補修を実施しています。



水道管路の更新

企業団では、約3,600kmの水道管路を管理しています。古くなった水道管は漏水し、断水を招く恐れがあるため、順番に新しい水道管に入れ替えています。



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

市町村域水道事業の基盤強化

取組方針

- 業務の標準化、システム等の統一や水道センターの統合などにより、市町村域水道事業の一体的、効率的で効果的な事業運営を進めます。
- 有効率の向上・維持を図るなど給水コストの低減に取り組めます。

2024年度の主な取組

業務の標準化、統合水道料金システムの導入や水道センターの統合

21ページ参照

漏水調査の強化

有効率を低下させる原因の1つとして、水道管からの漏水があります。漏水の多くは、道路上にあふれるため容易に発見できますが、慢性的に地中で漏水していることも少なくありません。このような漏水を発見するには、漏水調査が有効です。

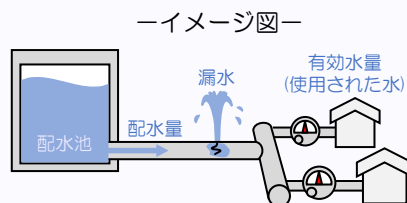
2024年度は、計画的な漏水調査を継続して取り組んでいます。企業団では、水道管全体の漏水調査を一定年数(2～3年程度)で一巡するよう、継続的な漏水調査を推進していきます。

また、人工衛星やデジタル技術を活用した漏水調査など新技術の情報収集を開始しています。

有効率とは？

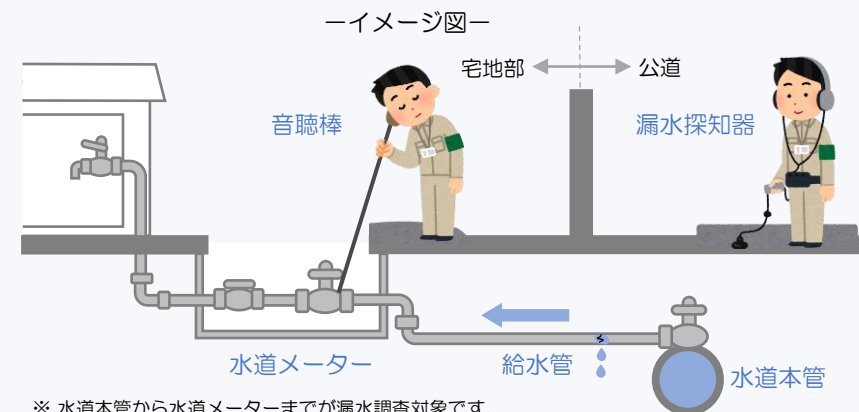
$$\text{有効率} = (\text{有効水量} / \text{配水量}) \times 100\%$$

配水池から配水した水量(配水量)のうち、家庭用、学校用、消防用などに使用された水量(有効水量)の割合を示したものです。漏水量などが増えると有効率が低くなります。



漏水調査ってどんなふうに行っているの？

対象の場所によって、道具を使い分けて調査をしています。



音聴棒による給水装置(各家庭への引込管)の調査

音聴棒を使って水道メーター、止水栓等の漏水音を確認し、各家庭の引込管が漏水しているか調査します。



漏水探知器による路面音聴調査

ヘッドホンから聞こえる漏水音で、漏水箇所を特定します。水道管上の路面を歩行しながら、調査します。



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

DXの推進

取組方針

- デジタル技術、特にIoT、AI、RPA、データ標準化プラットフォームといった新技術を積極的かつ効果的に活用することにより、利用者の利便性の向上、業務の効率化と高度化を図り、人的資源を注力すべき課題に集約して更なる業務やサービスの変革につなげていくことで、利用者にとってより良い事業運営を実現することを目的にDXの推進に取り組めます。

2024年度の主な取組

電子契約の導入

記名押印による書面での契約書の作成に代わって、クラウドシステム上にアップロードした契約書データに電子署名を施すことで、契約締結を可能とする、電子契約の運用を一部の案件において開始しました。今後、対象を拡大していく予定です。

- メリット
- ✓ 郵送のコストを軽減
 - ✓ 書類の整理や検索がしやすくなり、業務の効率が向上
 - ✓ 製本及び印紙代が不要となり、受注者の負担が軽減

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2020年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|-----------------|--------|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| コピー枚数の 削減率※2 | ▲ | 413万枚 | 49%削減※3 | 55%削減※3 | 70%削減※2 |

※2 業務やサービスのデジタル化によるペーパーレスを推進するための指標(2020年度比)

※3 庁外(法令、住民、外部機関等)から紙文書の作成が求められているものや庁内の共有文書、図面等紙文書での作成が必要とされているものを除きます。

建設現場等におけるデジタル技術の活用

建設現場等では、デジタル技術の活用による業務効率化を目的として受発注者のコミュニケーション円滑化の観点によるデジタル化に取り組んでいます。

- 建設現場等の段階確認、材料確認や立会いにおいて、遠隔臨場を実施しています。その結果、受注者の「材料確認等における待ち時間の削減」や発注者の「現場への移動時間の削減」による業務の効率化を図りました。



建設現場等の遠隔臨場イメージ

(出典：国土交通省「官庁営繕事業の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領(2022年制定)」)

- 建設工事等において受発注者間で情報を交換・共有するために、ASP※1による工事情報共有システムを試行的に利用し、効果を検証中です。

※1 Application Service Provider：特定又は不特定のユーザーが必要とするシステム機能をネットワークを通じて提供するサービスのこと

目標の達成に向けて、**望ましい方向に**前進中です。



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

官民連携の推進

取組方針

- 民間事業者が有するノウハウを積極的に活用するとともに、民間事業者と共に今後の水道事業の担い手を確保します。
- あらゆる業務分野において前例にとられない官民連携の取組を検討します。

2024年度の主な取組

官民連携の更なる推進

■ DBM方式の実施(工業用水道事業)

業務量の軽減や全体工期の短縮を図ることなどを目的に、DBM方式で大庭浄水場の非常用発電施設の整備を実施しました。

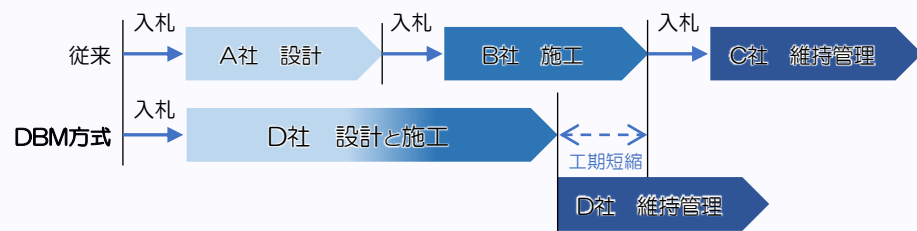


DBM方式とは？

従来、設計 (Design)、施工 (Build)、維持管理 (Maintenance) を別々で発注していたものを一括で発注する方式です。

これにより、業務量の軽減 (効率化) や全体工期の短縮、支出削減を図ることができるとされています。

イメージ図



水平連携による包括委託の実施(継続)

河南地域における広域連携と官民連携の強化による効果の創出に向け、企業団の水道事業と近隣市を合わせた8水道事業(下図)が共同で受託業者を選定し、民間事業者のノウハウの活用やスケールメリットによる効果的な事業運営に取り組んでいます。

実施事業

- ①水道施設維持管理業務等
水道施設の監視や点検保守業務、配水池の清掃業務など
- ②水道営業業務等
水道メーターの検針・取替業務など

効果

- ・業務の安定的かつ長期的な実施
- ・スケールメリットによる業務の効率化
- ・受託業者からの新たな提案(ノウハウの活用)
- ・危機時の対応力の強化
- ・技術継承、担い手の確保 など

-河南地域-



■ 企業団が水道事業を実施している市町村
□ 近隣市
※ 富田林市、柏原市は2025年度に企業団が事業開始

①水道施設維持管理業務等



②水道営業業務等



※ 水道事業ごとに発注業務が異なります。

施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

新技術に関する調査・研究の推進と有用な新技術の導入

取組方針

- 新技術について情報収集を行うとともに、各種調査・研究に参画し、その成果を最適な形で活用しつつ、有用な新技術の導入を図ります。

2024年度の主な取組

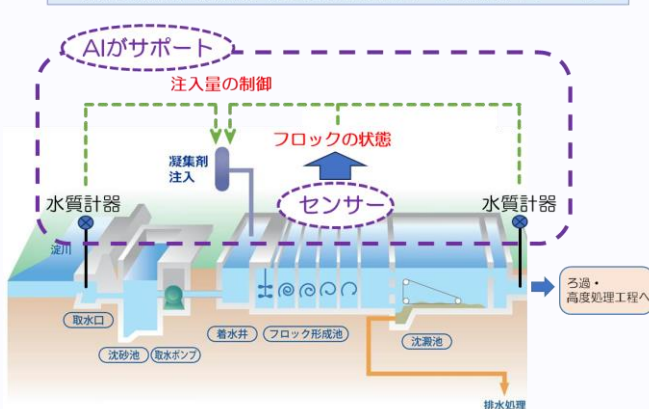
新技術の開発のためのフィールド試験の受入れ

将来的な技術者や担い手不足の解決策に関する有益な情報を得るという目的で、次の4つの新技術の開発に対し、民間事業者等へ企業団用地や施設の提供（フィールド試験）を行っています。

■ 凝集沈でん池の運転管理の技術継承・自動化(村野浄水場)

2024年度から、凝集剤の効果(にごりの固まり具合)を判断するセンサーを設置し、水質等のデータと合わせて、凝集剤の適正な注入量をAIが計算するという、新しい技術の開発のための実機でのフィールド試験を受け入れています。

凝集沈でん池運転管理の技術継承・自動化イメージ



凝集剤とは？

浄水処理には、凝集剤という接着剤のような役割をする薬品を注入し、にごりのもととなる粒子を固めて沈める「凝集沈でん」という工程があります。凝集剤は、原水(川の水)のにごり具合などによって注入量を調整する必要があり、これまで技術者の経験をもとに判断してきました。

■ マイクロ風量発電(村野浄水場)

市街地における新たな電源として、弱い風量で発電可能で、かつ騒音の少ない新しい形状の羽根を用いたマイクロ風力発電のフィールド試験を受け入れています。環境問題解決に寄与する脱炭素化等の新技術の開発を推進しています。

■ 管路の維持管理業務の効率化と高度化(阪南水道事業)

2024年度は管路上にデータ送信可能な計測機を複数設置し、新たに発生した漏水の感知や、工事で断水する時に、水の濁りをより正確に予測できることを検証するためのフィールド試験を受け入れました。

■ 水道スマートメーター(忠岡・河南水道事業)

検針の自動化検討を行うため、スマートメーターのフィールド試験を受け入れました。水道メーターの検針は、検針員が現地で目視により行っていますが、スマートメーターは無線通信により遠隔から検針作業が可能であり、作業時間の短縮など効率性の向上が見込まれます(忠岡水道事業2024年度開始、河南水道事業2023年度開始)。



マイクロ風力発電

<水道スマートメーター 検針イメージ>



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

| 不断の経営努力と適正な料金水準の検討

取組方針

- これまでの経営改善の取組に加え、今後も更なる取組を進めます。
- 収支の悪化や財源の不足が生じる場合には、黒字を計上している期間における利益の活用や適正な料金水準の検討により対応します。

2024年度の主な取組

収入の確保・支出の削減の取組

以下のとおり経営改善の取組を実施しました。

| 取組 | | 効果額 |
|-------|---------------------------------|-----------------------------|
| 収入の確保 | VPP事業※1 参画による収入 | 用供 13,042千円/年 水道 972千円/年 |
| | 小水力発電による収入 | 用供 1,005千円/年 |
| 支出の削減 | 浄水発生土の処分 (公共間無償譲渡等による処分費の削減) | 用供 250,044千円/年 |

※1 VPP(仮想発電所)事業者からの負荷調整指令に基づき、負荷調整(電気使用量を削減)することで報酬を得る取組

水道事業(阪南水道事業)の料金改定の取組

安全で良質な水道水を安定的にお届けする水道事業の経営を持続するため、2026年4月からの阪南水道事業の料金改定に向けて検討を開始しました。

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|-------------|--------|--------------------|-----------------|-----------------|------------------------|
| 繰越 欠損金 | ➡ | 0円 (繰越欠損金なし) | 0円 (繰越欠損金なし) | 0円 (繰越欠損金なし) | 0円 (繰越欠損金なし) |
| 経常収支 比率 | ⬆ | 用供113.5% | 用供109.1% | 用供108.0% | 100%以上 |
| | | 水道110.3% | 水道107.9% | 水道104.7% | |
| | | 工水118.2% | 工水110.2% | 工水 98.2% | |
| 流動比率 | ⬆ | 用供162.9% | 用供169.8% | 用供175.7% | 100%以上 |
| | | 水道334.1% | 水道268.2% | 水道241.1% | |
| | | 工水389.5% | 工水282.8% | 工水292.5% | |
| 有効率 (水道) | ⬆ | 94.1% | 94.3% | 92.9% | 5年平均 95.5%以上 を維持 |

補足：上表において「水道」とは、「市町村域水道事業(13水道事業連結)」のことです。

有効率とは？

配水池から配水した水量(配水量)のうち、家庭用、学校用、消防用などに使用された水量(有効水量)の割合を示したものです。(24ページもあわせてお読みください)。

工業用水道事業の経常収支比率は、漏水対応のため緊急的に水道用水供給事業から水の供給を受けたことに伴う受水費の増加などにより低下しました。

また市町村域水道事業の有効率は、一部の水道事業での漏水が原因で低下しました。引き続き、目標の達成に向けて、継続して取り組みます。



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

職員の働きがいの向上

取組方針

- 働き方改革を進めるとともに、職員の働きがいの向上に取り組めます。

2024年度の主な取組

2022年度、全職員が働きがいを持って業務に取り組めるような施策・対策等を講じていくための参考資料として活用する「職員満足度調査」を行い、職員の満足度や問題意識等の把握に努めました。

2024年度は、上記の調査で優先的に取り組むべき課題とされた「職員のストレス軽減」「業務の効率化」「人材育成」のうち、特に「人材育成」について、新たな取組を実行しました。

資格取得支援制度の創設

職員自らが業務遂行能力の向上をめざして行う自己啓発への支援策として2024年度に「資格取得支援制度」を創設しました。本制度は、対象資格合格者に対し、その受験料等を企業団が支援するものです。

<主な対象資格>

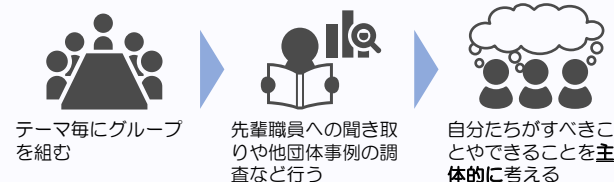
ITパスポート／情報処理技術者試験／マネジメント検定／日商簿記／自治体法務検定／TOEIC500点以上／英検(2級以上)／土木施工管理技士／管工事施工管理技士／建築施工管理技士／技術士／給水装置工事主任技術者／電気工事施工管理技士 など



企業団若手職員育成研修「水から未来へプロジェクト」の実施

採用3年目の職員を対象とした新たな研修「水から未来へプロジェクト」を開始しました。本研修は、グループワーク形式で行う研修です。将来ビジョンに掲げる8つの施策のうち、受講者自身が興味のある施策をテーマとして選定し、テーマ毎につくられたグループで、自分たちは何ができるのかを考えるものです。本研修を通じて、研修受講者が仕事への主体性を持ち、やりがいを感じることに期待しています。

「水から未来へプロジェクト」の進め方



将来ビジョンの8つの施策



- ① 安全で良質な水道水の提供
- ② 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新
- ③ あらゆる危機事象に対する体制の強化(ソフト対策)
- ④ 府域一水道の推進
- ⑤ サービスの向上
- ⑥ 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進
- ⑦ 環境負荷の低減
- ⑧ 国際貢献

KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2022年度) | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|-----------------------|--------|--------------------|--------------|----------------|
| 仕事にやりがいを持って働いている職員の割合 | ↑ | 71% | — | 75% |

職員満足度調査は概ね3年ごとに実施する予定です。
(2025年度に実施予定です)



施策 6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進

人材確保、職員の能力や技術力の向上

取組方針

- 必要な人材の継続的な確保のために総合的な取組を推進します。
- より効果的な人材育成の手法を確立し、技術継承と人材育成に取り組みます。

2024年度の主な取組

人材育成方針の策定

企業団職員に求められる能力を明確にしたうえで、職員の能力を高めるための具体的な取組を「人材確保」、「人材マネジメント」、「職員研修」、「職場環境」の4つの領域に分けて体系化し、有機的に機能させて組織で人材育成に取り組むための方針を策定しました(2025年1月)。

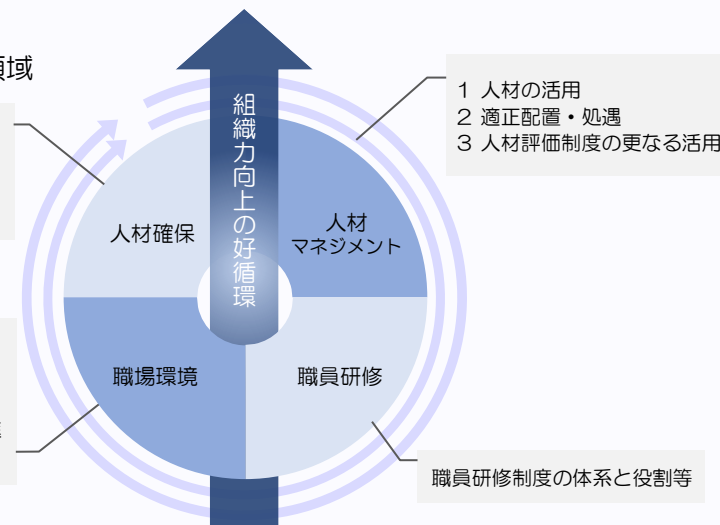
本方針において、職員に求められる基礎能力を明確にするとともに、職員が身に付けておくべき水道の能力や行動目標として標準スキルマップ※を作成しました。職員はこれを参考にして、求められる知識やスキルの獲得と向上に努めていくこととしています。

※ 職種(行政、土木、設備、水質)や職階(役職)に応じた行動目標を記載したもの

■ 人材育成の4つの領域

- 1 より多くの人材を確保するための取組
- 2 将来有望な人材を確保するための取組

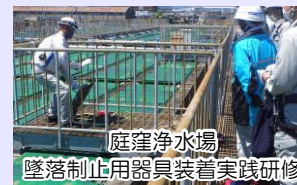
- 1 人を育てる環境の整備
- 2 業務改善への取組
- 3 ワークライフバランス
- 4 メンタルヘルス対策の推進
- 5 ハラスメントのない職場



PickUp

様々なOJT研修

企業団の各所属においては、現場に合わせた様々なOJT研修が行われています。先輩から直接学び、体験を通してスキルを磨くことができるので、次世代を担う職員にとっては成長の大切な一歩となります。



KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2017~2021年度 平均実績) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|---------|--------|---------------------------------|------------------|------------------|----------------|
| 職員採用倍率※ | ▲ | 5.3倍 | 5.0倍 (過去5年平均) | 5.0倍 (過去5年平均) | 7倍 |

※ 技術職の採用倍率(申込者数÷最終合格者数)

目標達成に向けて、試験区分を追加し受験機会を拡大するなど、受験しやすい環境を整えます。



施策 7 環境負荷の低減

取組方針

- 温室効果ガス総排出量を2029年度に基準年度(2013年度)比で46%削減することを目指し、その達成に向けた取組を推進します。
- 浄水発生土の有効利用を推進するなど廃棄物の減量に取り組めます。

2024年度の主な取組

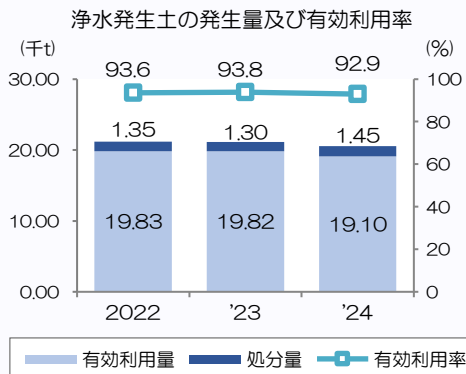
浄水発生土の有効利用

企業団では、環境対策の一環として、浄水発生土を乾燥させ、園芸用土やグラウンド資材としての販売や公共団体への譲渡を進めるなど、浄水発生土の有効利用に努めています。

2024年度の有効利用量は1.9万t、有効利用率は92.9%となりました。

浄水発生土とは…?

河川水から飲み水をつくる際にできる、水中の無機物等を集めて土状にしたものです。浄水発生土は、有効利用しなければ産業廃棄物として埋立処分をすることになります。



温室効果ガスの削減

- 浄水場の施設内に太陽光発電設備を積極的に導入するなど、再生可能エネルギーの活用を促進しています。2024年度は企業団全体で太陽光設備によって一般家庭の約260世帯が1年間に使用する電力量を発電しました。
- 熊取交流センターのすまいるズ煉瓦館に、給水スポットを設置しました。住民のマイボトル利用を促進することによって、社会全体のカーボンニュートラルに貢献します。
- 企業団全体の電力使用量は減少傾向にある一方で、2024年度の温室効果ガス総排出量は昨年度比約10.3%増の約17.1万t-CO₂となりました。これは、電力使用に係る温室効果ガス排出係数が、前年度に比べ約16%上昇したことによるものです。



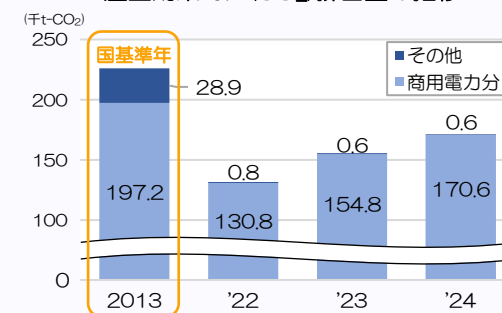
電力使用量の推移

| | 2022 | '23 | '24 |
|---------|-------|-------|-------|
| 電力使用量 | 440.6 | 433.5 | 410.5 |
| 商用電力使用量 | 437.5 | 429.9 | 407.2 |

(参考) 排出係数の推移 (t-CO₂/FkWh)

| | 2022 | '23 | '24 |
|----------------------|-------|-------|-------|
| CO ₂ 排出係数 | 0.299 | 0.360 | 0.419 |
| 関西電力(株) | | | |

温室効果ガス(CO₂)排出量の推移



KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度実績 | 2024年度実績 | 目標 (2029年度) |
|--------------------|--------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 温室効果ガス 総排出量の削減率 | ▲ | 28%削減 2013年(国基準年)比 | 31%削減 2013年(国基準年)比 | 27%削減 2013年(国基準年)比 | 46%削減 2013年(国基準年)比 |
| 浄水発生土の 有効利用率 | ▲ | 87% | 94% | 93% | 85%以上 |

目標の達成に向けて、
継続して取り組み
ます。



施策 8 国際貢献

取組方針

- 国際技術協力の推進を通じて、国際貢献を行います。

2024年度の主な取組

JICA能力強化研修の受講

企業団では、独立行政法人国際協力機構(JICA)主催の「能力強化研修(水道)」に毎年職員を派遣しています。2024年度も、職員1名が当研修を受講し、国内外の研修参加者とともに水道に関するテーマについて発表を交えながら探求しました。



10日間の研修期間中は英語でコミュニケーションを取り、グループワークや発表等に取り組みました。



「Thai Water Expo 2024 Water Forum」会議・展示会への参加

従来、技術交流を行っているタイ王国首都圏水道公社(MWA)から依頼を受け、タイで開催された水道技術についての国際展示会及び会議へ職員1名を派遣し、浄水場更新計画や地震対応等について発表を行いました。

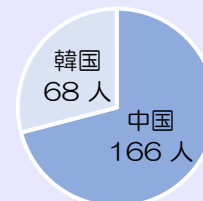
※ MWAとは2014年に覚書を締結しており、定期的に技術交流を行っています。



PickUp 海外からの視察受入れ

村野浄水場、庭窪浄水場では、年間を通して海外からの施設見学を受け入れています。

2024年度は2浄水場の合計で234名の視察者が熱心に企業団の水づくりについて学びました。



これまでの国際貢献の取組を教えて!

独立行政法人国際協力機構(JICA)を通じ、技術協力専門家として職員を海外に派遣し、東南アジアを中心とした開発途上国への支援を行ってきました。

また、海外での大規模災害時にも、JICAの要請により国際緊急援助隊専門家チームとして職員を派遣しています。



KPIの推移

| 指標名 | 望ましい方向 | 基準年度実績 (2021年度) | 2023年度 実績 | 2024年度 実績 | 目標 (2029年度) |
|----------------------|--------|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| JICA能力強化研修 累計修了者数 | ▲ | 9人 | 11人 | 12人 | 17人 |

目標の達成に向けて、**望ましい方向に**前進中です。



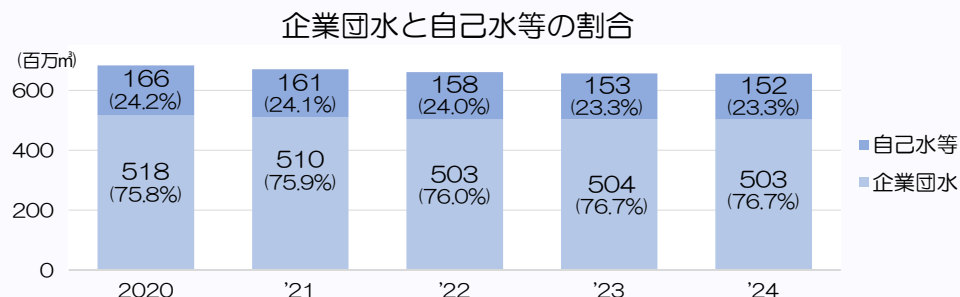


各事業の財政収支、 主な経営指標の状況 等



■ 水道用水供給事業

給水量の推移



2024年度の企業団から府内市町村(大阪市を除く。)への給水量は503百万m³で、前年度と比べて1百万m³(0.2%)減少しています。また、企業団水の受水割合は76.7%で、前年度と比べて増減はありません。

企業団水…企業団が淀川の水を浄水処理し、供給する水道用水
自己水等…市町村の水源の水を浄水処理した水道水など、企業団水以外のもの



財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 38,885 | 38,877 | △ 8 |
| 給水収益 | 36,271 | 36,215 | △ 56 |
| 長期前受金戻入 | 1,976 | 1,788 | △ 188 |
| その他収入 | 635 | 874 | 239 |
| 特別利益 | 3 | 0 | △ 3 |
| 費 用 | 35,641 | 35,991 | 350 |
| 維持管理費 | 19,851 | 20,716 | 865 |
| 減価償却費等 | 14,483 | 14,078 | △ 405 |
| 支払利息 | 1,307 | 1,197 | △ 110 |
| 特別損失 | - | - | - |
| 単年度損益 | 3,244 | 2,886 | △ 358 |

収益は、長期前受金戻入が減少したものの、工業用水道の漏水に伴う応援給水によりその他収入が増加したことなどから、前年度並みとなりました。

一方、費用において、減価償却費や支払利息は減少しましたが、修繕費が増加したことなどにより維持管理費が増加したため、前年度と比べると3.5億円増加しました。

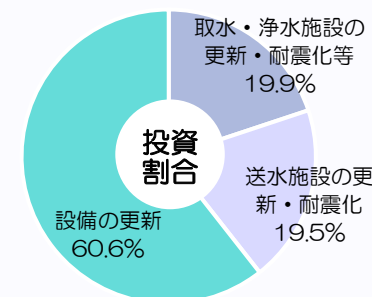
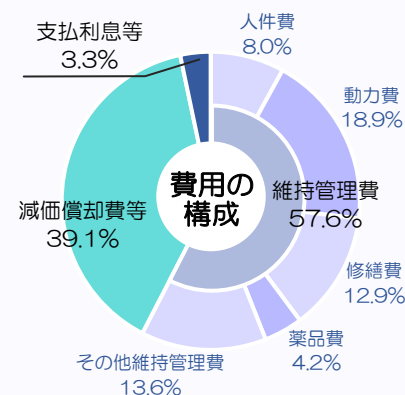
これらの結果、単年度利益は前年度に比べ4億円減少し、29億円となりました。



(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 6,774 | 13,070 | 6,296 |
| 企業債 | 6,400 | 12,130 | 5,730 |
| 国庫補助金等 | 217 | 364 | 147 |
| その他収入 | 157 | 576 | 419 |
| 支 出 | 21,274 | 28,326 | 7,052 |
| 建設改良費 | 11,103 | 17,399 | 6,296 |
| 企業債償還金 | 9,770 | 10,470 | 700 |
| その他支出 | 401 | 457 | 56 |
| 収支の差額 | △14,500 | △15,256 | △756 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

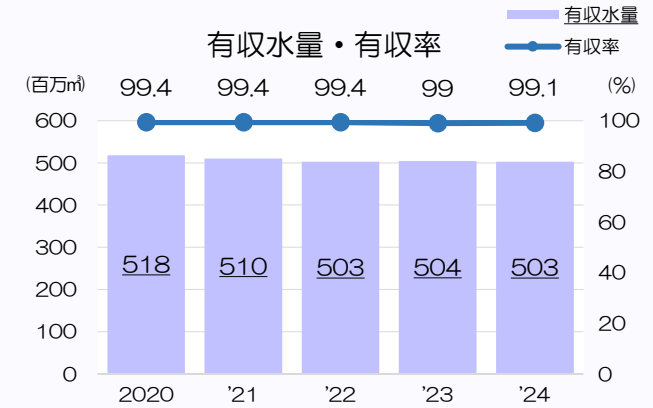
単年度損益



企業債残高



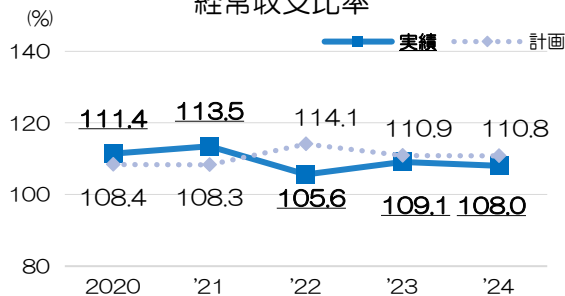
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | △ | △ |

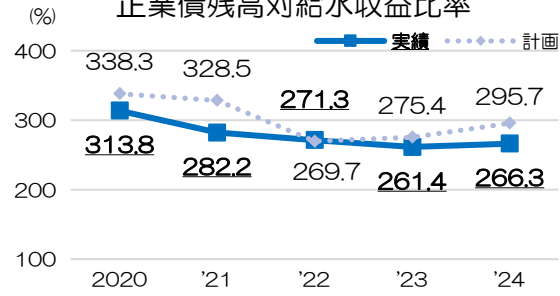
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、1.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値108.9%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、企業債残高が増加したことから、4.9ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値210.8%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | △ | △ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、1.6ポイント減少しています。

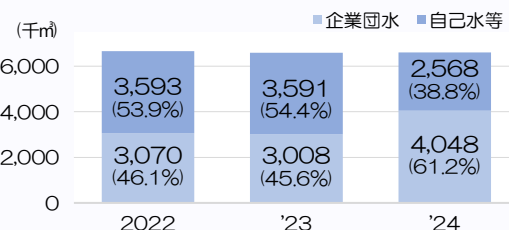
【参考:2023年度類似団体平均値107.7%】

■ 藤井寺水道事業

給水人口や給水量の推移



企業団水と自己水等の割合



2024年度末の給水人口は62,008人で、前年度と比べて1,427人(2.2%)減少しています。

また、給水戸数は26,304戸で34戸(0.1%)減少しています。

給水量は6,616千m³で、前年度と比べて17千m³(0.3%)増加しています。

船橋浄水場の更新工事に伴い自己水を企業団水に振り替えたことにより、企業団水の割合が前年度と比べて15.6ポイント増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 1,335 | 1,318 | △ 17 |
| 給水収益 | 1,115 | 1,089 | △ 26 |
| 長期前受金戻入 | 135 | 135 | △ 0 |
| その他収入 | 84 | 93 | 9 |
| 特別利益 | — | 0 | 0 |
| 費 用 | 1,091 | 1,183 | 91 |
| 維持管理費 | 648 | 722 | 74 |
| 減価償却費等 | 414 | 434 | 20 |
| 支払利息 | 30 | 27 | △ 2 |
| 特別損失 | 0 | 0 | △ 0 |
| 単年度損益 | 243 | 135 | △ 108 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 234 | 389 | 155 |
| 企業債 | 80 | 92 | 12 |
| 国庫補助金等 | 100 | 154 | 54 |
| その他収入 | 54 | 143 | 89 |
| 支 出 | 665 | 821 | 157 |
| 建設改良費 | 510 | 671 | 161 |
| 企業債償還金 | 154 | 150 | △ 4 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 430 | △ 432 | △ 2 |

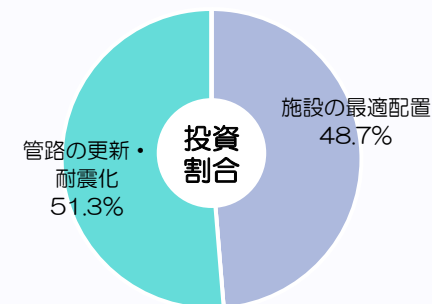
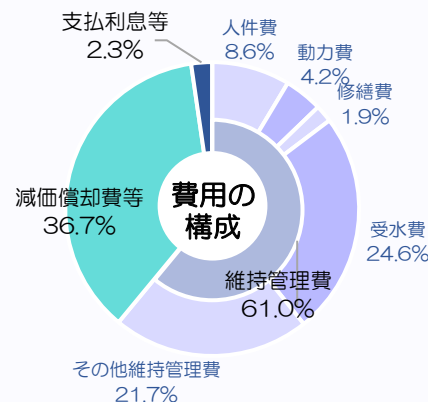
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、有収水量の減少に伴い給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると17百万円減少しました。

費用は、船橋浄水場の更新工事に伴い自己水を企業団水に振り替えたことによる受水費の増加や固定資産除却費の増加などにより、前年度と比べると91百万円増加しました。

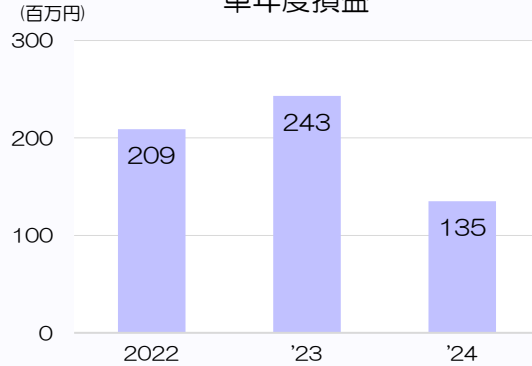
これらの結果、単年度利益は前年度に比べ108百万円減少し、135百万円となりました。



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

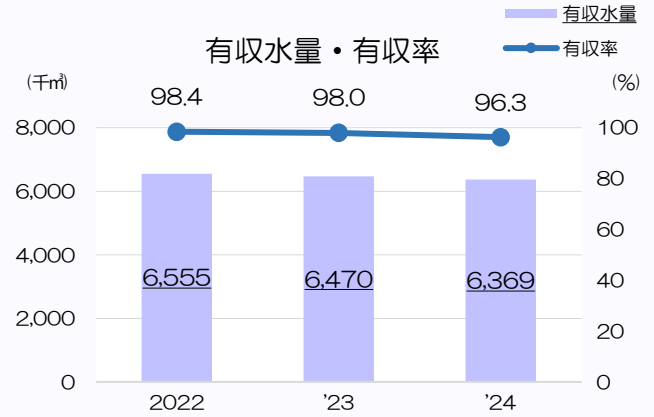
単年度損益



企業債残高



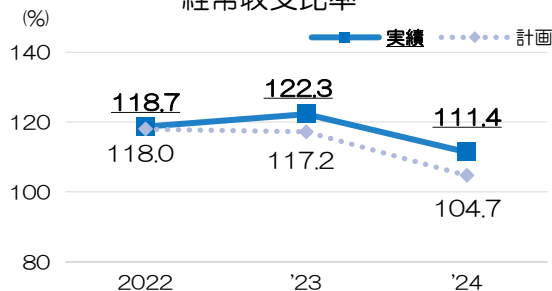
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | - | - | ○ | ○ | ○ |

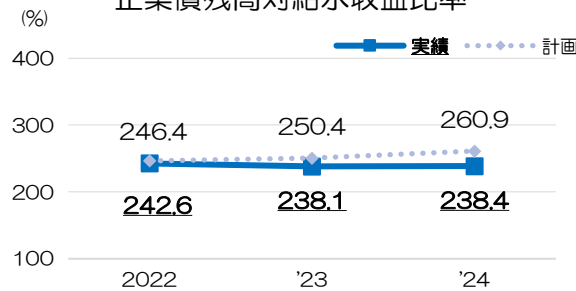
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

〈2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、10.9ポイント減少しています。〕

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | - | - | ○ | ○ | ○ |

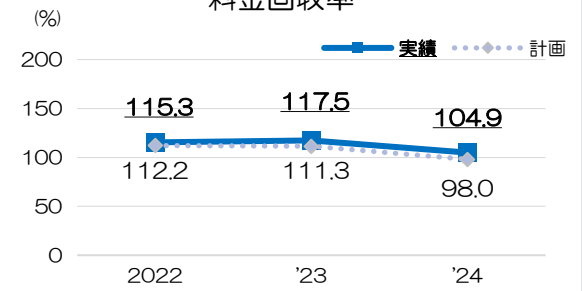
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、給水収益、企業債残高ともに減少したことから、0.3ポイント増加となっています。〕

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | - | - | ○ | ○ | ○ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

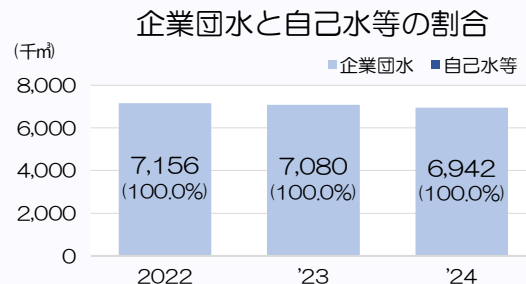
〈2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、12.6ポイント減少しています。〕

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】

※ 藤井寺水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。

■ 泉南水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は56,551人で、前年度と比べて605人(1.1%)減少しています。

また、給水戸数は25,814戸で115戸(0.4%)増加しています。

給水量は6,942千m³で、前年度と比べて138千m³(1.9%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 1,525 | 1,443 | △ 82 |
| 給水収益 | 1,253 | 1,180 | △ 73 |
| 長期前受金戻入 | 198 | 191 | △ 7 |
| その他収入 | 74 | 70 | △ 4 |
| 特別利益 | 0 | 2 | 2 |
| 費 用 | 1,343 | 1,296 | △ 47 |
| 維持管理費 | 916 | 899 | △ 17 |
| 減価償却費等 | 393 | 367 | △ 26 |
| 支払利息 | 34 | 30 | △ 4 |
| 特別損失 | 0 | 0 | △ 0 |
| 単年度損益 | 183 | 147 | △ 35 |

(単位：百万円、税込)

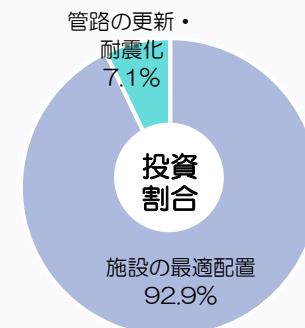
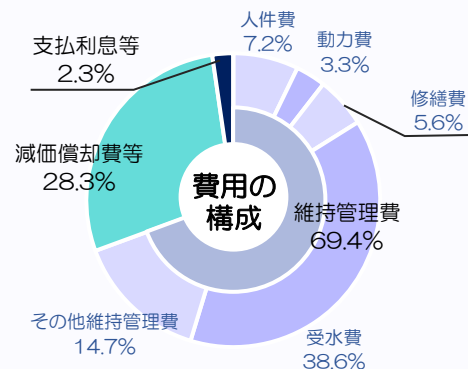
| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 409 | 1,022 | 613 |
| 企業債 | — | 342 | 342 |
| 国庫補助金等 | 187 | 259 | 72 |
| その他収入 | 221 | 421 | 199 |
| 支 出 | 1,197 | 1,580 | 383 |
| 建設改良費 | 965 | 1,357 | 392 |
| 企業債償還金 | 232 | 223 | △ 8 |
| その他支出 | 1 | — | △ 1 |
| 収支の差額 | △ 788 | △ 558 | 230 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん

収益は、料金の徴収周期の標準化(毎月徴収から隔月徴収へ変更)に伴い、給水収益の一部が2025年度に計上されることなどから、前年度と比べると82百万円減少しました。

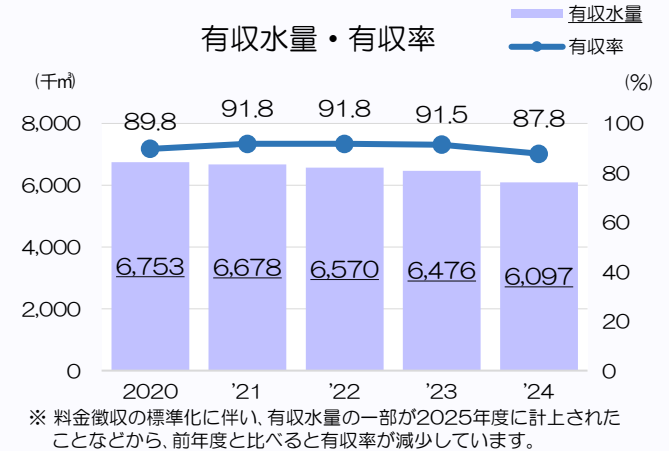
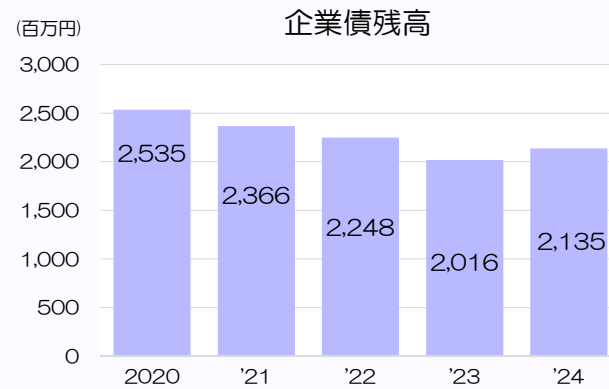
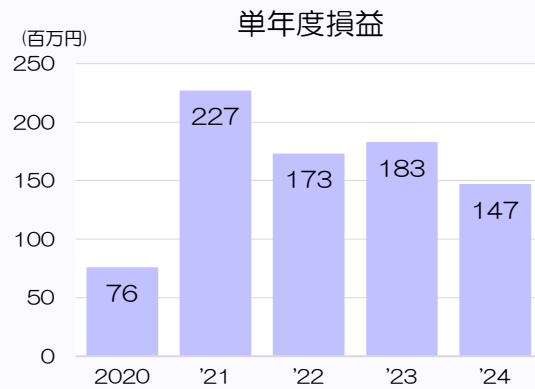
費用は、修繕費や受水費の減少により維持管理費が減少したことや、減価償却費等が減少したことなどにより、前年度と比べると47百万円減少しました。

これらの結果、単年度利益は前年度に比べ35百万円減少し、147百万円となりました。



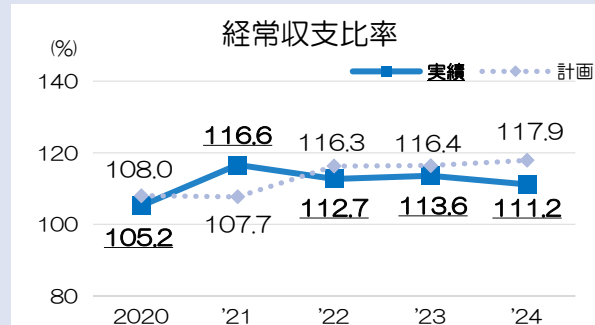
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



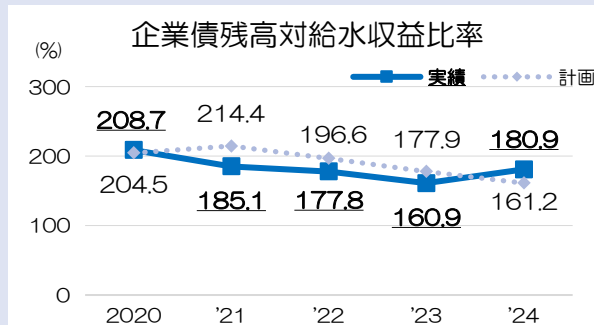
| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | △ | ○ | △ | △ | × |

〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

計画と比べ、修繕費等の維持管理費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、2.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | △ | ○ | ○ | ○ | × |

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

計画と比べ、企業債残高が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、20.0ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | △ | ○ | △ | △ | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

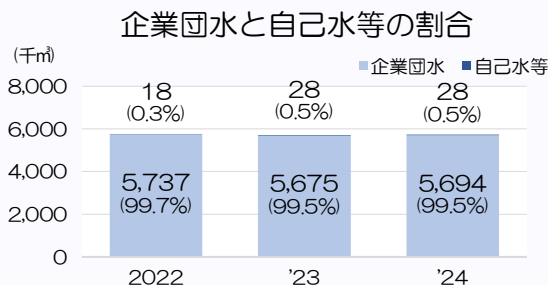
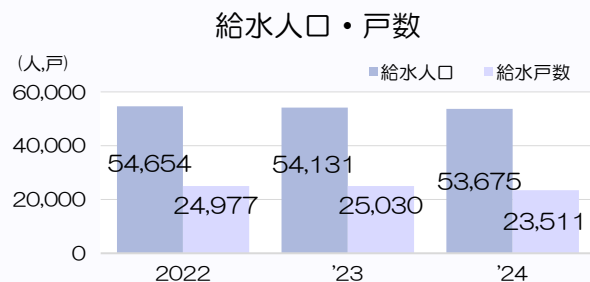
〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

計画と比べ、修繕費等の維持管理費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、2.7ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】

■ 四條畷水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は53,675人で、前年度と比べて456人(0.8%)減少しています。

また、給水戸数は23,511戸で、1,519戸(6.1%)減少しています。

給水量は5,722千m³で、前年度と比べて19千m³(0.3%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税込)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 収 益 | 1,138 | 1,128 | △ 10 |
| 給水収益 | 944 | 922 | △ 22 |
| 長期前受金戻入 | 114 | 112 | △ 2 |
| その他収入 | 79 | 93 | 14 |
| 特別利益 | 0 | 1 | 0 |
| 費 用 | 1,036 | 1,080 | 44 |
| 維持管理費 | 726 | 760 | 34 |
| 減価償却費等 | 282 | 295 | 12 |
| 支払利息 | 27 | 25 | △ 2 |
| 特別損失 | 0 | 0 | △ 0 |
| 単年度損益 | 102 | 48 | △ 54 |

(単位：百万円、税込)

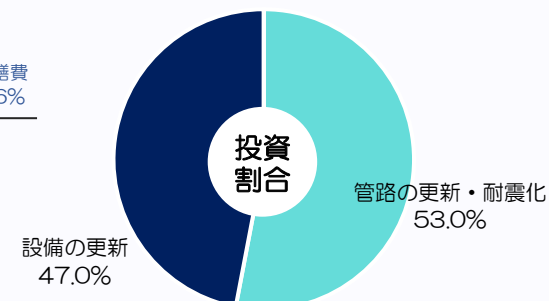
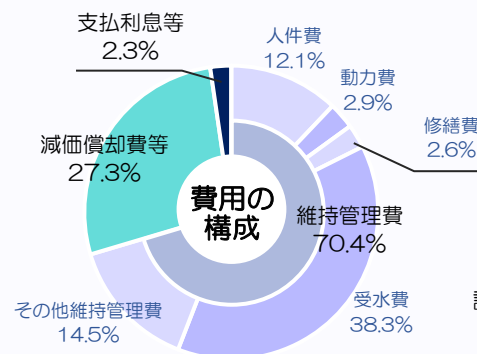
| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 収 入 | 332 | 387 | 55 |
| 企業債 | 155 | 190 | 35 |
| 国庫補助金等 | 131 | 130 | △ 1 |
| その他収入 | 45 | 67 | 22 |
| 支 出 | 736 | 674 | △ 62 |
| 建設改良費 | 541 | 486 | △ 55 |
| 企業債償還金 | 191 | 188 | △ 3 |
| その他支出 | 4 | — | △ 4 |
| 収支の差額 | △ 404 | △ 287 | 117 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



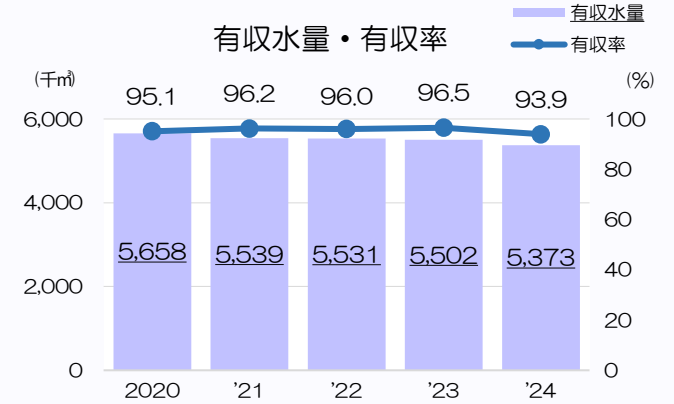
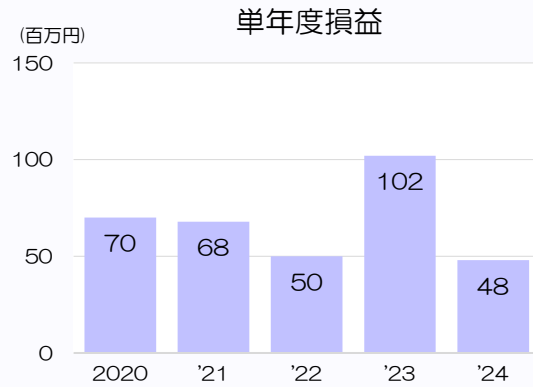
収益は、その他収入が増加したものの、有収水量の減少により給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると10百万円減少しました。

費用は、修繕費や委託料などの維持管理費や減価償却費が増加したことなどにより、前年度と比べると44百万円増加しました。これらの結果、単年度利益は前年度に比べ54百万円減少し、48百万円となりました。



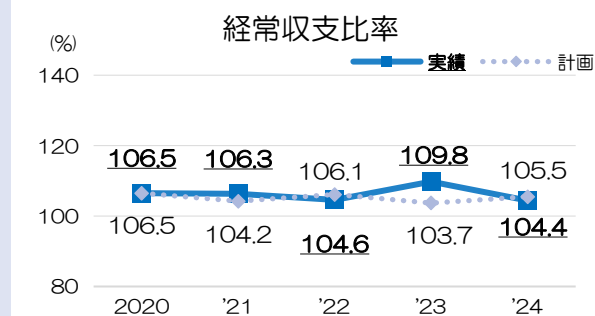
※ 投資割合は建設改良費の内訳の事です。

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



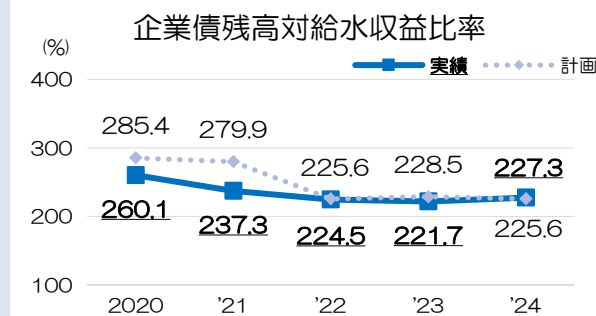
| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | △ | ○ | △ |

〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、5.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】



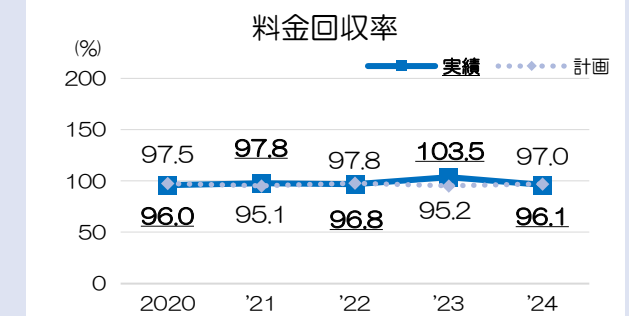
| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少したことから、5.6ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | △ | ○ | △ | ○ | △ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

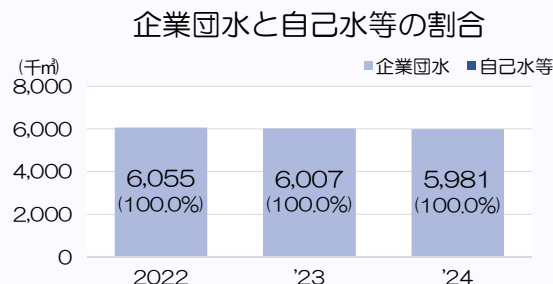
〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、7.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】

大阪狭山水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は57,548人で、前年度と比べて293人(0.5%)減少しています。

また、給水戸数は27,583戸で152戸(0.6%)増加しています。

給水量は5,981千m³で、前年度と比べて26千m³(0.4%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

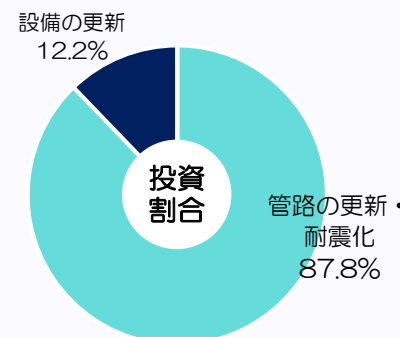
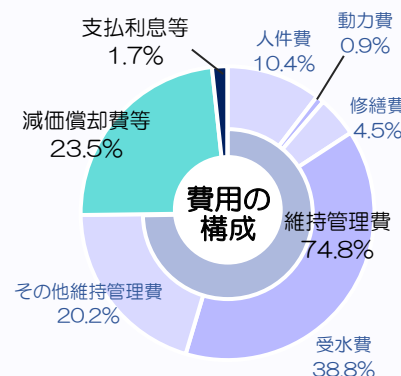
(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 収 益 | 1,157 | 1,175 | 18 |
| 給水収益 | 959 | 959 | △ 0 |
| 長期前受金戻入 | 113 | 123 | 10 |
| その他収入 | 84 | 93 | 9 |
| 特別利益 | 1 | 0 | △ 1 |
| 費 用 | 1,057 | 1,110 | 53 |
| 維持管理費 | 796 | 830 | 34 |
| 減価償却費等 | 241 | 261 | 20 |
| 支払利息 | 21 | 19 | △ 2 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 |
| 単年度損益 | 100 | 65 | △ 34 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| 収 入 | 126 | 151 | 25 |
| 企業債 | — | — | — |
| 国庫補助金等 | 81 | 105 | 24 |
| その他収入 | 46 | 46 | 0 |
| 支 出 | 519 | 550 | 31 |
| 建設改良費 | 434 | 464 | 30 |
| 企業債償還金 | 85 | 86 | 1 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 393 | △ 399 | △ 6 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで、

収益は、長期前受金戻入の増加やその他収入の増加などにより、前年度と比べると18百万円増加しました。

費用は、修繕費等の維持管理費や減価償却費等が増加したことで、前年度と比べ53百万円増加しました。

これらの結果、単年度利益は前年度に比べ34百万円減少し、65百万円となりました。



財政収支の推移

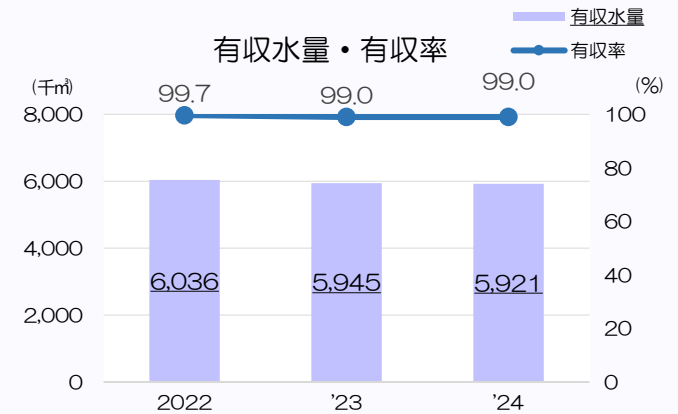
単年度損益



企業債残高



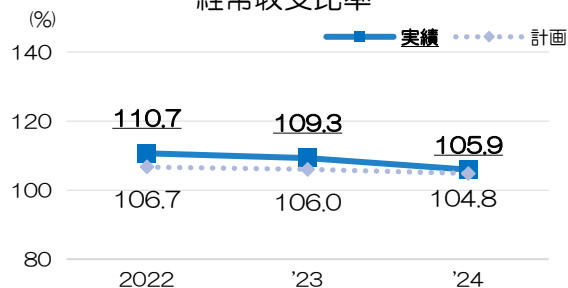
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | ○ | ○ | ○ |

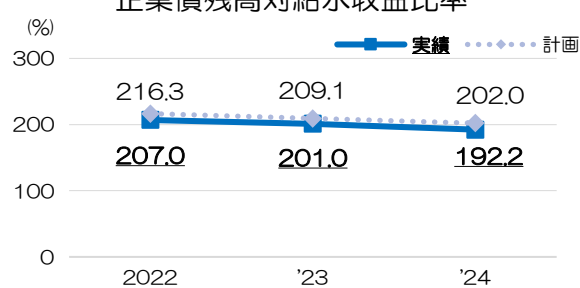
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べると、維持管理費が増加したことから、3.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | ○ | ○ | ○ |

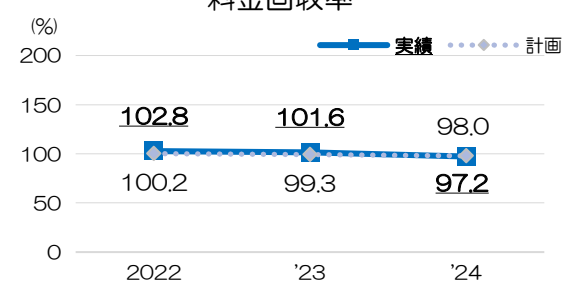
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、企業債残高が減少したことから、8.8ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | ○ | ○ | △ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

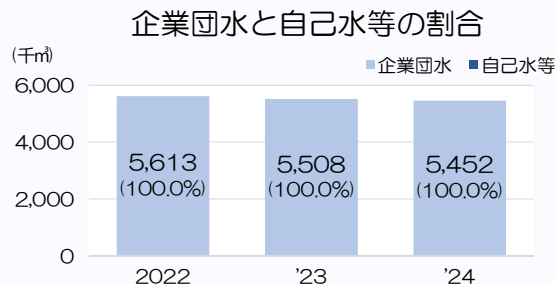
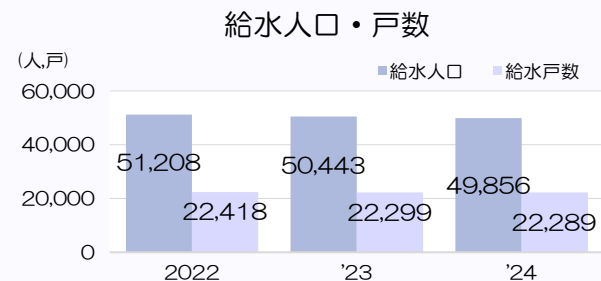
2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べると、維持管理費が増加したことから、4.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】

※ 大阪狭山水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。

■ 阪南水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は49,856人で、前年度と比べて587人(1.2%)減少しています。
また、給水戸数は22,289戸で10戸(0.04%)減少しています。
給水量は5,452千m³で、前年度と比べて56千m³(1.0%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

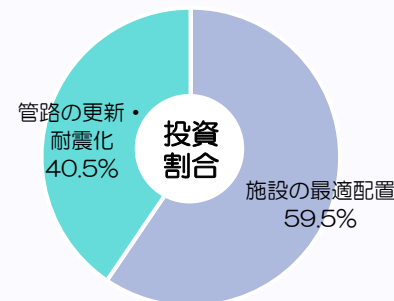
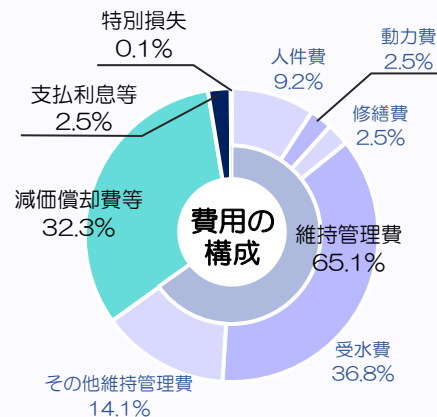
(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 1,064 | 1,058 | △ 7 |
| 給水収益 | 927 | 907 | △ 19 |
| 長期前受金戻入 | 103 | 108 | 5 |
| その他収入 | 34 | 42 | 8 |
| 特別利益 | 1 | 0 | △ 0 |
| 費 用 | 1,050 | 1,067 | 17 |
| 維持管理費 | 685 | 696 | 11 |
| 減価償却費等 | 337 | 344 | 7 |
| 支払利息 | 27 | 27 | △ 1 |
| 特別損失 | 1 | 1 | △ 0 |
| 単年度損益 | 14 | △ 9 | △ 24 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 345 | 372 | 27 |
| 企業債 | 165 | 245 | 80 |
| 国庫補助金等 | 147 | 124 | △ 23 |
| その他収入 | 33 | 4 | △ 29 |
| 支 出 | 752 | 687 | △ 66 |
| 建設改良費 | 589 | 524 | △ 65 |
| 企業債償還金 | 164 | 163 | △ 0 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 407 | △ 315 | 93 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



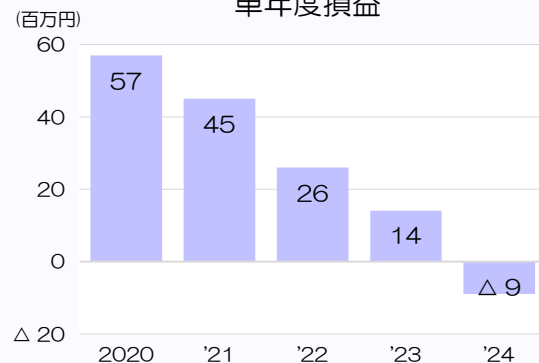
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで。



収益は、有収水量の減少により給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると7百万円減少しました。
費用は、修繕費や動力費などの維持管理費の増加や減価償却費等が増加したことにより、前年度と比べると17百万円増加しました。
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ24百万円減少し、9百万円の単年度損失となりました。

財政収支の推移

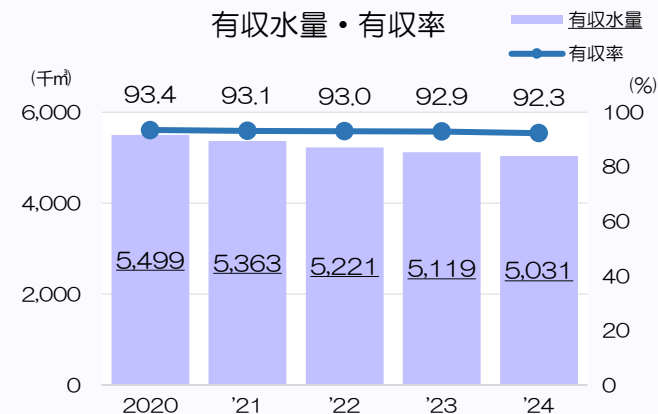
単年度損益



企業債残高



有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | △ | △ |

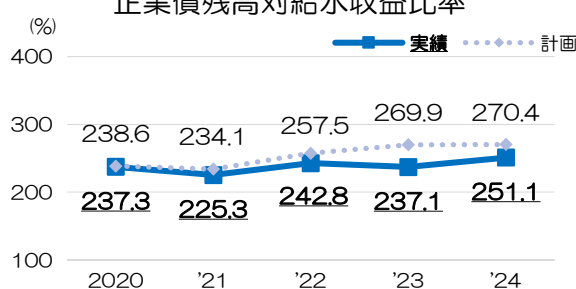
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べると、給水収益が減少し、維持管理費が増加したことから、2.3ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値107.5%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

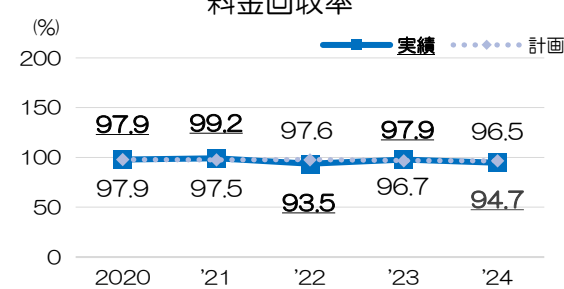
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少し、企業債残高が増加したことから、14.0ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値381.6%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | △ | ○ | △ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

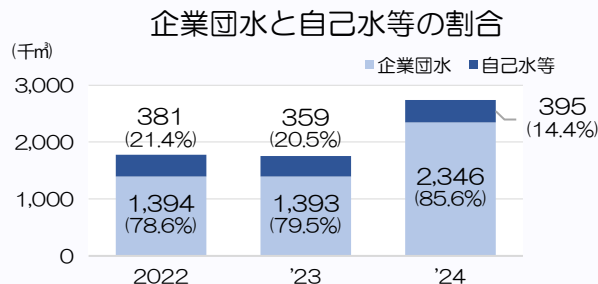
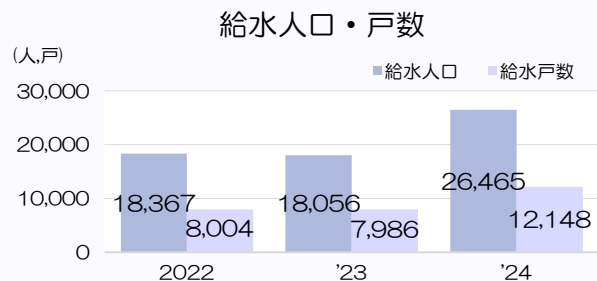
2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少し、維持管理費が増加したことから、3.2ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値95.0%】

豊能地域水道事業

豊能地域水道事業は、大阪広域水道企業団豊能水道事業と能勢町水道事業が会計統合し、2024年4月1日から事業を開始しました。そのため、各グラフ等の前年度以前の値は豊能水道事業の値となっています。

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は26,465人で、前年度と比べて8,409人(46.6%)増加しています。

また、給水戸数は12,148戸で4,162戸(52.1%)増加しています。

給水量は2,741千m³で、前年度と比べて989千m³(56.4%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|--------------|-------------|
| 収 益 | 743 | 1,082 | 339 |
| 給水収益 | 474 | 698 | 224 |
| 長期前受金戻入 | 130 | 199 | 69 |
| その他収入 | 60 | 185 | 125 |
| 特別利益 | 79 | 0 | △ 79 |
| 費 用 | 645 | 1,046 | 401 |
| 維持管理費 | 328 | 511 | 183 |
| 減価償却費等 | 296 | 481 | 185 |
| 支払利息 | 20 | 53 | 33 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 |
| 単年度損益 | 98 | 36 | △ 62 |

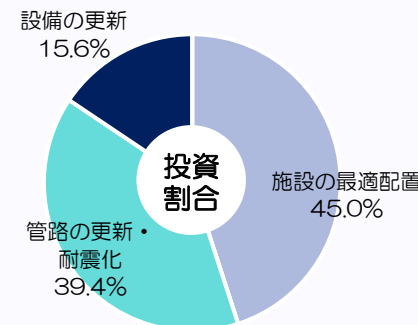
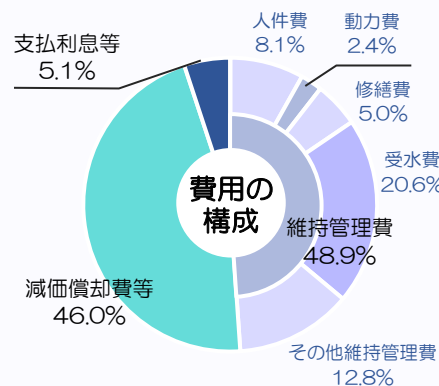
(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 収 入 | 75 | 478 | 403 |
| 企業債 | — | 22 | 22 |
| 国庫補助金等 | 21 | 134 | 113 |
| その他収入 | 54 | 322 | 268 |
| 支 出 | 267 | 875 | 608 |
| 建設改良費 | 87 | 549 | 462 |
| 企業債償還金 | 180 | 326 | 146 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 191 | △ 397 | △ 205 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん

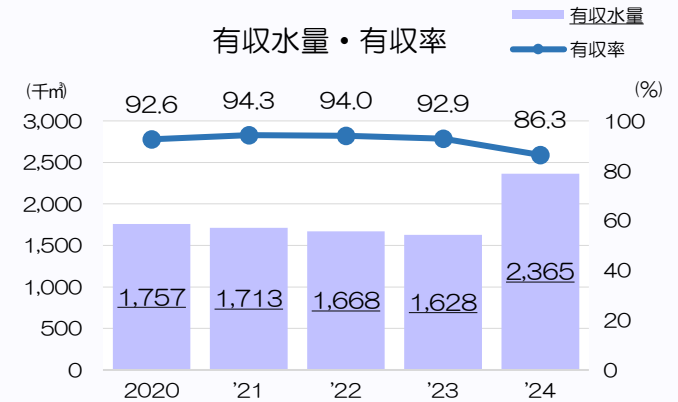
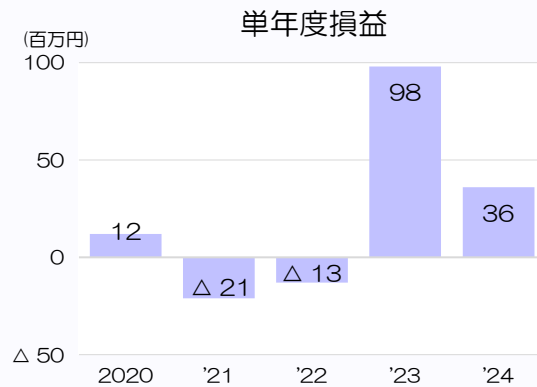


各科目の増加は、能勢町水道事業が統合したことによるものです。収益のうち、特別利益の減少は、豊能水道事業で計上していた過年度損益修正益が皆減となったことによるもので、単年度利益は前年度に比べ62百万円減少し、36百万円となりました。



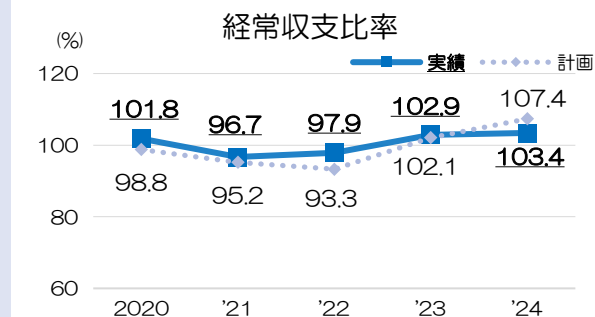
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで、

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



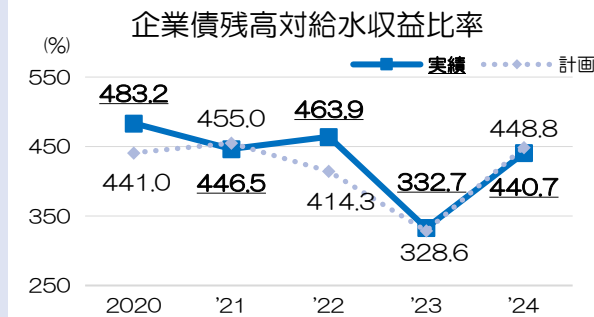
| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、概ね計画を達成しました。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】



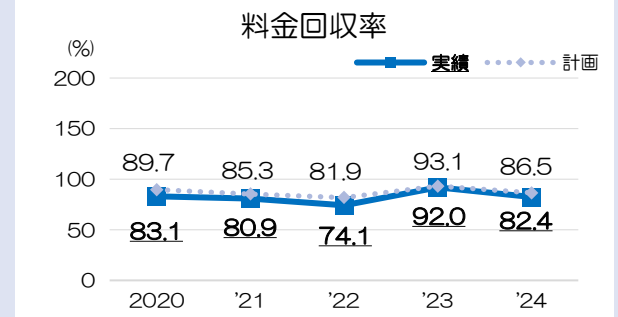
| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | ○ | × | △ | ○ |

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。

【参考:2023年度類似団体平均値400.2%】



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | × | △ | △ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

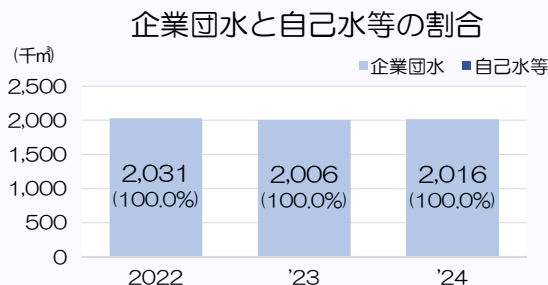
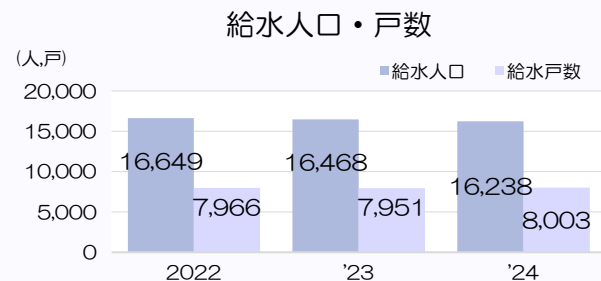
〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。

【参考:2023年度類似団体平均値92.8%】

忠岡水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は16,238人で、前年度と比べて230人(1.4%)減少しています。

また、給水戸数は8,003戸で52戸(0.7%)増加しています。

給水量は2,016千m³で、前年度と比べて10千m³(0.5%)増加しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

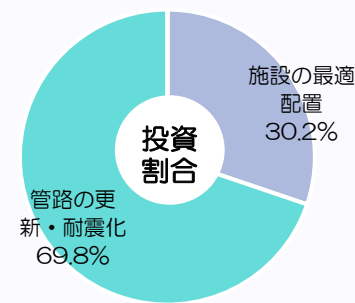
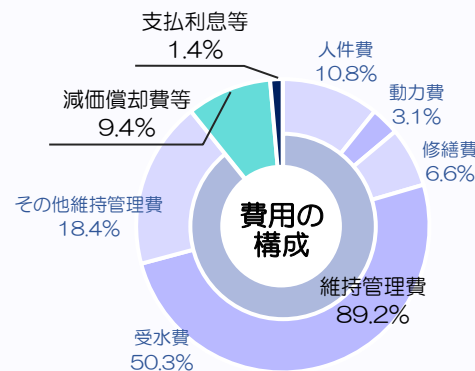
(単位：百万円、税込)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|------------|-------------|
| 収 益 | 301 | 281 | △ 19 |
| 給水収益 | 279 | 257 | △ 22 |
| 長期前受金戻入 | 4 | 4 | 0 |
| その他収入 | 17 | 20 | 2 |
| 特別利益 | — | 0 | 0 |
| 費 用 | 290 | 288 | △ 2 |
| 維持管理費 | 260 | 257 | △ 3 |
| 減価償却費等 | 26 | 27 | 1 |
| 支払利息 | 5 | 4 | △ 0 |
| 特別損失 | 0 | — | △ 0 |
| 単年度損益 | 10 | △ 7 | △ 17 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|-------------|-------------|-----------|
| 収 入 | 29 | 92 | 63 |
| 企業債 | 12 | 64 | 52 |
| 国庫補助金等 | 17 | 27 | 11 |
| その他収入 | — | — | — |
| 支 出 | 103 | 160 | 57 |
| 建設改良費 | 81 | 135 | 54 |
| 企業債償還金 | 22 | 25 | 3 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 75 | △ 69 | 6 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで、

収益は、料金徴収の標準化に伴う毎月徴収から隔月徴収への変更により、給水収益の一部が2025年度に計上されたことから、前年度と比べると19百万円減少しました。

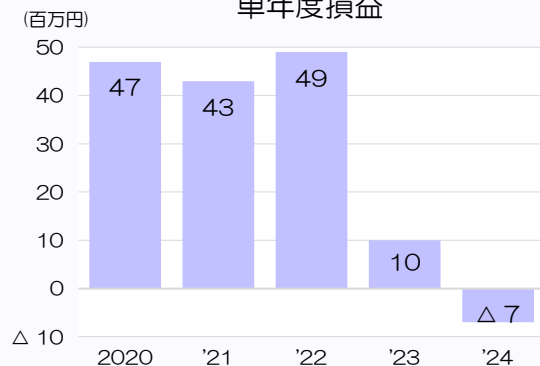
費用は、減価償却費等が増加したものの、修繕費などの維持管理費が減少したことにより、前年度と比べると2百万円減少しました。

これらの結果、単年度損益は前年度に比べ17百万円減少し、7百万円の単年度損失となりました。



財政収支の推移

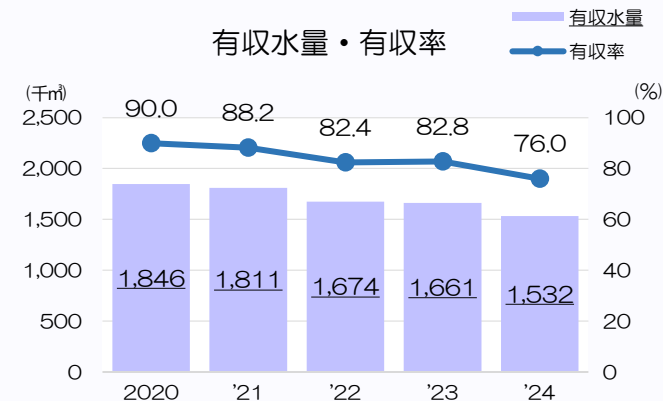
単年度損益



企業債残高



有収水量・有収率

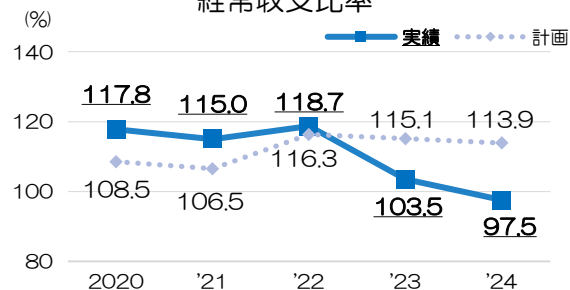


※ 料金徴収の標準化に伴い、有収水量の一部が2025年度に計上されたことなどから、前年度と比べると有収率が減少しています。

主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | × | × |

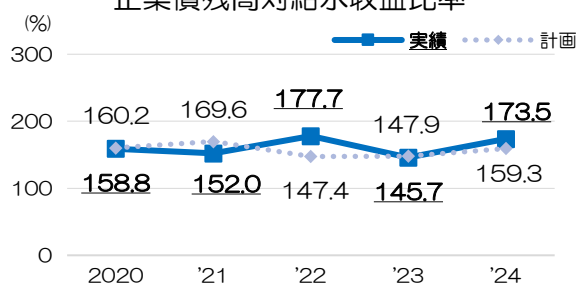
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

計画と比べ、給水収益が減少したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、6.0ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | ○ | × |

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

計画と比べ、給水収益が減少したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、27.8ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値400.2%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | × | × | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

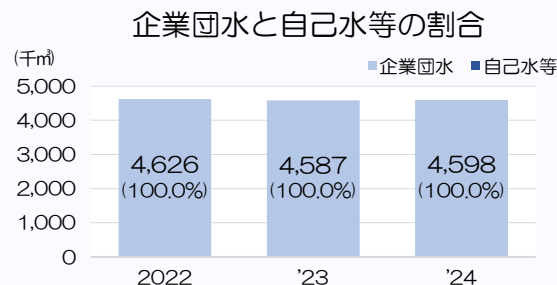
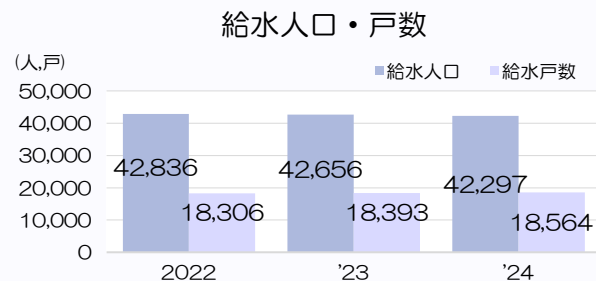
〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

計画と比べ、給水収益が減少したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、6.9ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値92.8%】

熊取水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は42,297人で、前年度と比べて359人(0.8%)減少しています。

また、給水戸数は18,564戸で171戸(0.9%)増加しています。

年間給水量は4,598千m³で、前年度と比べて11千m³(0.2%)増加しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|------------|-------------|
| 収 益 | 963 | 945 | △ 19 |
| 給水収益 | 744 | 738 | △ 6 |
| 長期前受金戻入 | 174 | 169 | △ 5 |
| その他収入 | 31 | 38 | 7 |
| 特別利益 | 15 | 0 | △ 15 |
| 費 用 | 959 | 921 | △ 38 |
| 維持管理費 | 550 | 567 | 17 |
| 減価償却費等 | 378 | 334 | △ 44 |
| 支払利息 | 14 | 19 | 5 |
| 特別損失 | 16 | 0 | △ 15 |
| 単年度損益 | 5 | 24 | 19 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 収 入 | 1,004 | 529 | △ 476 |
| 企業債 | 532 | 317 | △ 215 |
| 国庫補助金等 | 229 | 124 | △ 105 |
| その他収入 | 243 | 88 | △ 155 |
| 支 出 | 1,379 | 711 | △ 668 |
| 建設改良費 | 1,252 | 580 | △ 672 |
| 企業債償還金 | 127 | 132 | 4 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 375 | △ 183 | 192 |

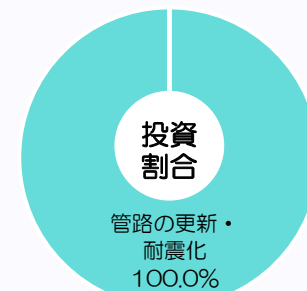
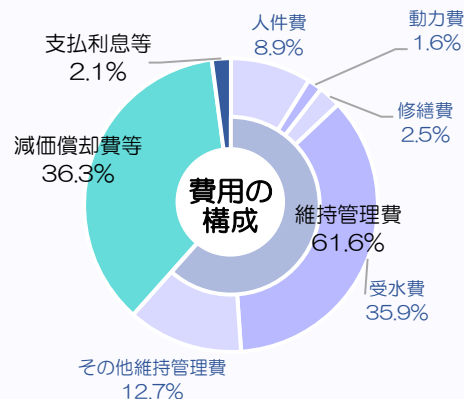
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、有収水量の減少により給水収益が減少したことや、長期前受金戻入が減少したことなどにより、前年度と比べると19百万円減少しました。

費用は、維持管理費が増加した一方、固定資産除却費が減少したことなどにより、前年度と比べると38百万円減少しました。

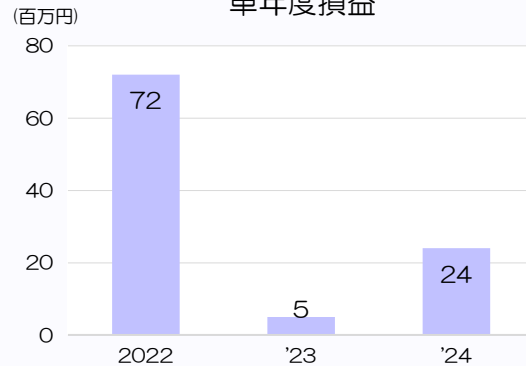
これらの結果、単年度利益は前年度に比べ19百万円増加し、24百万円となりました。



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで、

財政収支の推移

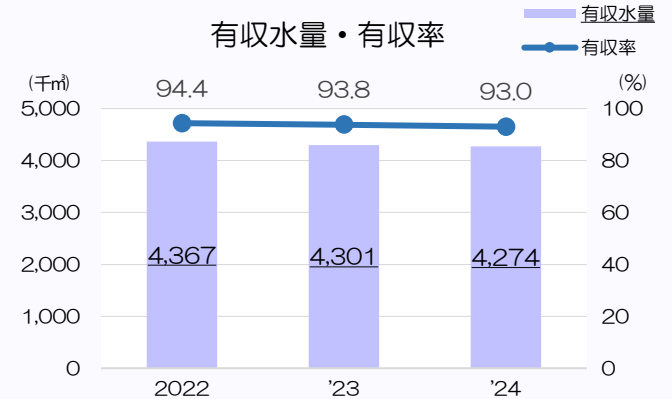
単年度損益



企業債残高



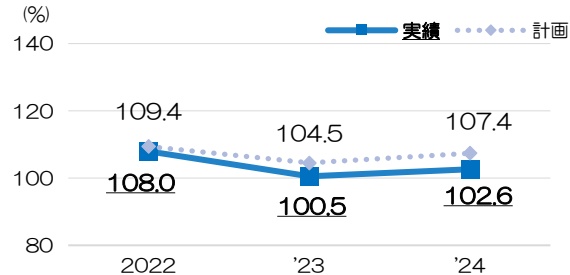
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | △ | △ | △ |

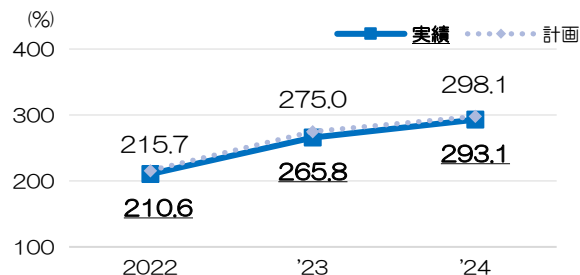
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。また、前年度と比べると、減価償却費等が減少したことから、2.1ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値107.5%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | ○ | ○ | ○ |

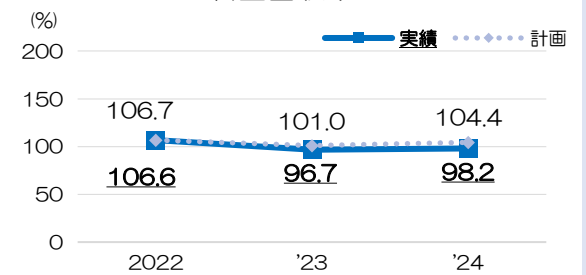
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べると、企業債残高が増加したことから、27.3ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値381.6%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | △ | △ | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

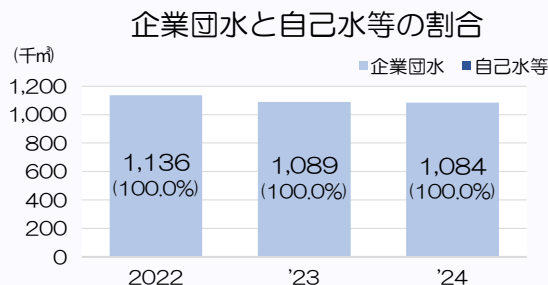
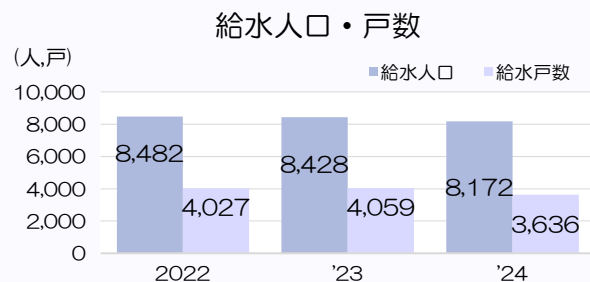
計画と比べ、維持管理費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。なお、前年度と比べると、減価償却費等が減少したことから、1.5ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値95.0%】

※ 熊取水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。

■ 田尻水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は8,172人で、前年度と比べて256人(3.0%)減少しています。

また、給水戸数は3,636戸で423戸(10.4%)減少しています。

給水量は1,084千m³で、前年度と比べて5千m³(0.5%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|------------|------------|
| 収 益 | 241 | 245 | 4 |
| 給水収益 | 185 | 192 | 7 |
| 長期前受金戻入 | 46 | 46 | △ 0 |
| その他収入 | 11 | 7 | △ 3 |
| 特別利益 | — | 0 | 0 |
| 費 用 | 212 | 224 | 12 |
| 維持管理費 | 153 | 165 | 12 |
| 減価償却費等 | 57 | 57 | △ 0 |
| 支払利息 | 2 | 2 | 0 |
| 特別損失 | — | — | — |
| 単年度損益 | 29 | 22 | △ 8 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 収 入 | 134 | 197 | 63 |
| 企業債 | 25 | 120 | 95 |
| 国庫補助金等 | 109 | 77 | △ 32 |
| その他収入 | — | — | — |
| 支 出 | 392 | 267 | △ 124 |
| 建設改良費 | 383 | 259 | △ 124 |
| 企業債償還金 | 8 | 8 | △ 0 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 258 | △ 70 | 187 |

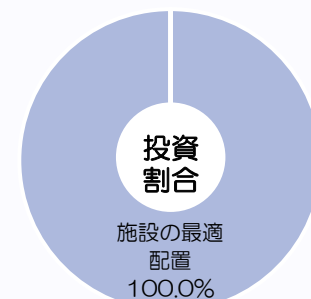
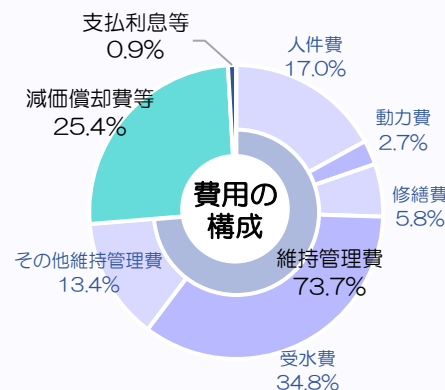
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、ホテルの水需要増加により給水収益が増加したことなどにより、前年度と比べると4百万円増加しました。

費用は、修繕費や統合水道料金システム導入に伴うデータ移行費用等の増加により維持管理費が増加したため、前年度と比べると12百万円増加しました。

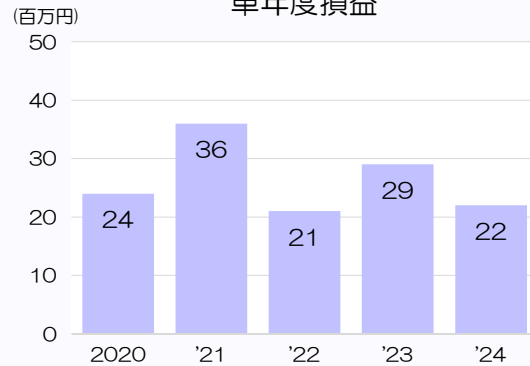
これらの結果、単年度利益は前年度に比べ8百万円減少し、22百万円となりました。



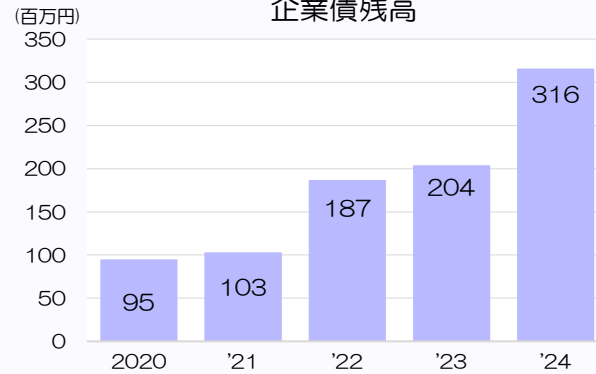
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

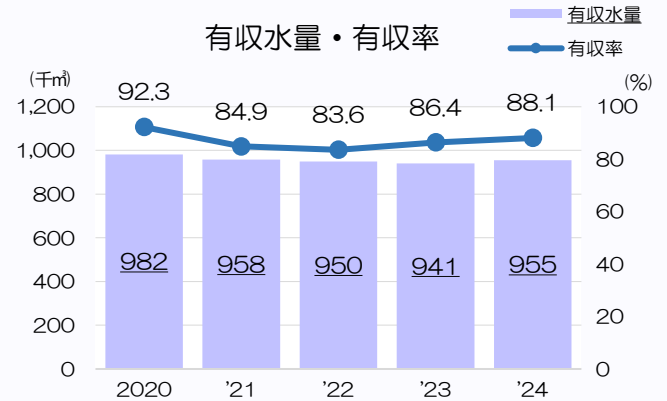
単年度損益



企業債残高



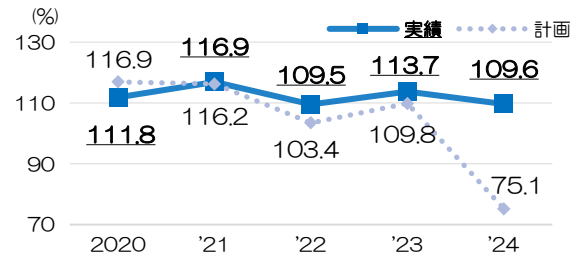
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |

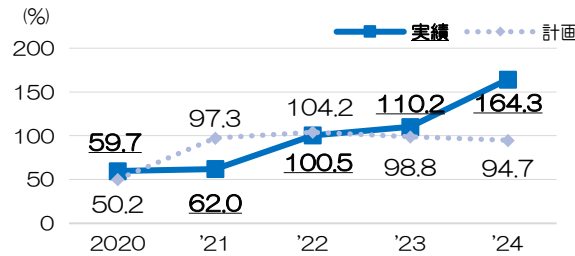
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。計画上予定していた施設の除却時期の見直しに伴い、減価償却費等が減少したことにより、計画と実績との乖離が大きくなっています。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、4.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値106.5%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | ○ | ○ | × | × |

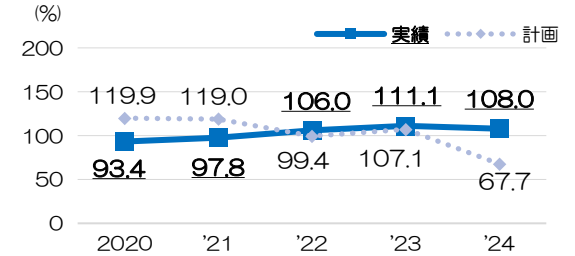
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

計画と比べ、企業債残高が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、企業債残高が増加したことから、54.1ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値515.1%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | ○ | ○ | ○ |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

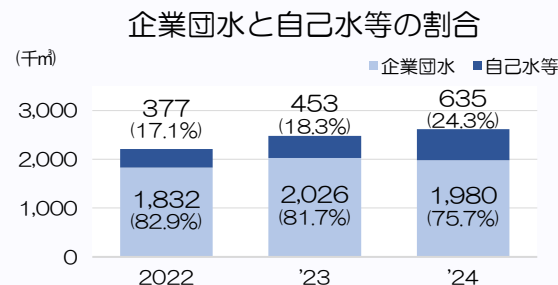
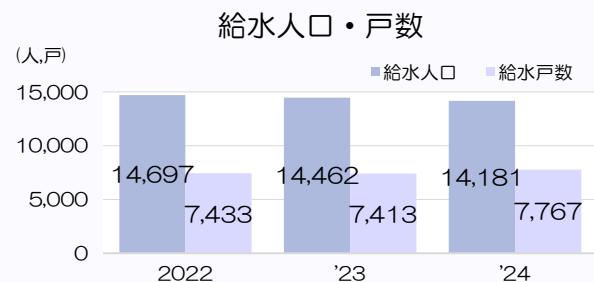
給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2024年度の実績は、計画を達成しました。計画上予定していた施設の除却時期の見直しに伴い、減価償却費等が減少したことにより、計画と実績との乖離が大きくなっています。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、3.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値84.2%】

■ 岬水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は14,181人で、前年度と比べて281人(1.9%)減少しています。

また、給水戸数は7,767戸で354戸(4.8%)増加しています。

給水量は2,615千m³で、前年度と比べて136千m³(5.5%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 434 | 445 | 11 |
| 給水収益 | 384 | 378 | △ 6 |
| 長期前受金戻入 | 37 | 53 | 16 |
| その他収入 | 14 | 14 | 0 |
| 特別利益 | — | 0 | 0 |
| 費 用 | 472 | 496 | 24 |
| 維持管理費 | 344 | 331 | △ 13 |
| 減価償却費等 | 118 | 120 | 3 |
| 支払利息 | 10 | 9 | △ 1 |
| 特別損失 | 0 | 36 | 36 |
| 単年度損益 | △ 38 | △ 51 | △ 14 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 268 | 160 | △ 108 |
| 企業債 | 109 | 104 | △ 5 |
| 国庫補助金等 | 19 | 51 | 32 |
| その他収入 | 140 | 5 | △ 135 |
| 支 出 | 267 | 276 | 9 |
| 建設改良費 | 152 | 183 | 31 |
| 企業債償還金 | 95 | 71 | △ 24 |
| その他支出 | 20 | 22 | 2 |
| 収支の差額 | 1 | △ 116 | △ 117 |

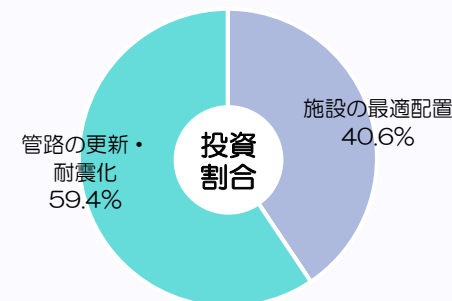
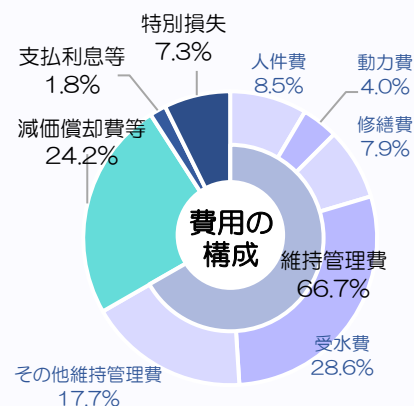
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、給水収益が減少した一方、長期前受金戻入が増加(特別損失で計上した資産台帳の修正に伴うもの)したことなどにより、前年度と比べると11百万円増加しました。

費用は、修繕費や受水費の減少により維持管理費が減少する一方、資産台帳の修正に伴う特別損失の計上により、前年度と比べると24百万円増加しました。

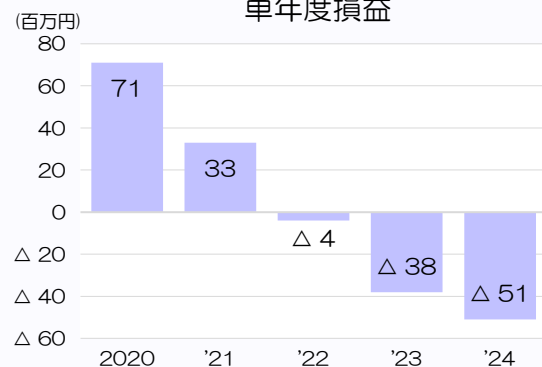
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ14百万円増加し、51百万円となりました。



※ 投資割合は建設改良費の内訳の事です。

財政収支の推移

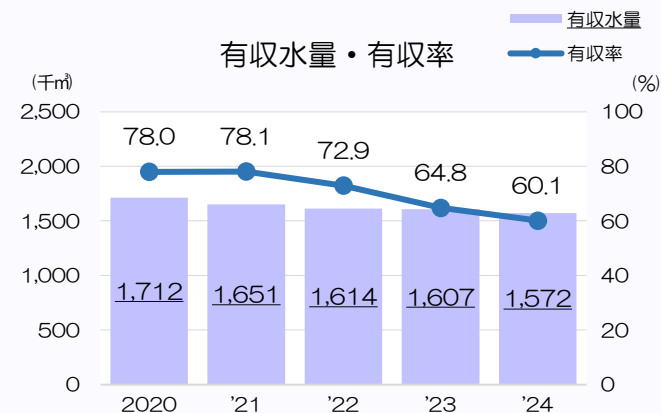
単年度損益



企業債残高



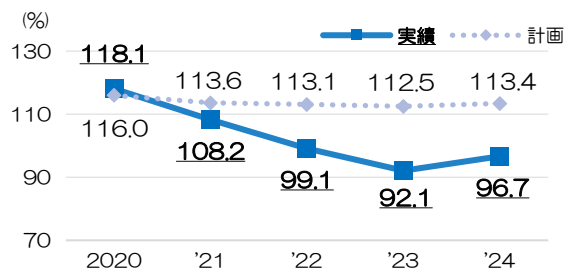
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | × | × | × | × |

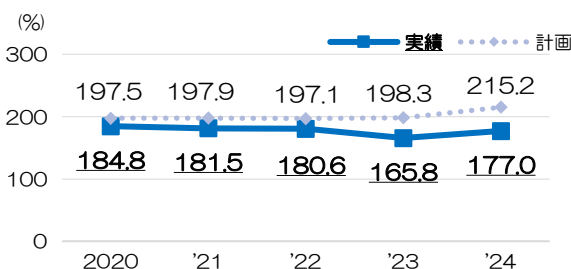
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

計画と比べ、給水収益は増加したものの、修繕費や受水費などの維持管理費の増加が上回ったことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。なお、前年度と比べると長期前受金戻入が増加したことから、4.6ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

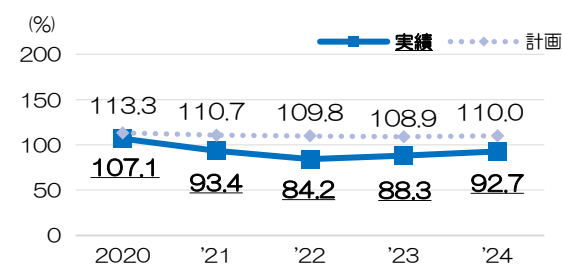
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、企業債残高が増加したことから、11.2ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値430.2%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | × | × | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

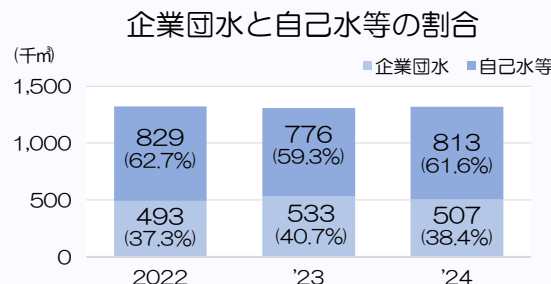
給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

計画と比べ、給水収益は増加したものの、修繕費や受水費などの維持管理費の増加が上回ったことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。なお、前年度と比べると、長期前受金戻入が増加したことから、4.4ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値90.7%】

■ 太子水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は12,634人で、前年度と比べて126人(1.0%)減少しています。

また、給水戸数は5,382戸で18戸(0.3%)増加しています。

給水量は1,320千m³で、前年度と比べて11千m³(0.8%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 250 | 264 | 14 |
| 給水収益 | 210 | 208 | △ 2 |
| 長期前受金戻入 | 24 | 24 | 0 |
| その他収入 | 17 | 28 | 12 |
| 特別利益 | — | 3 | 3 |
| 費 用 | 248 | 278 | 30 |
| 維持管理費 | 143 | 156 | 13 |
| 減価償却費等 | 102 | 120 | 18 |
| 支払利息 | 3 | 2 | △ 0 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 |
| 単年度損益 | 3 | △ 14 | △ 17 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 21 | 60 | 39 |
| 企業債 | — | — | — |
| 国庫補助金等 | 20 | 57 | 37 |
| その他収入 | 1 | 3 | 2 |
| 支 出 | 110 | 247 | 137 |
| 建設改良費 | 90 | 227 | 137 |
| 企業債償還金 | 20 | 20 | △ 0 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 89 | △ 187 | △ 98 |

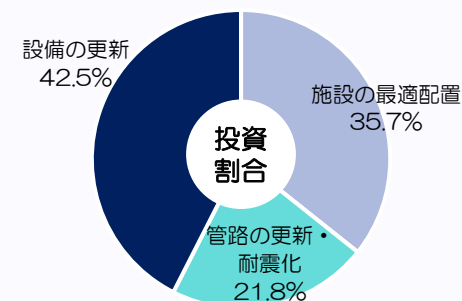
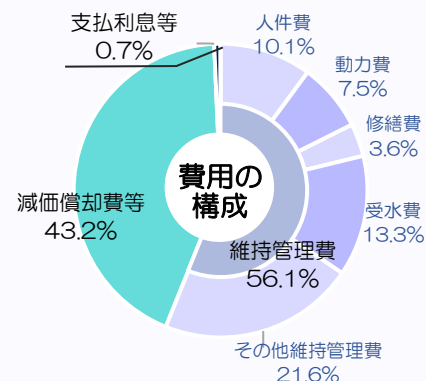
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、有収水量の減少に伴い給水収益が減少した一方、その他収入が増加したことにより、前年度と比べると14百万円増加しました。

費用は、統合水道料金システムの導入に伴うデータ移行に係る負担金や動力費等の増加により維持管理費が増加したことや、固定資産除却費が増加したことにより、前年度と比べると30百万円増加しました。

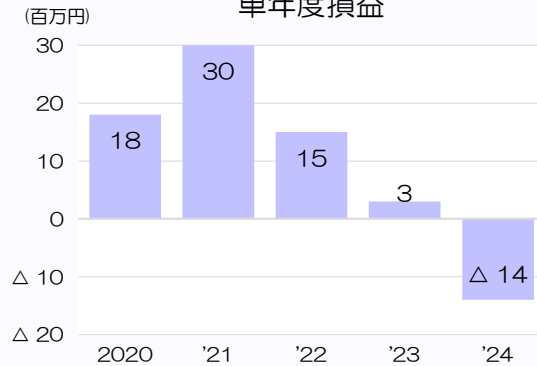
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ17百万円減少し、14百万円の単年度損失となりました。



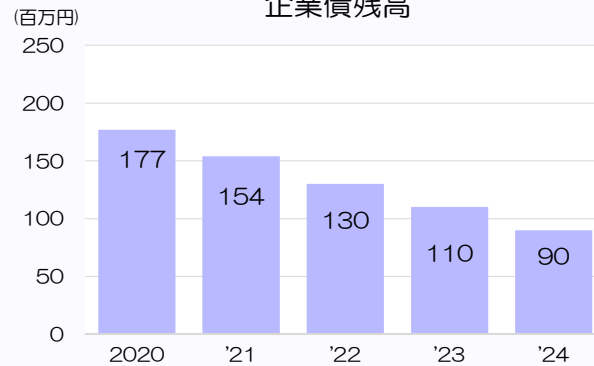
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで、

財政収支の推移

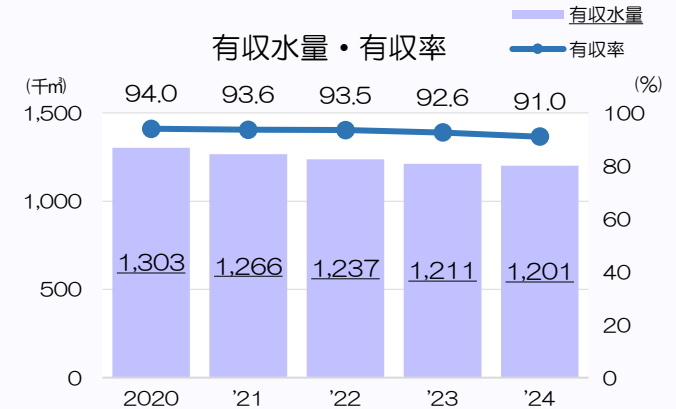
単年度損益



企業債残高



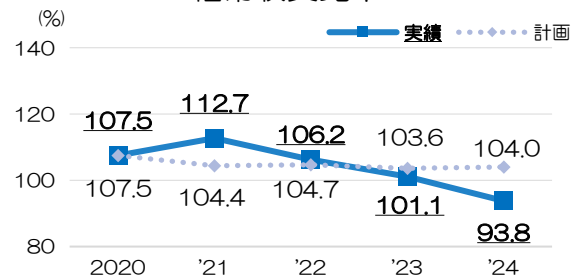
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | △ | × |

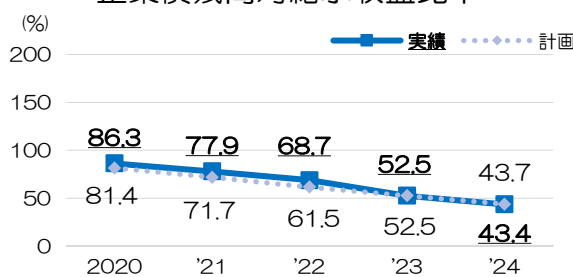
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

計画と比べ、維持管理費や固定資産除却費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べ7.3ポイント減少していますが、固定資産除却費の増加は一時的なものであり、2025年度は改善する見込みです。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | × | ○ | ○ |

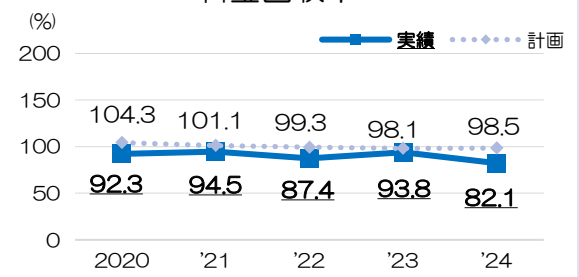
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、企業債残高が減少したことから、9.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値430.2%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | × | × | △ | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

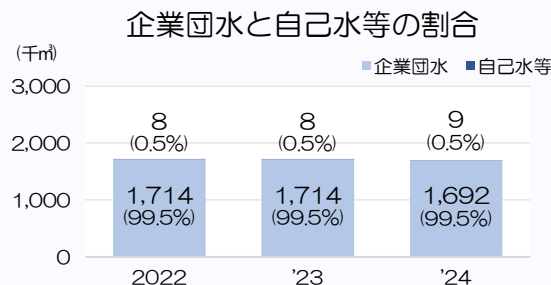
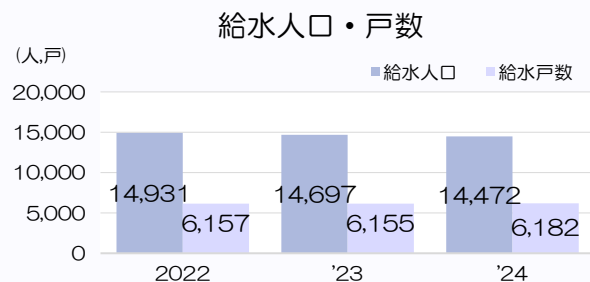
〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

計画と比べ、維持管理費や固定資産除却費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べ11.7ポイント減少していますが、固定資産除却費の増加は一時的なものであり、2025年度は改善する見込みです。

【参考:2023年度類似団体平均値90.7%】

■ 河南水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は14,472人で、前年度と比べて225人(1.5%)減少しています。

また、給水戸数は6,182戸で27戸(0.4%)増加しています。

給水量は1,701千m³で、前年度と比べて21千m³(1.2%)減少しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|------------|-------------|
| 収 益 | 405 | 406 | 1 |
| 給水収益 | 307 | 304 | △ 3 |
| 長期前受金戻入 | 59 | 59 | △ 0 |
| その他収入 | 40 | 43 | 3 |
| 特別利益 | — | 0 | 0 |
| 費 用 | 378 | 391 | 13 |
| 維持管理費 | 231 | 246 | 14 |
| 減価償却費等 | 140 | 139 | △ 1 |
| 支払利息 | 7 | 6 | △ 1 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 |
| 単年度損益 | 27 | 15 | △ 12 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 収 入 | 52 | 69 | 18 |
| 企業債 | — | — | — |
| 国庫補助金等 | 26 | 41 | 16 |
| その他収入 | 26 | 28 | 2 |
| 支 出 | 193 | 284 | 91 |
| 建設改良費 | 166 | 256 | 90 |
| 企業債償還金 | 27 | 27 | 0 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 141 | △ 214 | △ 73 |

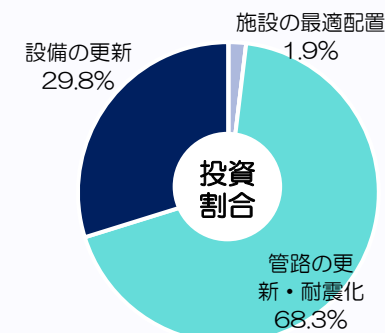
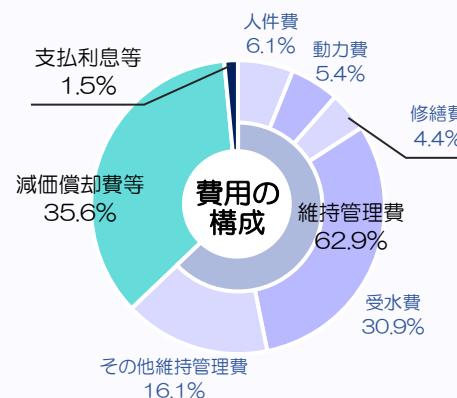
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、有収水量の減少に伴い給水収益が減少したものの、その他収入が増加したことにより、前年度並となりました。

費用は、修繕費や動力費の増加により維持管理費が増加したことなどにより、前年度と比べると13百万円増加しました。

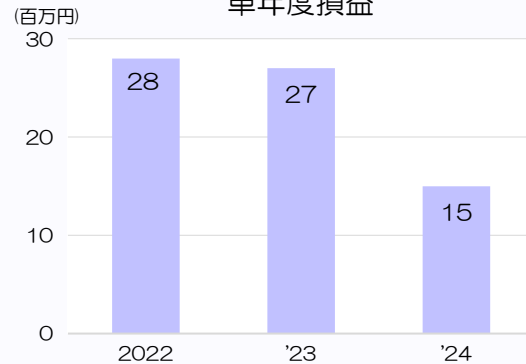
これらの結果、単年度利益は前年度から12百万円減少し、15百万円となりました。



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

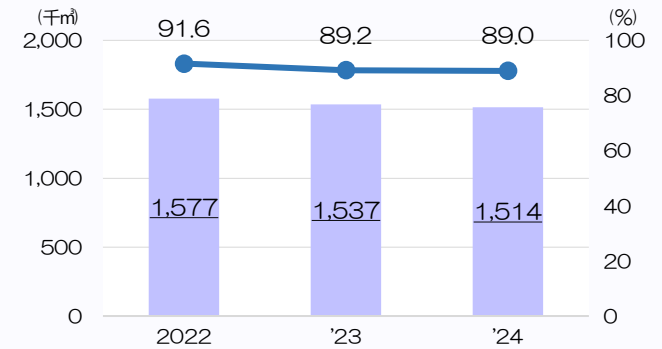
単年度損益



企業債残高



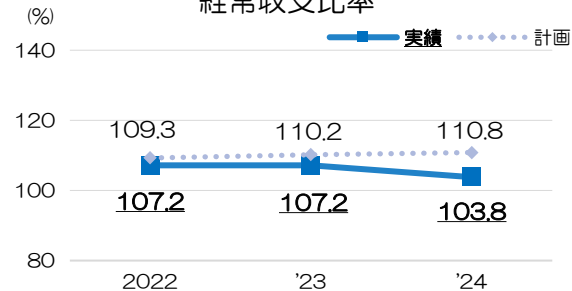
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | △ | △ | × |

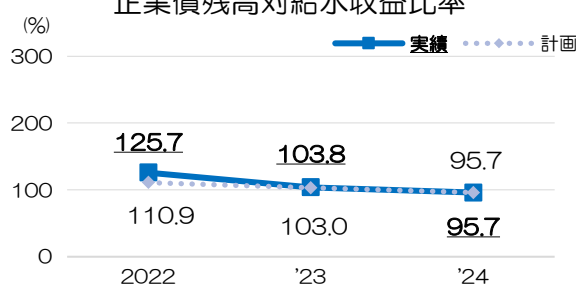
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

計画と比べ、維持管理費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、維持管理費が増加したことから、3.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | × | △ | ○ |

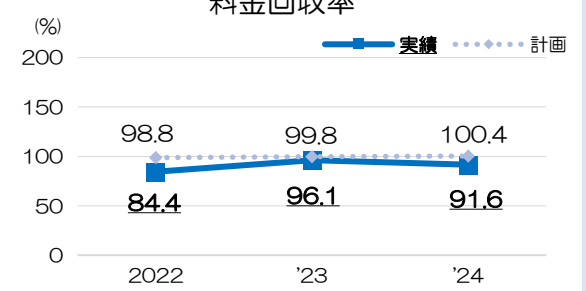
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、企業債残高が減少したことから、8.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値430.2%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | — | — | × | △ | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

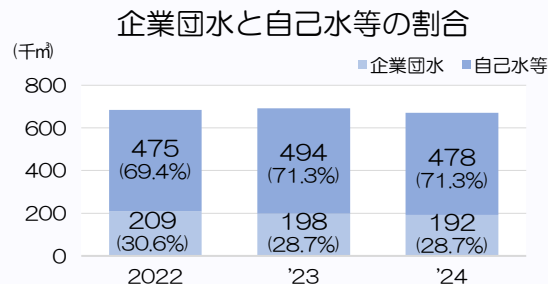
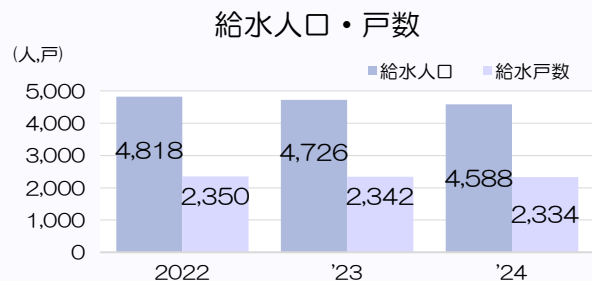
計画と比べ、維持管理費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、維持管理費が増加したことから、4.5ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値90.7%】

※ 河南水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。

■ 千早赤阪水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は4,588人で、前年度と比べて138人(2.9%)減少しています。

また、給水戸数は2,334戸で8戸(0.3%)減少しています。

給水量は670千m³で、前年度から22千m³(3.2%)減少となっています。

財政収支

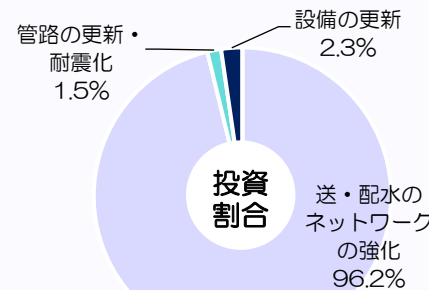
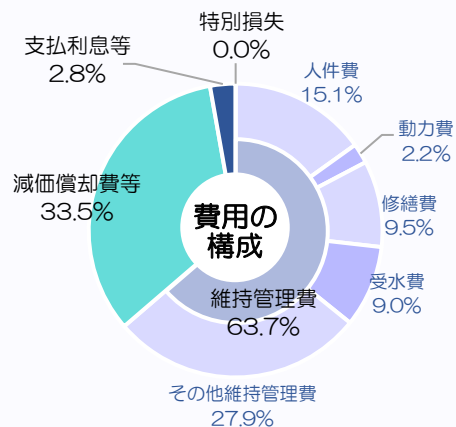
(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|------------|------------|------------|
| 収 益 | 194 | 191 | △ 2 |
| 給水収益 | 120 | 119 | △ 1 |
| 長期前受金戻入 | 22 | 22 | △ 0 |
| その他収入 | 51 | 50 | △ 1 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 |
| 費 用 | 186 | 180 | △ 7 |
| 維持管理費 | 119 | 114 | △ 4 |
| 減価償却費等 | 61 | 60 | △ 2 |
| 支払利息 | 5 | 5 | 0 |
| 特別損失 | 1 | 0 | △ 1 |
| 単年度損益 | 7 | 12 | 4 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------------|-------------|-------------|-----------|
| 収 入 | 167 | 187 | 20 |
| 企業債 | 60 | 77 | 17 |
| 国庫補助金等 | 51 | 52 | 1 |
| その他収入 | 57 | 58 | 1 |
| 支 出 | 236 | 247 | 11 |
| 建設改良費 | 197 | 208 | 11 |
| 企業債償還金 | 39 | 39 | 0 |
| その他支出 | — | — | — |
| 収支の差額 | △ 68 | △ 60 | 9 |

* 収支の差額については、積立金等で補てん



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで。



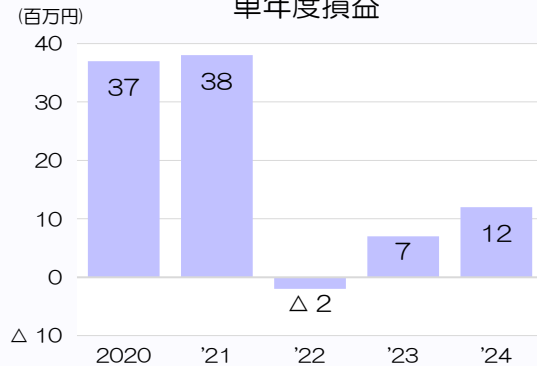
収益は、有収水量の減少に伴う給水収益の減少やその他収入が減少したことなどにより、前年度と比べると2百万円減少しました。

費用は、委託料や受水費の減少により維持管理費が減少したことなどにより、前年度と比べると7百万円減少しました。

これらの結果、単年度利益は前年度に比べ4百万円増加し、12百万円となりました。

財政収支の推移

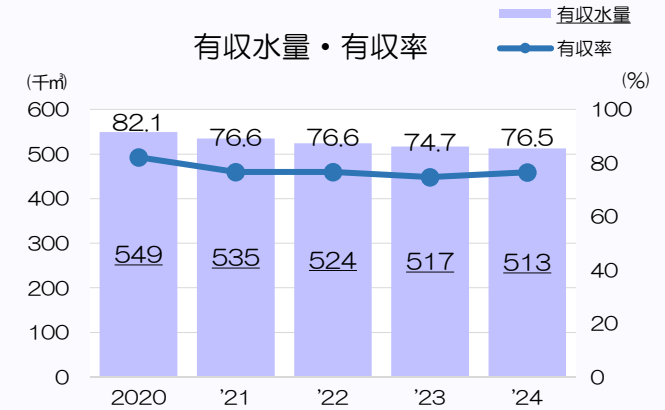
単年度損益



企業債残高



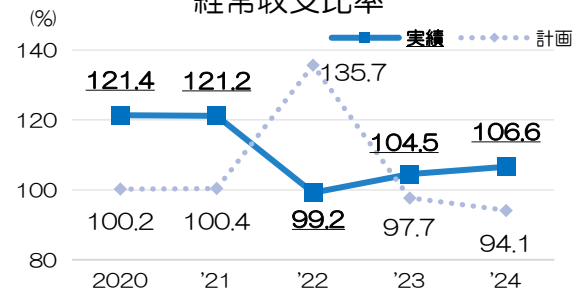
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

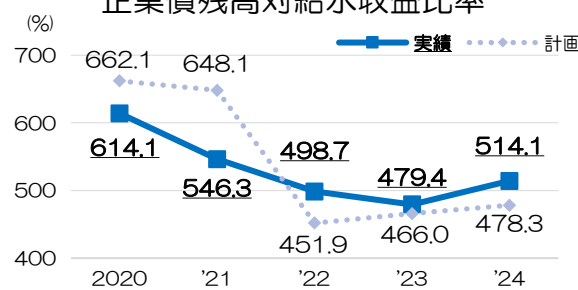
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、維持管理費が減少したことから、2.1ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | △ | × |

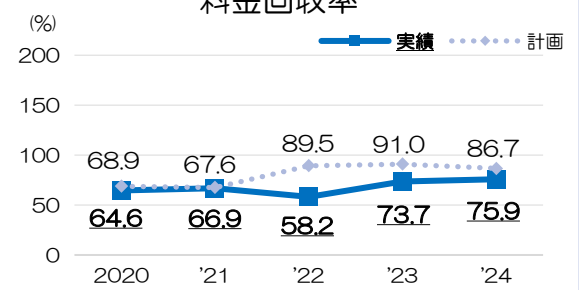
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

計画と比べ、給水収益は微増したものの、企業債残高が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、企業債残高が増加したことから、34.7ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値625.1%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | × | △ | × | × | × |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

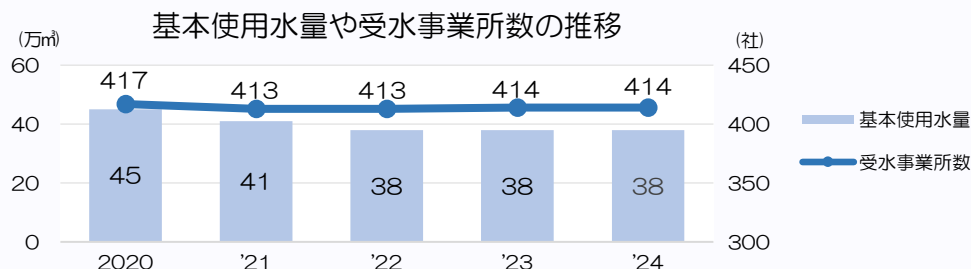
計画と比べ、給水収益は微増したものの、維持管理費の増加が上回ったことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。

なお、前年度と比べると、維持管理費が減少したことから、2.2ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値77.7%】

■ 工業用水道事業

基本使用水量や受水事業所数の推移



2024年度末の受水事業所数は414社で、前年度から増減はありません。

また、基本使用水量は日量382千m³で、前年度と比べて増減はありません。

基本使用水量…利用に当たって申し込まれた水量(日量)



財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益 | 6,635 | 6,104 | △ 531 |
| 給水収益 | 5,324 | 5,333 | 9 |
| 長期前受金戻入 | 825 | 406 | △ 419 |
| その他収入 | 258 | 116 | △ 142 |
| 特別利益 | 228 | 249 | 21 |
| 費 用 | 5,820 | 5,983 | 163 |
| 維持管理費 | 3,304 | 3,489 | 185 |
| 減価償却費等 | 2,240 | 2,196 | △ 44 |
| 支払利息 | 271 | 278 | 7 |
| 特別損失 | 5 | 20 | 15 |
| 単年度損益 | 815 | 121 | △ 694 |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支 | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入 | 5,735 | 3,436 | △ 2,299 |
| 企業債 | 3,874 | 2,860 | △ 1,014 |
| 国庫補助金等 | 199 | 156 | △ 43 |
| その他収入 | 1,662 | 420 | △ 1,242 |
| 支 出 | 8,417 | 7,176 | △ 1,241 |
| 建設改良費 | 7,112 | 5,620 | △ 1,492 |
| 企業債償還金 | 1,305 | 1,539 | 234 |
| その他支出 | - | 17 | 17 |
| 収支の差額 | △ 2,682 | △ 3,740 | △ 1,058 |

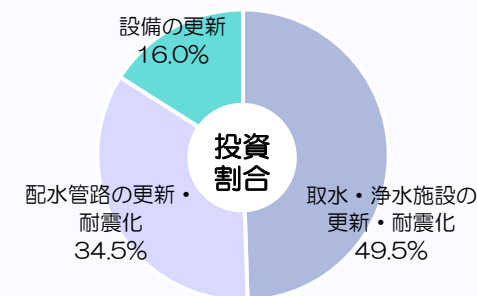
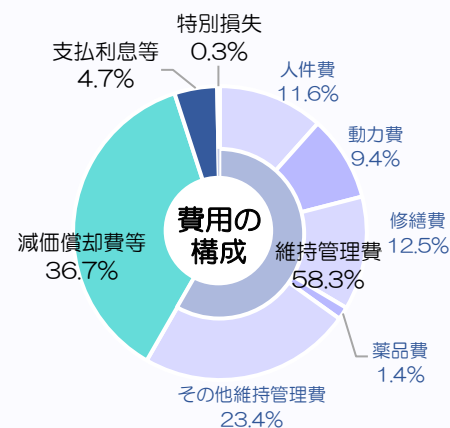
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、前年度に三島浄水場の工業用水道機能の廃止に伴い増加していた長期前受金戻入が減少したことなどから、前年度と比べて5億円減少しました。

費用は、漏水に伴い受水費が増加したことなどにより維持管理費が増加したため、前年度と比べて2億円増加しました。

これらの結果、単年度利益は前年度より7億円減少し、1億円となりました。



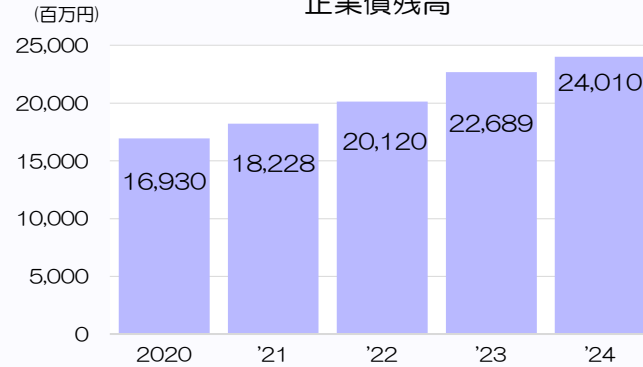
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

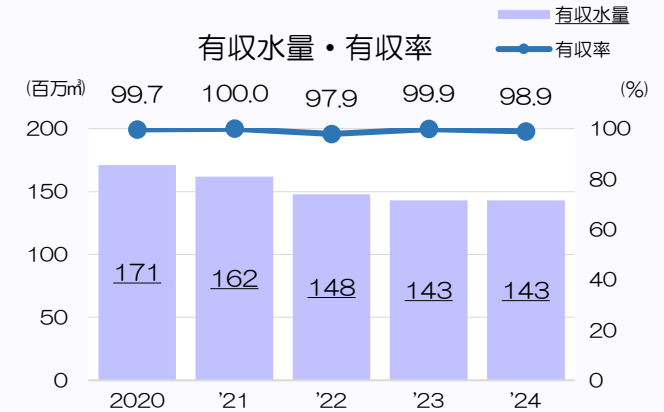
単年度損益



企業債残高



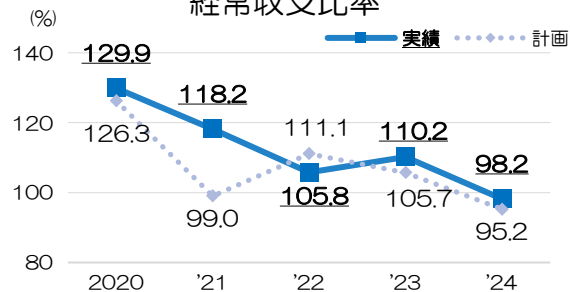
有収水量・有収率



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |

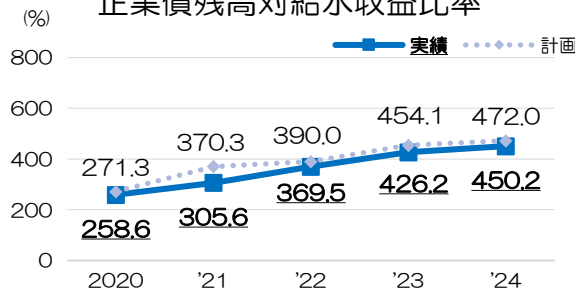
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

〔給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、長期前受金戻入が減少したことから、12.0ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値115.0%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

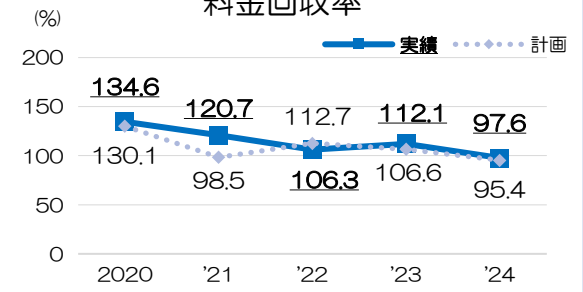
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

〔給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べると、企業債残高が増加したことから、24.0ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値213.1%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

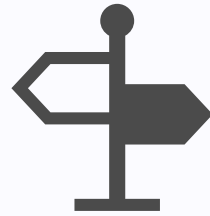
〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

〔給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。〕

2024年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べ、長期前受金戻入が減少したことから、14.5ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値111.8%】



ロードマップの 進捗状況



経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| | アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | | 進捗状況 | | | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|--|--|-------------|---|---------------------------|----------------|--------------------|--------|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | | | | |
| 施策1 安全で良質な水道水の提供 | ◀アクション1▶ ◆安全で良質な水道水の提供 | ①水安全計画に基づく水質管理 | 計画 | 水安全計画の適切な運用 必要に応じた見直し | | | | | | | | | | 予定 | 水安全計画の改定 (用供・泉南・四條畷・豊能地域・太子) | 水安全計画の改定 (岸和田、柏原、大阪狭山、熊取、河内、千早赤阪) | A | 水安全計画の適切な運用を推進 | | | | |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | | | | | |
| | | ②各浄水場のリスクに対応した施設整備や浄水処理運用の実施 | 計画 | 後ろ過処理や紫外線処理の導入 等 | | | | | | | | | | 予定 | ・村野浄水場階層系後ろ過施設の整備 ・村野浄水場西系浄水施設の更新 ・船橋浄水場への紫外線処理設備の導入 | ・村野浄水場階層系後ろ過施設の整備 ・村野浄水場西系浄水施設の更新 ・船橋浄水場及び板屋橋浄水場への紫外線処理設備の導入 | A | ・施設整備を計画どお実施 ・各浄水場におけるリスクに対応した浄水処理の強化(粒状活性炭吸着槽の洗浄条件の変更等)を実施 ・船橋浄水場の紫外線処理設備は、浄水場更新工事に合わせて令和7年度から施工予定 | | | | |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | | | | | |
| | | ③給水栓(蛇口)までより安全で良質な水道水をお届けするための取組の実施 | 計画 | 残留塩素濃度の適正化 鉛製給水管の解消 直結給水の推進 等 | | | | | | | | | | 予定 | ・富田林ポンプ場塩素注入設備の整備 ・鉛製給水管の取替 ・直結給水の推進 | ・適切な残留塩素管理目標値の検討 ・鉛製給水管の取替 ・直結給水の推進 | A | ・富田林ポンプ場塩素注入設備は、令和6年度に整備完了 ・配水管布設替工事や漏水修繕工事に合わせ、積極的に鉛製給水管の取替を実施 ・標準給水装置工事施行基準の運用開始に伴い、直結直圧式給水の適用範囲の拡大、直結増圧式給水の導入を推進 | | | | |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | | | | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新―施設整備計画一 | ◀アクション2-1▶ (用供) ◆取水・浄水施設の更新・耐震化等 | ①取水施設 磯島取水場の更新・耐震化 | 計画 | 設計 | | | | | | | | | | 施工 | (2030年度完成) | 予算 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | A | 計画どお実施 | | |
| | | | 実績 | | (基本設計 入札不調) | 基本設計 詳細設計 | 基本設計 詳細設計 | 詳細設計 施工 | | | | | | 実績 | 詳細設計 施工 | | | | | | | |
| | | (7)村野浄水場西系浄水施設の更新・耐震化 | 計画 | 設計 | | | | | | | | | | 施工 | (2032年度完成) | 予算 | 施工 | 施工 | A | 計画どお実施 | | |
| | | | 実績 | 基本設計 | 基本設計 詳細設計 | 詳細設計 | 詳細設計 | 施工 | | | | | | 実績 | 施工 | | | | | | | |
| | | (4)村野浄水場階層系浄水施設への後ろ過施設の整備 | 計画 | 設計 | | | | | | | | | | 施工 | | 予算 | 施工 | 施工 | A | 計画どお実施 | | |
| | | | 実績 | 基本設計 | 詳細設計 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | | 実績 | 施工 | | | | | | | |
| | | (9)三島浄水場への後ろ過処理導入等の検討 | 計画 | 検討 | | | | | | | | | | ※検討の結果、浄水場全面更新時に導入 | | | 予算 | | | 完了 | 令和3年度(2021年度)に検討完了 | |
| | | | 実績 | 検討 | 検討 | - | | | | | | | | 実績 | | | | | | | | |
| | | ①バックアップ機能の強化 | (7)河内連絡管の整備 約16km ※2022年度までに約1km完成 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 設計・施工(DB方式) | | | 予算 | 施工 (管路DB工区) (鉄道横断部) | 施工 (管路DB工区) | A | 計画どお実施 |
| | | | | 実績 | 施工完了 (河内6工区) 詳細設計 (河内7工区) 基本設計 (管路DB工区) | 詳細設計・施工 (河内7工区) 管路DB発注・着手 | 施工 (管路DB工区) (鉄道横断部) | 施工 (管路DB工区) (鉄道横断部) | 施工 (管路DB工区) (鉄道横断部) | | | | | | 実績 | 施工 (管路DB工区) (鉄道横断部) | | | | | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | | 進捗状況 | |
|--------------------------------------|--------------|---|-------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------|--------------|--|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新【施設整備計画】 | ①バックアップ機能の強化 | (4)阪南岬送水管の整備 約5km ※2022年度までに約2km完成 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 (2工区) | | 完了 ・令和6年度(2024年度)に整備完了 |
| | | | 実績 | 施工 (1工区) 詳細設計 (2工区) | 施工完了 (1工区) 施工 (2工区) | 施工 (2工区) | 施工 (2工区) | 施工完了 (2工区) | | | | | 実績 | 施工完了 (2工区) | | | |
| | | (2)系統連絡管の整備 (庭窪浄水場～万博公園浄水施設) 約6km | 計画 | 施工 | | | | ※2023年度に完成 | | | | | | 予算 | | | 完了 ・令和5年度(2023年度)に整備完了 |
| | | | 実績 | 施工 (シールド工) | 施工 (シールド工) | 施工 (二次覆工) | 施工完了 (付帯工) | | | | | | 実績 | | | | |
| | | (1)千里幹線の2重化 千里幹線バイパス管の整備 約5km | 計画 | 施工 | | ※2021年度に完成 | | | | | | | | 予算 | | | 完了 ・令和3年度(2021年度)に整備完了 |
| | | | 実績 | 施工完了 (2工区) 施工 (3工区) | 施工完了 (3工区) | | | | | | | | 実績 | | | | |
| | ②管路の更新・耐震化 | 村野浄水場～天野川 (4拡・5拡北部幹線) 全延長 約3km | 計画 | 設計 | | | 施工 | | | | | (2030年度完成) | | 予算 | 詳細設計 | 詳細設計 | B 別の工事において発生した出水事故(令和3年度)の影響を受け、関係事業者と協議を行ったため、本事業の発注内容等の見直しに時間を要した。令和7年度から詳細設計を実施 |
| | | | 実績 | 詳細設計 | 詳細設計 | - | 検討 | 検討 | | | | | | 実績 | 検討 | | |
| | | 天野川～千里浄水池 (4拡北部幹線) 全延長 約24km | 計画 | 基本設計 | | | 詳細設計・施工 | | | | | (2050年度完成) | | 予算 | 基本検討 | 基本検討 基本設計 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | | 基本検討 | 基本検討 | 基本検討 | | | | | | 実績 | 基本検討 | | |
| | | 村野浄水場～藤井寺ポンプ場 (4拡・5拡南部幹線) 全延長 約28km | 計画 | 基本設計 | | | | 詳細設計・施工 | | | | (2044年度完成) | | 予算 | 基本設計 | 基本設計 | B ・立坑用地の取得に向けた交渉に時間を要したため、基本設計に着手できなかった。 ・令和7年度から一部区間の基本設計を実施 ・引き続き、残り区間の用地取得の交渉を進める。 |
| | | | 実績 | 基本検討 | 基本検討 | - | - | - | | | | | | 実績 | - | | |
| | | 泉北浄水池～和泉浄水池 (5拡南部幹線) 全延長 約7km ※2022年度までに約1km完成 | 計画 | 詳細設計・施工 | | | | | | | | (2043年度完成) | | 予算 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 施工 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | | | | 2029年度までに約3km完成 | | 実績 | 詳細設計 施工 | | |
| | | 和泉浄水池～泉佐野ポンプ場 (5拡南部幹線) 全延長 約20km | 計画 | 基本設計 | | | 詳細設計・施工 | | | | | (2052年度完成) | | 予算 | 基本検討 | 基本設計 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | | | 基本検討 | 基本検討 | | | | | | 実績 | 基本検討 | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
 B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
 C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | | |
|--------------------------------------|------------------|--|--|---|---|--|--|------------------------------------|-------------------|--------------------|---------------------------|----|--|--|------------------------------------|------------------------|----------|--|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新（施設整備計画） | ②管路の更新・耐震化 | (7) 管路の更新・耐震化 泉佐野ポンプ場～阪南市興掛地内 （5 弘南部幹線） 全延長 約15km | 計画 | | | | 基本設計 | | 詳細設計・施工 | | | | (2046年度完成) | 予算 | 基本検討 | 基本設計 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | | | 基本検討 | 基本検討 | | | | | | 実績 | 基本検討 | | | |
| | | (8) 管路の更新・耐震化 摂津市千里丘地内～吹田市櫻切山地内 （3 弘山田幹線） 全延長 約1 km | 計画 | | | | 設計 | | 施工 | | | | (2030年度完成) | 予算 | 基本設計 | 詳細設計 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | | | 基本設計 | 基本設計 詳細設計 | | | | | | 実績 | 基本設計 詳細設計 | | | |
| | | (4)水管橋の耐震化 32橋（計画期間中） | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | | 予算 | 基本設計 詳細設計 施工（10橋） | 基本設計 詳細設計 施工（6橋） | A | ・計画どおり実施 ・令和6年度までに13橋完成 |
| | | | 実績 | 基本設計 詳細設計 施工（2橋） | 基本設計 詳細設計 施工（6橋） 施工完了（1橋） | 基本設計 詳細設計 施工（3橋） 施工完了（5橋） | 基本設計 詳細設計 施工（5橋） 施工完了（2橋） | 基本設計 詳細設計 施工（5橋） 施工完了（5橋） | | | | | | 実績 | 基本設計 詳細設計 施工（5橋） 施工完了（5橋） | | | |
| | ③浄水池・ポンプ場の更新・耐震化 | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 （小野原1,2号池） （藤井寺1号池） （富田林1,3号池） | 詳細設計 （奈佐原、美陵） | A | ・計画どおり実施 | |
| | | 実績 | 施工 （藤井寺2号池） （小野原3・4号池） 施工完了 （千里2号池） 詳細設計 （富田林） | 施工 （小野原3・4号池） 施工完了 （藤井寺2号池） 詳細設計 （富田林） | 施工 （小野原1,2号池） 施工完了 （藤井寺1号池） 詳細設計 （富田林） | 施工 （小野原1,2号池） （藤井寺1号池） （富田林1,3号池） | 施工完了 （小野原1,2号池） （藤井寺1号池） （富田林1,3号池） | | 龍泉2池（整備） | 奈佐原1池 | 美陵2池 白木2池 羽曳野2池（整備） | 実績 | 施工完了 （小野原1,2号池） （藤井寺1号池） （富田林1,3号池） | | | | | |
| | ①伝送システム | ①伝送システム | 計画 | 設計 | | 施工 | | | | | | | | 予算 | DBM実施 | DBM実施 | A | ・計画どおり実施 ※DBM（デザイン・ビルド・メンテナンス）：設計、施工、維持管理を一括で発注する方式 |
| | | | 実績 | DBM発注 | DBM実施 | DBM実施 | DBM実施 | DBM実施 | | | | | | 実績 | DBM実施 | | | |
| | | ②自動検計システム | 計画 | | 設計 | 施工 | | | | | | | | 予算 | BM実施 | BM実施 | A | ・計画どおり実施 ※BM（ビルド・メンテナンス）：施工、維持管理を一括で発注する方式 |
| | | | 実績 | | 基本設計 | BM発注 | BM実施 | BM実施 | | | | | | 実績 | BM実施 | | | |
| ③オゾン設備 | | 底窪浄水場北系オゾン設備 | 計画 | 設計 | | 施工 | | | | | | | | 予算 | BM実施 | | 完了 | ・令和6年度（2024年度）に整備完了 |
| | | | 実績 | 詳細設計 | BM発注 | BM実施 | BM実施 | BM実施 （整備完了） | | | | | | 実績 | BM実施 （整備完了） | | | |

A：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
B：「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
C：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--|-------------------|-------------------|-----------------|--|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 |
| 「アクション2-3」 (用供) ●設備の更新 | ③オゾン設備 村野浄水場平面系オゾン設備 | 計画 | 設計 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | BM実施 | BM実施 | A ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 詳細設計 | 詳細設計 | BM発注 | BM実施 | BM実施 | | | | | | 実績 | BM実施 | | |
| | ④中継ポンプ場(郡家ポンプ場) | 計画 | | | 設計 | 施工 | | | | | (2030年度完成) | | 予算 | 基本設計 (DBM方式) | 基本設計 (DBM方式) | A ・令和5年度に発注方法をDBM方式に見直し ・DBM方式で発注することにより、全体的な事業期間の短縮を図り、計画期間までに事業を完了する予定 |
| | | 実績 | | | | 基本設計 (DBM方式) | | | | | | | 実績 | 基本設計 (DBM方式) | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新(施設整備計画) | ①施設の共同化(統廃合) | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 | 施工 | A ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | | 実績 | 施工 | | |
| | 淡輪高区配水池の共同利用 (阪南・岬) | 計画 | 設計 | 施工 | | 設計 | 施工 | | | | | | 予算 | 詳細設計 | 施工 | A ・計画どおり実施 ・令和7年度から施工 |
| | | 実績 | 詳細設計 | 詳細設計 施工 | 施工 | | 詳細設計 | | | | | | 実績 | 詳細設計 | | |
| | 川野辺受水場等の共同利用 (河内・千早赤阪) | 計画 | | | | 設計 | 施工 | | | | | | 予算 | 詳細設計 | 施工 | A ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | | | | 詳細設計 | | | | | | | 実績 | 詳細設計 | | |
| | 北部エリア (豊能・能勢) | 計画 | | | | 設計 | 施工 | | | | | | 予算 | 詳細設計 施工 | 詳細設計 施工 | B ・アナログ回線による通信サービスの終了に伴い、デジタル回線へ移行するための整備が必要となったため、令和7年度も詳細設計を継続 |
| | | 実績 | | | | 詳細設計 | | | | | | | 実績 | 詳細設計 | | |
| | 南部エリア (泉南・阪南・田尻・岬・忠岡・熊取) | 計画 | 設計 | 施工 | | | | 設計 | 施工 | | 設計 | | 予算 | 施工 | 施工 | A ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 詳細設計 | (発注時期の見直し) | 施工 | 施工 | 施工 | | | 忠岡 | 熊取 2030年度完成 | | 実績 | 施工 | | |
| | ③施設の再構築 | 計画 | 施工 | ※2020年度に完成 | | | | | | | | | 予算 | | | 完了 ・令和2年度(2020年度)に整備完了 |
| | | 実績 | 施工完了 | | | | | | | | | | 実績 | | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
 B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
 C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|-------------------|-------------------|---|-------------------|----------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|----|-------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---|---|----------|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新〔施設整備計画〕 | ③施設の再構築 | 貯留施設（野間時サージタンク）の活用・管路の整備（豊能） | 計画 | 施工 | | | | ※2021年度に完成 | | | | | | 予算 | | 完了 | ・令和3年度（2021年度）に整備完了 | | |
| | | | 実績 | 施工 | 施工完了 | | | | | | | | 実績 | | | | | | |
| | | 基幹配水池（北出配水ポンプ場）の整備（忠岡） | 計画 | | | | 設計 | 施工 | | | | | | 予算 | 詳細設計 | 詳細設計 施工 | B | ・ポンプ棟の整備等が必要となったため、令和6年度に詳細設計が完了しなかった。 ・令和7年度から工事を実施予定 | |
| | | | 実績 | 計画再検討 （休止決定） | 計画再検討 （休止） | 計画再検討 （方針決定） | 詳細設計 | 詳細設計 | | | | | 実績 | 詳細設計 | | | | | |
| | | 基幹配水池（希望が丘配水池）の整備（熊取） | 計画 | 設計 | 施工 | | | | ※2023年度に完成 | | | | | | 予算 | | 完了 | ・令和5年度（2023年度）に整備完了 | |
| | | | 実績 | 設計 | 施工 | 施工 | 施工完了 | | | | | | 実績 | | | | | | |
| | | 船橋浄水場・基幹配水池（野中配水池）の整備（藤井寺） | 計画 | | 船橋浄水場 | 設計 | | 施工 | | | | | | 予算 | 施工 （船橋浄水場） 基本設計 （野中配水池） | 施工 （船橋浄水場） 詳細設計 （野中配水池） | A | ・計画どおり実施 | |
| | | | 実績 | | | 基本設計 詳細設計 （船橋浄水場） | 詳細設計 （船橋浄水場） | 施工 （船橋浄水場） 基本設計 （野中配水池） | | | | | 実績 | 施工 （船橋浄水場） 基本設計 （野中配水池） | | | | | |
| | | 受水池、配水池等の廃止 | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | | | 予算 | — | — | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 中野ポンプ場 （四條畷） | 野間口配水池 （豊能） | 希望ヶ丘高区配水池 希望ヶ丘低区配水池 木代低区配水池 （豊能） | 紺屋受水池 （熊取） | — | | | | | 実績 | — | | | | | |
| | | 「アクション2－5」 （水道） ◆送・配水のネットワークの強化 | 村内連絡管の整備 （千早赤阪） | 計画 | 施工 | 設計・施工（DB方式） | | | | | | | | 予算 | 施工 | 施工 | B | ・関係者との協議に時間を要したため、完成が計画より遅れる見込み | |
| | | | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | 実績 | 施工 | | | | |
| | 「アクション2－6」 （水道） ◆管路の更新・耐震化 | 管路の更新・耐震化 約114km（計画期間中） 全管路 約114km 基幹管路 約17km 重要給水施設管路 約29km | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | 予算 | 設計 施工 | 設計 施工 | A | ・計画どおり実施 ・令和6年度までに以下の整備が完了 全管路：約49km完成 基幹管路：約8km完成 重要給水施設管路：約13km完成 | | |
| | | | | 2024年度までに約47km完成 | | | | 2029年度までに約67km完成 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 2024年度までに約6km完成 | | | | 2029年度までに約11km完成 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 2024年度までに約13km完成 | | | | 2029年度までに約16km完成 | | | | | | | | | | | |
| 実績 | | | 全管路：約21km 基幹管路：約3km 重要給水施設管路：約6km | | | 設計 施工 | 設計 施工 | | | | | 実績 | 設計 施工 | | | | | | |

A：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

B：「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

C：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | | |
|--|---|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|----------------|-----------------------------|----------|---------------------|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新（「施設整備計画」） | 「アクション2－7」 （水道） ◆設備の更新 ※施設の最適配置に伴う設備の更新についてはアクション2－4に含みます。 | 受配電設備（高圧） | 計画 | | | | 施工 | | | | | 施工 | 予算 | 施工 （四條畷） | 施工 （四條畷、太子） | A | ・計画どおり実施 | |
| | | | 実績 | | | | 施工 （四條畷） | 施工 （四條畷） | | | | | | | | | | 施工 （四條畷） |
| | | 中央監視制御設備 | 計画 | 施工 四條畷・太子 | | | 施工 | | | | | | | 予算 | 施工 | | 完了 | ・令和6年度（2024年度）に整備完了 |
| | | | 実績 | 施工完了 | | | 施工 | 施工完了 | | | | | 施工完了 | | | | | |
| | | 計装設備 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 | 施工 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | 施工 | | | | | |
| | 送水ポンプ・配水ポンプ | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 | 施工 | A | ・計画どおり実施 | |
| | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | 施工 | | | | | | |
| | 非常用自家発電設備 | 計画 | | | | 施工 | | | | 施工 | | 予算 | 施工 | 詳細設計 | A | ・太子の非常用自家発電設備は、令和6年度に整備完了 | | |
| | | 実績 | | | | 施工 | 施工完了 | | | | 忠岡・熊取 | | | | | | 施工完了 | |
| | 「アクション2－8」 （水道） ◆水処理課題に対応した施設整備（自己水） | 常外級処理設備の導入 （藤井寺） | 計画 | | 船橋浄水場 | 設計 | 施工 | | | | | 予算 | — | 施工 | A | ・船橋浄水場更新工事に合わせて、令和7年度から施工予定 | | |
| | | | 実績 | | | 基本設計 詳細設計 | 詳細設計 | — | | | | | | | | | 実績 | — |
| | | 常外級処理設備の導入 （太子） | 計画 | | | | 板屋橋浄水場 | 設計 | 施工 | | | 予算 | 詳細設計 | 施工 | A | ・計画どおり実施 | | |
| | | | 実績 | | | | 詳細設計 | 詳細設計 | | | | | | | | | 実績 | 詳細設計 |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
 B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
 C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | |
|--|---|-------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---|--|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--|------|---------------------|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 |
| 「アクション2-9」 (工水) ◆取水・浄水施設の更新・耐震化(大庭浄水場) | ①調整池及び配水ポンプ棟の整備 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | 施工 (付帯工) | 完了 | ・令和6年度(2024年度)に整備完了 |
| | | 実績 | 施工 (基礎工) | 施工 (躯体工) | 施工 (躯体工) | 施工 (躯体工) (付帯工) | 施工完了 (付帯工) | | | | | 実績 | 施工完了 (付帯工) | | |
| | ②取水ポンプ棟の更新・耐震化 | 計画 | 設計 | | | | | | | 施工 | | 予算 | 詳細設計 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 基本設計 | 基本設計 | 基本設計 | 詳細設計 | 詳細設計 | | | | | 実績 | 詳細設計 | | |
| 「アクション2-10」 (工水) ◆配水管路の更新・耐震化 | ①大庭～三島連絡管の整備 約2km | 計画 | 施工 | | | | ※2023年度に完成 | | | | | 予算 | | 完了 | ・令和5年度(2023年度)に整備完了 |
| | | 実績 | 施工 (シールド工) | 施工 (シールド工) (二次覆工) | 施工 (シールド工) (二次覆工) | 施工完了 (付帯工) | | | | | | 実績 | | | |
| | (7)新家～大泉バイパス配水管 全延長 約16km | 計画 | 基本設計 | | 詳細設計・施工 (2036年度完成) | | | | | | | 予算 | 詳細設計・施工 (新家～東除) 基本設計・管路DB (東除～大泉) | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 基本設計 詳細設計 | 基本設計 詳細設計 | 基本設計 詳細設計 | 詳細設計 (新家～東除) 基本設計・管路DB (東除～大泉) | 詳細設計・施工 (新家～東除) 基本設計・管路DB (東除～大泉) | | | | | 実績 | 詳細設計・施工 (新家～東除) 基本設計・管路DB (東除～大泉) | | |
| | (1)臨海の丘～高石バイパス配水管 約5km ※2022年度までに約2km完成 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | 2工区 (付帯工) | 完了 | ・令和6年度(2024年度)に整備完了 |
| | | 実績 | 1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工) | 1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工) | 1工区 (付帯工) 2工区 (二次覆工) | 2工区 (付帯工) | 施工完了 2工区 (付帯工) | | | | | 実績 | 施工完了 2工区 (付帯工) | | |
| | ③連絡管等の整備、既設管の更新と水管橋の耐震化 | 計画 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | 施工 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | 実績 | 施工 | | |
| | (7)守口北守口東連絡管 約4km | 計画 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | 施工 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | | | | | 実績 | 施工 | | |
| | 芥川水管橋バイパス管 約1km | 計画 | 設計 | | | | 施工 | | | | | 予算 | 詳細設計 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 設計 | 設計 | 設計 | 詳細設計 | 詳細設計 | | | | | 実績 | 詳細設計 | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | | 進捗状況 | | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------|-------------------|------------------------|-------------------|------------------------|------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--|-------------------|-------------------|------------------------|------------------------|-------|--|---------|---------------------|---------------------|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | | | | |
| 施策2 災害に強い水道施設の構築と適正規模への更新〔施設整備計画〕 | 「アクション2－10」 (工水) ◆配水管路の更新・耐震化 | ⑦連絡管等の整備 | 守口西～大庭三島連絡管 約2km | 計画 | 施工 | | | | ※2023年度に完成 | | | | | | | | 予算 | | | 完了 | ・令和5年度（2023年度）に整備完了 |
| | | | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工完了 | | | | | | | 実績 | | | | | | |
| | | ④管路の更新・耐震化 約9km（計画期間中） | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | | 予算 | 設計 施工 | 設計 施工 | B | ・現場条件の変更（地下水の影響等）により工事の進捗に遅れが生じた。 ・令和6年度までに約1.2km完成 | | | |
| | | | 実績 | 約1km | | | 継続実施 | 設計 施工 | | | | | | 実績 | 設計 施工 | | | | | | |
| | | ⑧水管橋の耐震化 18橋（計画期間中） | 計画 | 継続実施 | | | | | | | | | | 予算 | 基本設計 詳細設計 施工(3橋) | 基本設計 詳細設計 施工(3橋) | A | ・計画どお実施 ・令和6年度までに2橋完成 | | | |
| | | | 実績 | 基本設計 詳細設計 | 基本設計 詳細設計 施工(2橋) | 詳細設計 施工(2橋) | 基本設計 詳細設計 施工(2橋) | 基本設計 詳細設計 施工(3橋) | | | | | | 実績 | 基本設計 詳細設計 施工(3橋) | | | | | | |
| | | 「アクション2－11」 (工水) ◆設備の更新 | ①伝送システム | 計画 | 設計 | | 施工 | | | | | | | | | 予算 | DBM実施 | DBM実施 | A | ・計画どお実施 | |
| | | | | 実績 | DBM発注 | DBM実施 | DBM実施 | DBM実施 | DBM実施 | | | | | | 実績 | DBM実施 | | | | | |
| | | | ②自動検計システム | 計画 | | 設計 | 施工 | | | | | | | | | 予算 | BM実施 | BM実施 | A | ・計画どお実施 | |
| | | | | 実績 | | 基本設計 | BM発注 | BM実施 | BM実施 | | | | | | 実績 | BM実施 | | | | | |
| | | | ③ポンプ設備 | 大庭浄水場配水ポンプ | 計画 | 施工 | | | | | | | | | | 予算 | 施工 | | 完了 | ・令和6年度（2024年度）に整備完了 | |
| | | | | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工 | 施工完了 | | | | | 実績 | 施工完了 | | | | | |
| | | | 大庭浄水場取水ポンプ | 計画 | 設計 | | | | | | 施工 | | | | 予算 | 詳細設計 | 詳細設計 | A | ・計画どお実施 | | |
| | | | | 実績 | 基本設計 | 基本設計 | 基本設計 | 詳細設計 | 詳細設計 | | | | | 実績 | 詳細設計 | | | | | | |
| | | | 八尾ポンプ場配水ポンプ | 計画 | 施工 | | | | ※2022年度に完成 | | | | | | | | 予算 | | | 完了 | ・令和4年度（2022年度）に整備完了 |
| | | | | 実績 | 施工 | 施工 | 施工完了 | | | | | | | 実績 | | | | | | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
 B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
 C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| | アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | |
|---------------------------------|---------------------------------------|---|--------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--|---|------|---|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 |
| 施策3 あらゆる危機事象に対する体制の強化(ソフト対策) | 「アクション3」 ◆あらゆる危機事象に対する体制の強化(ソフト対策) | ①マニュアル類と訓練の充実 | マニユアル類の見直し訓練の実施と改善 | | | | | | | | | | 予定 ・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水及び受援訓練等 | 実施 ・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水及び受援訓練等 | A | ・令和5年度に作成した災害時応援者用マニュアル(水道センター版)に基づき、応急給水訓練、受援訓練を実施 |
| | | | 計画 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ②協定の充実 | 相互応援体制の改善 統合元市町村との連携協定の拡大 | | | | | | | | | | 予定 ・大阪府が主体となった全水道事業体との新協定の締結及び有効性の確認 ・統合予定団体(5団体)との連携協定の締結に向けた協議 | 実施 ・統合予定団体(5団体)との連携協定の締結に向けた協議 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ③受援体制の強化に向けた取組の実施 | 水道センターごとの給水拠点等を反映した災害時受援手引書の改定 | | | | | | | | | | 予定 ・災害時応援者用マニュアル(用供・工水版)の作成 | 実施 ・災害時応援者用マニュアル(水道センター版)の実効性の確認及び検証 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ④応急給水体制の強化に向けた取組の実施 | 災害用備蓄水の配備 応急給水訓練の実施 | | | | | | | | | | 予定 ・備蓄水25万本の製作 ・応急給水訓練の実施 | 実施 ・備蓄水25万本の製作 ・応急給水訓練の実施 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| 施策4 府域一水道の推進 | 「アクション4-1」 ◆広域化の推進 | ①2022年1月に覚書を締結し、現在、検討協議中の水道事業統合に向けた検討、協議の実施 | 検討協議、早期事業開始 | | | | | | | | | | 予定 ・統合案の策定(5団体) ・事業認可の取得(5団体) | 実施 ・統合案の策定(5団体) ・事業認可の取得(5団体) | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | 最適配置案(中間報告)策定 | 最適配置案(最終報告)策定 | 統合案の策定(7団体) | 統合案の策定(6団体) | ・統合案の策定(5団体) ・事業認可の取得(5団体) | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ②水道事業統合を推進するための取組の実施 | 次期統合に向けた検討等 | | | | | | | | | | 予定 ・最適配置案等の策定(4団体) ・水道施設の統廃合案を検討(水道施設最適化検討会) | 実施 ・最適配置案等の策定及び覚書の締結(4団体) ・水道施設の統廃合案を検討(水道施設最適化検討会) | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | | | | | ・最適配置案等の検討(4団体) ・水道施設の統廃合案を検討(水道施設最適化検討会) | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ③府域一水道に向けた水道のあり方協議会での議論を踏まえた取組の実施 | あり方協議会での検討等 | | | | | | | | | | 予定 ・協議会への参画 ・大阪府水道基盤強化計画掲載の取組の推進 | 実施 ・協議会への参画 ・大阪府水道基盤強化計画掲載の取組の推進 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 計画 | | | | | | | | | | 実績 | 実施 | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| | アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | |
|---------------------|--|-------------------------|-------------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---|--|--|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 |
| 施策4 府域一水道の推進 | 「アクション4-2」 ◆府域一水道を見据えた市町村域水道事業の基盤強化 | ①業務の標準化、システム等の統一 | 計画 | 統一的な業務マニュアルや技術基準の作成等 | | | | | | | | | | 予定 ・統合水道料金システムの運用開始にあわせ、順次、料金徴収等業務を標準化 ・標準給水装置工事施行基準の運用開始(令和6年10月～) | 実績 ・統合水道料金システムの運用開始にあわせ、順次、料金徴収等業務を標準化 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | 料金徴収等業務の標準化と料金システムの統一 | 計画 | 検討 順次、統一システムに移行 | | | | | | | | | | 予定 ・統合水道料金システムを構築し、順次、運用開始(令和6年10月～) | 実績 ・統合水道料金システムの運用開始にあわせ、順次、料金徴収等業務を標準化 | A ・令和6年10月から、8水道事業において統合水道料金システムの運用を開始 ・料金徴収等業務の標準化(業務フロー、運用方法を含む)を実施 |
| | | | 実績 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ②ユニバーサルサービスをめざした取組の実施 | 計画 | 市町村域水道事業における料金のあり方の検討等 | | | | | | | | | | 予定 高料金対策の検討 | 実績 高料金対策の検討 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| 施策5 サービスの向上 | 「アクション5」 ◆サービスの向上 | ①デジタル窓口の構築 | 計画 | 検討 オンライン手続の導入 クレジットカード払いの導入等 | | | | | | | | | | 予定 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | 実績 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | A ・令和6年10月から、8水道事業において開閉栓・名義変更等のオンライン手続き、過去の使用水量と料金の見える化及びクレジットカード払いの取扱いを開始 |
| | | | 実績 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ②利用者の安心、理解や信頼につながる取組の実施 | 計画 | SNSによる情報発信 コミュニケーションの機会の創出 広聴体制の構築等 | | | | | | | | | | 予定 水道週間イベントなど複数回イベントを実施予定 | 実績 水道週間イベントを実施するほか、地域イベント等に参加して水道事業のPRを実施 | A ・水道週間にあわせて、構成市町村と共同で一斉に「水の備蓄」を啓発するPRを実施 |
| | | | 実績 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| 施策6 持続可能な事業運営の追求 | 「アクション6-1」 ◆持続可能な事業運営の追求 | ①市町村域水道事業の拡大に合わせた対応 | 計画 | 事業運営体制の充実等 | | | | | | | | | | 予定 令和7年度の統合を見据え、組織の再編を検討 | 実績 令和9年度の統合を見据えた、事業運営体制の検討 | A ・令和7年度に市町村域水道事業を専門に担当する「水道事業部」を設置し、事業運営体制を強化 |
| | | | 実績 | | | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ②工業用水道事業の経営改革の検討 | 計画 | 制度や運用、事業運営体制の見直し等 | | | | | | | | | | 予定 経済産業省の伴走型支援を活用し、官民連携について検討 | 実績 制度や運用の見直しの検討 | A ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------|---|---|-------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------------------|--|--|-------------------------|--|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | |
| ③継続的なアセットマネジメントの実践 | ③継続的なアセットマネジメントの実践 | 計画 | 更新基準年数の見直し ライフサイクルコストを考慮したメンテナンスの実施等 | | | | | | | | | | 予定 | ・施設のメンテナンス方法の検討 (ドローンによる点検など) ・更新基準年数の見直しの検討 | ・施設のメンテナンス方法の検討 (ドローンによる点検など) ・更新基準年数の見直しの検討 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | | |
| | ④業務の合理化に係る取組の実施 | 計画 | 発注方法の工夫 低コスト材料・工法の採用等 | | | | | | | | | | 予定 | 発注方法の検討（概略発注） | 発注方法の検討（概略発注） | A | ・概略発注方式 村野、北部で試行実施中。効果検証の上、本格 運用に向け取り組む。 |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | | |
| ①一体的、効率的で効果的な事業運営につ ながる取組の実施 | ①一体的、効率的で効果的な事業運営につ ながる取組の実施 | 計画 | 業務の標準化、システム等の統一 業務の集約、共同発注（調達） 水道センターの統合等 | | | | | | | | | | 予定 | ・業務の標準化の検討 ・水道センター統合の検討及び実施 | ・業務の標準化の検討 ・水道センター統合の検討及び実施 | A | ・令和6年10月から、8水道事業において統合水 道料金システムの運用を開始 ・料金徴収業務等の標準化（業務フロー、運用方 法を含む）を実施 ・令和6年4月に「豊能地域水道センター」を開所 （豊能水道事業と能勢町水道事業を事業統合） |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | | |
| | ②給水コストの低減に係る取組の実施 | 計画 | 漏水対策の強化等 | | | | | | | | | | 予定 | 漏水調査未実施の水道センターにおける計画的な漏水調査の推進 | 漏水調査未実施の水道センターにおける計画的な漏水調査の推進 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | | |
| ①サービスのオンライン化 | ①サービスのオンライン化 | 計画 | ウェブ上でのオンライン手続の導入 利用者におけるデータの見える化の実施等 | | | | | | | | | | 予定 | 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | A | 令和6年10月からの統合料金システムの稼働に伴い、お客さまサポートを構築。開閉栓・名義変更等のオンライン手続きに加えて、過去の使用水量と料金の見える化を実施 |
| | | 実績 | 水道料金のスマートフォン決済の導入を決定 | ・水道料金のスマートフォン決済を開始 ・水道の使用開始・中止等のインターネット受付を開始 | 漏水修繕対応事業者名簿の作成 | 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の検討 | 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | | | | | 実績 | 統合水道料金システム稼働によるオンライン手続等の導入 | | | | |
| | ②業務の効率化につながるデジタル技術を活用した取組の実施 | 計画 | 各業務分野において検討し順次実施 | | | | | | | | | | 予定 | ・本部にて契約締結を行う一部案件について、電子契約システムの運用開始 ・総務・人事・会計業務へのRPA導入 | ・電子契約システム運用範囲の拡大 ・ビジネスチャットの導入 ・無線LAN環境の拡大 ・テレワーク（リモートデスクトップ）環境の拡充 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | | | モバイルPCの導入 | ・電子契約システム検証 ・RPA導入準備 | ・電子契約システム運用開始 ・RPA導入 | | | | | 実績 | ・電子契約システム運用開始 ・RPA導入 | | | | |
| | 電子決裁・行政文書管理システムの導入 | 計画 | | | 構築 | 運用開始 | | | | | | 予定 | システム運用保守 | 運用保守 | A | ・決裁の電子化の推進（電子決裁率：99.7%） | |
| | | 実績 | | | 構築 | 運用開始 | 運用保守 | | | | | 実績 | 運用保守 | | | | |

A:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

B:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

C:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| アクション | 項目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | |
|--|----------------------|-------------------|--------------------------|---------------------|------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|----|---|---|------|--|
| | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 |
| 「アクション6-3」 ◆DXの推進 | ③業務やサービスの変革と新たな価値の創出 | 計画 | | | スマートメーターの導入に向けた検討等 | | | | | | | 予定 | スマートメーターの導入に関する情報収集と検討 | スマートメーターの導入に関する情報収集と検討 | A | ・令和5年度から、スマートメーターの普及に向けて水道技術研究センターが立ち上げた「New-smartプロジェクト会議」に参加 ・令和5年10月からスマートメーターに係る実証実験を開始（河南水道センター） ・令和6年10月からスマートメーターに係る実証実験を開始（志岡水道センター） |
| | | 実績 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | ④その他DXの推進に向けた取組の実施 | 計画 | | | 官民連携による新技術の実証実験等 | | | | | | | 予定 | ・施工管理のDX化（遠隔臨場による現場管理、工事情報共有システムの試行など） ・電子機器購入 | 施工管理のDX化（遠隔臨場による現場管理、工事情報共有システムなど） | A | ・令和5年度から遠隔臨場、工事情報共有システムを実施 ・検査効率化のためにタブレットを導入 |
| | | 実績 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| 施策6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進 | ①官民連携手法の更なる導入 | 計画 | | | DB方式の拡大等 | | | | | | | 予定 | 試行実施 | 実施 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | - | DB発注・着手 | 検討 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | ②包括委託の推進 | 計画 | | | 市町村域水道事業における包括委託の実施等 | | | | | | | 予定 | 包括委託の推進に向けた検討（河南地域） | 包括委託の推進に向けた検討 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 包括委託の実施に向けた検討・発注準備（河南地域） | 包括委託を発注し、契約完了（河南地域） | 包括委託開始等（河南地域） | 実施（河南地域） | 実施（河南地域） | | | | | 実績 | 実施（河南地域） | | | |
| | ③新たな官民連携の取組の検討 | 計画 | | | 新たな官民連携手法の可能性調査の実施等 | | | | | | | 予定 | 経産省の伴走型支援を活用し検討 | 国土省の官民連携推進会議に参加するなど、官民連携の動向を調査 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | | | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| 「アクション6-5」 ◆新技術に関する調査・研究の推進と有用な新技術の導入 | 有用な新技術の導入 | 計画 | | | 情報収集、調査・研究への参画 有用な新技術を可能なものから導入 | | | | | | | 予定 | フィールド試験の実施（凝集沈殿処理の運転支援、管路バルブにおける水理・水質監視システム、スマートメーターなど） | フィールド試験の実施（凝集沈殿処理の運転支援、管路バルブにおける水理・水質監視システム、スマートメーターなど） | A | ・村野浄水場（凝集沈殿） ・村野浄水場（マイクロ風力発電） ・阪南水道センター（水理検知バルブ） ・河南、志岡水道センター（スマートメーター） |
| | | 実績 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| 「アクション6-6」 ◆不断の経営努力と適正な料金水準の検討 | ①経営改善の取組の着実な実施 | 計画 | | | 収入の確保 支出の削減 | | | | | | | 予定 | 進捗管理、新たな経営改善策の検討 | 進捗管理、新たな経営改善策の検討 | A | 公共間無償譲渡等による浄水発生土の処分費削減（199百万円） |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | ②水道用水供給料金【水道用水供給事業】 | 計画 | | | 現行料金の維持 | | | | | | | 予定 | 現行料金の維持 | 現行料金の維持 | A | ・計画どおり実施 |
| | | 実績 | 維持 | 維持 | 維持 | 維持 | 維持 | | | | | 実績 | 維持 | | | |

A：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成（見込み）

B：「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成（見込み）

C：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成（見込み）、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| | アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|-----------------------|-------------------|---------------------------|------------------------------------|---|--------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---|--|---|--|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | | |
| 施策6 持続的な事業運営を確保していくための取組の推進 | «アクション6－6» ◆不断の経営努力と適正な料金水準の検討 | ③水道料金 【市町村域水道事業】 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | 料金改定の実施を検討 | 料金改定の実施を検討 (千早赤阪) | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 検討 (千早赤阪) | 料金改定の実施を決定 (千早赤阪) 検討 (豊能) | 料金改定の実施 (千早赤阪) 料金改定の実施を決定 (豊能) | 料金改定の実施 (豊能) | 料金改定の実施を検討 (阪南) | | | | | | 実績 | 料金改定の実施を検討 (阪南) | | | |
| | | ④工業用水道料金 【工業用水道事業】 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | 現行料金の維持 | 現行料金の維持 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 料金改定を実施 基本使用水量の減量実施を決定 | 基本使用水量の減量を実施 | 基本使用水量の減量を実施 | ・現行料金の維持 基本使用水量の減量の実施 | 維持 | | | | | | 実績 | 維持 | | | |
| | «アクション6－7» ◆職員の働きがいの向上 | ③職員の満足度等の把握 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | - | 令和7年度満足度調査を実施予定 | A | 令和7年度満足度調査を実施予定 |
| | | | 実績 | | | 令和4年度満足度調査の実施 | - | - | | | | | | 実績 | - | | | |
| | | ②働きがいの向上に向けた取組の実施 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | ・人材育成方針の策定と併せて検討 ・職員相談窓口(産業カウンセラー等)の活用 | ・職員相談窓口(産業カウンセラー等)の活用 ・メンタルヘルス、ハラスメント防止研修の実施 | A | ・メンタルヘルス対策の拡充に向けた検討を実施 |
| | | | 実績 | | | | | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | «アクション6－8» ◆人材の確保、職員の能力や技術力の向上 | ①人材の確保に向けた取組の実施 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | ・職務経験者採用の継続実施 ・SNSを活用した採用広報の継続実施 ・ジョブマーケティング広告掲載の継続実施 ・高卒生を対象とした公舎借上げ など | ・職務経験者採用の継続実施 ・SNSを活用した採用広報の継続実施 ・試験区分を追加し受験機会を拡大 など | A | ・遠方からも無理なく受験できるよう1次試験をテストセンターのみで実施(高校卒程度(9月実施)を除く。) ・高校卒程度(9月実施)を新規実施 |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | | ②人材の育成に向けた取組の実施 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | 人材育成方針の策定 | 方針に基づく人材育成の推進 | A | ・計画どおり実施 |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 人材育成方針の構成・項目案等の検討 | 人材育成方針の策定 | | | | | | 実績 | 人材育成方針の策定 | | | |
| 施策7 環境負荷の低減 | «アクション7－1» ◆温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組の推進 | ①商用電力使用量 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | 実施 | 実施 | A | ・商用電力使用量：407百万kWh(前年度比5%減) |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | | ②単位給水量当たりの電力使用量 | 計画 | | | | | | | | | | | 予定 | 実施 | 実施 | A | ・単位給水量当たりの電力使用量：651kWh(前年度比5%減) |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |

A：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)
B：「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)
C：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成

経営戦略2020-2029(2023年5月改定)の進捗状況

※ (用供)は水道用水供給事業、(水道)は市町村域水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

| | アクション | 項 目 | ロードマップ | | | | | | | | | | 各年度の取組 | | 進捗状況 | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------------------------|--|---|
| | | | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) | 2027年度 (令和9年度) | 2028年度 (令和10年度) | 2029年度 (令和11年度) | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 評価 | 取組内容、今後の方針等 | |
| 施策7 環境負荷の低減 | ◀アクション7－1▶ ◆温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組の推進 | ③エネルギー効率の高い施設・設備等の導入 | 計画 | 施設・設備の整備、更新に合わせて実施 | | | | | | | | | | 予定 | 実施 | 実施 | A ・豊能地域水道事業 ポンプ更新に合わせて高効率ポンプに取替 |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ④再生可能エネルギー（小水力、太陽光）による発電 | 計画 | 導入可否の検証 | | 効果を踏まえて導入拡大 | | | | | | | 予定 | 発電施設の導入検討 | 発電施設の導入検討 | A ・発電量：336.1万kWh （発電機の内訳） ・都家ポンプ場（小水力）：233.8万kWh ・村野浄水場（太陽光）E系沈殿池：19.0万kWh ・村野浄水場（太陽光）高度棟：56.9万kWh ・三島浄水場（太陽光）：26.2万kWh ・底窪浄水場（太陽光）：0.2万kWh | |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| | | ⑤電動車の調達 | 計画 | 車両更新時に可能なものから調達 | | | | | | | | | | 予定 | 令和7年度調達分の検討 | 令和8年度調達分の検討 | A 令和7年度調達分16台のうち7台を導入予定 （電気自動車1台 ハイブリッド車6台） |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | |
| ◀アクション7－2▶ ◆廃棄物の減量と資源循環の推進 | ①特定建設資材の有効利用率 | 計画 | 各年度：100% | | | | | | | | | | 予定 | 100% | 100% | A | |
| | | 実績 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | | | | | | 実績 | 100% | | | |
| | ②建設発生土の有効利用率 | 計画 | 各年度：95%以上 | | | | | | | | | | 予定 | 95%以上 | 95%以上 | A | |
| | | 実績 | 100% | 62% | 81% | 86% | 99% | | | | | | 実績 | 99% | | | |
| 施策8 国際貢献 | ①国際技術協力を担う人材の育成 | 計画 | JICA能力強化研修への参画等 | | | | | | | | | | 予定 | 実施 | ・JICA能力強化研修への参画 ・タイMWA技術交流研修の実施 | A ・JICA能力強化研修に職員1名が参加 ・タイで開催された国際展示会及び会議（Thai Water Expo 2024）に職員1名が発表者として参加 | |
| | | 実績 | - | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |
| | ②水道事業の国際展開に係る情報の収集 | 計画 | 自治体水道国際展開プラットフォームへの参画等 | | | | | | | | | | 予定 | 実施 | ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参画 | A ・自治体水道国際展開プラットフォーム定例会に出席 | |
| | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | | | 実績 | 実施 | | | |

A：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成（見込み）

B：「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成（見込み）

C：「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成（見込み）、「当該年度の目標」しかないものでその目標が未達成



大阪広域水道企業団

〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目3番12号マルイト谷町ビル

TEL : 06(6944)6864

URL : <https://www.wsa-osaka.jp/>

ANNUAL REPORT2025 アンケート

「ANNUAL REPORT 2025(2024年度年次報告書)」をお読みいただき、ありがとうございました。

ぜひみなさまの率直なご意見をお聞かせください。
今後の冊子作成に役立てさせていただきます。

